

千葉県自殺対策推進計画

取組状況一覧

(平成 27 年度版)

千葉県健康福祉部健康づくり支援課

千葉県自殺対策推進計画取組状況

NO	大項目	中項目	小項目	該当機関	26年度の実績	27年度の計画	28年度の予定	再掲
1	自殺の実態を明らかにする							
	(1) 千葉県における自殺の統計・分析	統計作成及び調査、分析		①県健康づくり支援課 ②県衛生研究所	①県衛生研究所が作成した自殺の統計・分析結果をHPに掲載し活用したほか、各会議において統計結果を説明した。 ②「千葉県における自殺の統計(平成26年度版)」を作成し、健康福祉部長に報告した。	①26年度と同様の取組のほか、市町村等に各月の市町村別統計を提供する。 ②「千葉県における自殺の統計(平成27年度版)」作成のため、データを収集。平成28年1月頃完成予定。	①27年度と同様 ②27年度と同様	
	(2) 自殺未遂者、遺族等の実態調査の促進	意識調査等		①県健康づくり支援課 ②県精神保健福祉センター	①実施していない。 ②実施していない。	①国の実施結果を参考に今後の対応を検討する。 ②関係機関・団体などの取組み状況についての情報・関係資料の収集に努める。	①未定 ②27年度と同様	
	(3) 既存資料の活用	情報共有・分析・実態説明		①県健康づくり支援課 ②県衛生研究所 ③県精神保健福祉センター ④県健康福祉センター ⑤保健所設置市(千葉市、船橋市、柏市) ⑥県警察本部	①国の統計分析を活用し、会議や講演等の資料として報告した。 ②衛生研究所のホームページに「千葉県における自殺の統計(平成26年度版)」を掲載。千葉県自殺対策連絡会議にて報告した。 ③「我孫子市自殺対策協議会」に調査研究課担当者が委員として出席した。また「千葉県自殺対策担当者会議」、「千葉県自殺対策研修会」、「千葉県自殺対策連絡会議」に参加し、関係機関等と情報共有し実態説明に努めた。 ④、⑤別紙のとおり ⑥県警察本部内関係各課と連携し、的確な自殺統計資料を作成した。	①26年度と同様 ②衛生研究所のホームページに「千葉県における自殺の統計(平成27年度版)」を掲載。相談支援者研修会にて自殺の統計について説明予定。 ③関係機関・関係団体等の情報収集及び最新の自殺関連情報について、関係機関等と共有・分析し実態説明に努める。 ④、⑤別紙のとおり ⑥26年度と同様	①27年度と同様 ②27年度と同様 ③27年度と同様 ④、⑤別紙のとおり ⑥27年度と同様	
	(4) 地域における自殺の現状分析	地域の状況把握と対策検討		①県健康福祉センター ②市町村	①、②別紙のとおり	①、②別紙のとおり	①、②別紙のとおり	
2	県民一人ひとりの気づきと見守りを促す							
	(1) 啓発事業の実施							
	① フォーラムや講演会等の実施	県民対象のフォーラムや講演会		①県健康づくり支援課 ②県精神保健福祉センター ③県健康福祉センター ④市町村 ⑤千葉いのちの電話	①実施していない ②実施していない ③、④別紙のとおり ⑤公開講演会開催 8月2日千葉市文化センター230名参加 2月11日千葉市文化センター76名参加 3月7日県民講座CIDビル63名参加 3月15日41名参加 6月19日千葉県印旛健康福祉センター共催県民講座印旛合同庁舎47名参加 船橋市共催県民講座船橋中央公民館91名参加 柏市共催講演会 7月22日ウェルネス柏(74名参加) 12月4日ウェルネス柏(45名参加)	①実施していない ②必要に応じて、県担当課(健康づくり支援課)や県健康福祉センターの主催する県民フォーラムや講演会等に協力する。 ③、④別紙のとおり ⑤28年2月7日 房州伊勢の宮 天津神明宮 神司 岡野哲郎 心の健康「大切ないのち活かしきりたい…」	①予定なし ②27年度と同様 ③、④別紙のとおり ⑤27年度と同様	
		交流により障害者に対する理解促進		①県障害福祉課	①(1)心のふれあいフェスティバル開催(千葉市中央公園 参加数1,339人) (2)心の健康フェア開催(青葉の森公園 参加数859人)	①(1)心のふれあいフェスティバル開催(千葉市中央公園 参加数1,132人) (2)心の健康フェア開催(青葉の森公園 11月25日開催予定)	①27年度と同様	

NO	大項目	中項目	小項目	該当機関	26年度の実績	27年度の計画	28年度の予定	再掲
		① フォーラムや講演会等の実施	専門職向けのセミナー、一般県民向けの講座や講演会	①千葉大学大学院医学研究院 ②県精神保健福祉センター	①(1)「認知行動療法を活用した対面型相談支援事業」認知行動療法を活用して、うつ病、パニック症(パニック障害)、強迫症(強迫性障害)、摂食障害などの患者(合計52名)に個人認知行動療法を提供した。(2)「認知行動療法を活用した若者のためのメール、ネット相談支援事業」若者の自殺対策としてネット上で告知し、36人にメールマガジンやネット上の認知行動療法プログラムを提供する。(3)「認知行動療法を活用できる人材養成事業」認知行動療法を活用して、メール、ネット、対面相談支援が行える人材養成事業として、千葉認知行動療法士トレーニングコースを基に、医療職向けの認知行動療法ワークショップを行った。(4)「子どもの自殺対策のための普及啓発事業」小学生360人にいじめで困ったときの対処法として大人に相談することを授業の中で教える普及啓発を行った。 ②関係機関・関係団体等の主催する研修会・講演会等への関係職員の講師派遣及び講師の紹介を行った。(随時)	①教員向けの児童生徒の自殺予防対策研修会において「認知行動療法を活用した子どもの心の健康づくりと自殺対策」についての講演を行う(県教育庁指導課の企画)。 ②関係機関・関係団体等の主催する研修会・講演会等への関係職員の講師派遣及び講師の紹介に努める。	①予定なし ②27年度と同様	
			自死遺族支援に関する公開講座等	①千葉いのちの電話	①26年6月24日開催	①27年8月24日開催	①開催予定	
			うつ病体験談や心の健康に関するセミナー	①NPO法人ザフト				
		② 啓発冊子・パンフレット等の配布	県民対象の啓発冊子やパンフレット	①県健康づくり支援課 ②県精神保健福祉センター ③県健康福祉センター ④市町村	①啓発冊子「あなたのこころ元気ですか?」を7,000部配布した。 ②関係機関を対象とした研修会の際に、県で作成した自殺対策啓発冊子を配布した。県担当課(健康づくり支援課)が実施している「自殺対策普及啓発事業業務委託」審査会に選考委員として調査研究課長が出席した。 ③、④別紙のとおり	①26年度と同様(部数については検討中) ②自殺対策啓発冊子・パンフレット等の作成・配布に協力する。 ③、④別紙のとおり	①27年度と同様 ②27年度と同様 ③、④別紙のとおり	
	(2) 児童生徒の自殺予防教育の実施		悩みの解消、命の大切さを実感できる教育の推進、体験活動等	①県教育庁指導課	①実践事例集を効果的に活用し、「命を大切にするキャンペーン」を充実させ、児童生徒の自己肯定感を高める取組を行った。また、教員向けいじめ防止指導資料の中に、自殺の予防と対応についての項目を加え、教職員への周知・啓発を行った。	①実践事例集を効果的に活用し、「命を大切にするキャンペーン」を充実させ、児童生徒の自己肯定感を高める取組を行う。また、公立小・中・高・特別支援学校の管理職対象に「児童生徒の自殺予防対策研修会」を開催するとともに、教職員向け「児童生徒の自殺予防対策リーフレット」を作成し、教職員への周知・啓発を行う。	①引き続き、「命を大切にするキャンペーン」の充実を図っていく。また、生徒指導主事を対象に「児童生徒の自殺予防対策研修会」を開催する。	
	(3) 健康教育等の実施	精神疾患についての啓発・健康教育	①県健康福祉センター ②保健所設置市	①、②別紙のとおり	①、②別紙のとおり	①、②別紙のとおり		
	(4) インターネット上の自殺予告対策の実施	ネット安全教室で広報啓発	①県警察本部	①学校・企業・自治体等を対象として、869回開催した。	①ネット安全教室を通じて広報啓発活動を実施する。	①27年度と同様		

NO	大項目	中項目	小項目	該当機関	26年度の実績	27年度の計画	28年度の予定	再掲
3	早期対応の中心的役割を果たす人材を養成する							
		かかりつけ医等のうつ病等精神疾患の診断・治療技術の向上	研修会等	①千葉県医師会 ②千葉県精神神経科診療所協会 ③県健康づくり支援課	①平成27年3月5日(木)「平成26年度かかりつけ医うつ病対応力向上研修」の実施、受講人員:医師 83名 その他職種 1名 ②(1)平成25年度総会、特別講演会をはじめ、年6回日本精神神経学会精神科専門医ポイント取得講演会を開催した。(2)千葉精診単独のミニ講演会(勉強会)、精神科医療センターとの連絡協議会、千葉精診提携病院との病診連携講演会等を実施した。(3)理事分掌にて学術担当、学校保健担当医・産業メンタルヘルス担当医・司法担当医・精神科病診連携担当医・措置診察精神科救急担当医等の担当を決め、毎月1回定例理事会にて情報交換を行った。 ③県医師会に委託して「かかりつけ医うつ病対応力向上研修会」を開催した。	①「平成27年度かかりつけ医自殺対策研修」を開催予定 ②26年度と同様 ③26年度と同様	①「かかりつけ医自殺対策研修」の継続開催 ②27年度と同様 ③27年度と同様	
		教職員等に対する普及啓発等の実施	各地区での研修会等で理解を促し教育支援	①県教育庁 学校安全保健課 ②市町村	①新任管理職を対象としたメンタルヘルス研修会や県立学校職員メンター研修会の開催、及びメンタルヘルス啓発資料「こころさわやかに」の全職員への配付、県立学校職員を対象とした「ストレス自己診断」の年間3回の実施など、年間を通して事前予防に取り組んできた。 ②別紙のとおり	①26年度の研修会受講者のアンケート結果をもとに、内容の改善に努め、各研修会を開催する。 ②別紙のとおり	①27年度の成果・課題を分析し28年度の事業内容を再検討し、実施する。 ②別紙のとおり	
			養護教諭を対象に知識・技術の向上	①県教育庁 学校安全保健課	①初任者研修を含む養護教諭研修会や保健室相談活動研修会等を通して、事前予防や早期対応に関する養護教諭の能力向上を図った。	①26年度の成果・課題を分析し、今年度の研修内容の充実を図る。27年度は保健室相談活動研修会の名称を保健室健康相談研修会に変更して取り組む。	①27年度の成果・課題を分析し28年度の事業内容を再検討し、実施する。	
		地域保健スタッフ(3)や産業保健スタッフの資質の向上	保健所、市町村、医療機関等の相談支援に当たるスタッフを対象に研修	①県健康づくり支援課 ②県精神保健福祉センター ③県健康福祉センター ④市町村	①自殺のハイリスク者と接する機会が多い相談支援者を対象に「自殺対策相談支援者研修会」を5回開催し、延べ584人が受講した。 ②県担当課が実施する「自殺対策相談支援者研修会」との共催により、当センター「精神保健福祉担当者研修」を開催した。鎌ヶ谷市自殺予防ゲートキーパー養成研修会で調査研究課長が講演。 ③、④別紙のとおり	①26年度と同様 ②県担当課との共催により、「自殺対策相談支援者研修会」を開催予定。 ③、④別紙のとおり	①27年度と同様 ②27年度と同様 ③、④別紙のとおり	
			看護教育分野などの研修	①県医療整備課 ②県健康福祉センター	①中堅看護職員実務研修、看護教員継続研修、保健実習指導者修等など看護職員の資質向上という目標で研修を実施した。8,017千円 ②別紙のとおり	①看護教員養成講習会、実習指導者講習会、助産師外来研修等を、看護職員の資質向上という目標で研修を実施予定。 23,231千円 ②別紙のとおり	①看護教育分野・臨床分野・地域保健分野などの研修を実施し、看護職員の資質向上を図る。 ②別紙のとおり	
			高齢者虐待を防ぐため、市町村を対象とした研修等	①県高齢者福祉課	①市町村・地域包括支援センター等職員、在宅介護サービス事業者等を対象とする研修を7回実施。(492名)	①26年度と同様	①27年度と同様	
			産業保健関係者へのセミナー	①千葉産業保健総合支援センター	①専門的・実践的能力の向上を図るため実施。(108回 2,288名)	①26年度と同様(目標109回)	①27年度と同様	

NO	大項目	中項目	小項目	該当機関	26年度の実績	27年度の計画	28年度の予定	再掲
		地域保健スタッフ (3) や産業保健スタッフの資質の向上	専門職向けのセミナー、一般県民向けの講座や講演会	①千葉県大学大学院医学研究院 ②県精神保健福祉センター	①(1)「認知行動療法を活用した対面型相談支援事業」認知行動療法を活用して、うつ病、パニック症(パニック障害)、強迫症(強迫性障害)、摂食障害などの患者(合計52名)に個人認知行動療法を提供した。(2)「認知行動療法を活用した若者のためのメール、ネット相談支援事業」若者の自殺対策としてネット上で告知し、36人にメールマガジンやネット上の認知行動療法プログラムを提供する。(3)「認知行動療法を活用できる人材養成事業」認知行動療法を活用して、メール、ネット、対面相談支援が行える人材養成事業として、千葉認知行動療法士トレーニングコースを基に、医療職向けの認知行動療法ワークショップを行った。(3)「子どもの自殺対策のための普及啓発事業」小学生360人にいじめで困ったときの対処法として大人に相談することを授業の中で教える普及啓発を行った。 ②関係機関・関係団体等の主催する研修会・講演会等への関係職員の講師派遣及び講師の紹介を行った。(随時)	①教員向けの児童生徒の自殺予防対策研修会において「認知行動療法を活用した子どもの心の健康づくりと自殺対策」についての講演を行う(県教育庁指導課の企画)。 ②関係機関・関係団体等からの依頼により、研修会・講演会等への講師派遣・紹介に努める。	①予定なし ②27年度と同様	再掲
			うつ状態や認知行動療法等に関する研修会	①千葉県看護協会	①(1)うつ傾向にある方を早期に発見し、適切な治療へつなぐゲートキーパーとしての役割、うつ病の病態および現状の把握、対応方法を学ぶための「うつ傾向にある患者への関わり方」研修を実施した。(12/12・1日コース・98名参加) (2)うつ傾向にある看護職のメンタルヘルス対策及びうつ傾向にある方への対応について指導するための「職場のメンタルヘルスとストレスマネジメント」研修を実施した。(12/10・1日コース・128名参加)	①(1)うつ傾向にある方を早期に発見し、適切な治療へつなぐゲートキーパーとしての役割、うつ病の病態および現状の把握、対応方法を学ぶための「うつ傾向にある患者への関わり方」研修を行う。(12/14予定) (2)うつ傾向にある看護職のメンタルヘルス対策及びうつ傾向にある方への対応について指導するための「職場のメンタルヘルスとストレスマネジメント」研修を行う。(1/18予定)	①27年度と同様	
		民生委員・児童委員等への研修の実施	民生委員・児童委員等への研修の実施	①県健康福祉センター ②市町村 ③千葉県民生委員児童委員協議会	①、②別紙のとおり ③各研修会において、地域の相談支援者として見守り等を周知した。	①、②別紙のとおり ③地域の相談支援者として、新たに選任及び補充された民生委員に対し、見守り対策等を周知していく。	①、②別紙のとおり ③27年度と同様。	
		消費・生活・労働・法律等の相談員の資質の向上	相談窓口担当者会議等の開催、研修会等の開催	①県生活安全課 ②県雇用労働課 ③県健康づくり支援課 ④県消費者センター ⑤市町村 ⑥千葉県弁護士会 ⑦千葉司法書士会	①、④生活安全課及び消費者センターにおいて消費生活相談員に対する研修会を実施した。4回開催、延べ参加者162人。 ②労働相談員の相談対応能力の向上のため、千葉労働局から講師を招き、個別労使紛争制度や具体的な事例などを通して研修会を実施した。 ③県職員にゲートキーパー研修を実施した。 ⑤別紙のとおり ⑥主に多重債務の問題について、要請のあった各自治体に弁護士を派遣し、県及び県内市町村担当者を対象とした講義を行った。担当弁護士はいずれも各1名ずつを派遣した。(1)平成26年10月10日 旭市 旭市消費生活センター (2)平成27年1月9日 浦安市 浦安市消費生活センター (3)平成27年1月23日 市原市 市原市経済部商工業振興課(市原市消費生活センター) (4)平成27年1月28日 四街道市 四街道市産業振興課 (5)平成27年2月5日 木更津市 木更津商工観光課 ⑦司法書士・臨床心理士・精神保健福祉士による無料相談会を計5回実施。また、常設相談は司法書士会館(千葉市)、松戸市、市川市、木更津市、館山市、鴨川市、安房地区にて土曜日(祝祭日は除く)に実施	①、④26年度と同様 ②千葉労働局と連携した相談員研修を実施する。 ③26年度と同様 ⑤別紙のとおり ⑥今年度は当該事業に係る基金の交付を受けられないため、弁護士会から募集をかけることはできないが、各自自治体から要望があれば対応する。 ⑦司法書士・臨床心理士・精神保健福祉士による無料相談会を2~3回実施予定。また、常設相談は司法書士会館(千葉市)、松戸市、市川市、木更津市、館山市、鴨川市、安房地区にて土曜日(祝祭日は除く)に実施の予定	①、④27年度と同様 ②27年度と同様 ③未定 ⑤別紙のとおり ⑥27年度と同様。 ⑦未定	

NO	大項目	中項目	小項目	該当機関	26年度の実績	27年度の計画	28年度の予定	再掲	
		(6) 遺族等に対応する公的機関の職員の資質向上	遺族に接する職員に対する遺族支援研修会	①県健康づくり支援課 ②県精神保健福祉センター	①千葉いのちの電話に委託して、わかちあいの会を開催し、自死遺族支援事業を実施した。 ②自殺対策相談支援者研修会において、千葉いのちの電話相談員も対象とし研修を行った。	①26年度と同様 ②自殺対策相談支援者研修会にて、千葉いのちの電話相談員を対象に研修を実施する。また、関係機関・関係団体等の主催する研修会等の開催に協力する。	①27年度と同様 ②27年度と同様		
		(7) 介護支援専門員等に対する研修の実施	地域包括的ケアを推進する研修	①県高齢者福祉課	①介護支援専門員、地域包括支援センター職員及び小規模多機能型事業所等開設者を対象に、研修を実施した。また、研修において、精神的支援を含め高齢者への総合的な支援が適切に実施できるよう、資質の向上を図った。 「介護支援専門員研修」 ・専門研修Ⅰ・Ⅱ 1回 1,403人 ・経験者更新研修 1回 1,003人 ・未経験者更新研修 2回 160人 ・再研修 2回 194人 ・実務従事者基礎研修 1回 292人 ・主任介護支援専門員研修 1回 150人 「地域包括支援センター職員研修」 現任2回、新任2回 267人 「千葉県認知症介護サービス事業開設者研修」 2回 15人 研修修了者 計 3,484人	①26年度と同様 (実務従事者基礎研修は27年度までの予定)	①27年度と同様		
4	心の健康づくりを進める								
	(1) 職場におけるメンタルヘルス対策の推進	指針の周知、支援センターの利用勧奨		①千葉労働局労働基準部健康安全課	①事業場に対する各種説明会、個別指導等において指針を周知するとともに、支援センターの周知、利用勧奨を実施した。	①26年度と同様	①27年度と同様		
		労働基準法関係法令順守のための指導		①千葉労働局労働基準部健康安全課	①実施した自主点検を踏まえ、衛生委員会での調査審議、心の健康づくり計画の策定、職場復帰支援プログラムの策定及びメンタルヘルス推進担当者の選定等を重点事項として事業場に指導した。	①ア、26年度と同様 イ、本年度中(12月1日)に施行するストレスチェック制度の義務化について周知する。	①27年度(「ア」)と同様		
		ストレスに対する理解、看護職とうつに関する研修会		①千葉県看護協会	①(1)看護職を含む県民を対象に「心の総合相談窓口」を継続して実施した。相談件数 534件(453名) (2)看護職のメンタルヘルス対策のために、ストレスマネジメントや心の健康管理について学ぶための「職場のメンタルヘルスとストレスマネジメント」研修を実施した。(12/10・1日コース・128名参加)	①(1)看護職を含む県民を対象に「心の総合相談窓口」を継続して実施する。(2)師長・主任等を対象に、看護職のメンタルヘルス対策のために、ストレスマネジメントや心の健康管理について学ぶための「職場のメンタルヘルスとストレスマネジメント」研修を行う。(1/18予定)	①27年度と同様		
	(2) 地域における心の健康づくり推進体制の整備	男女共同参画センターにおいて総合相談事業		①県男女共同参画課 ②男女共同参画センター	①、②女性のための一般相談(5,580件)及びカウンセリング(429件)、法律相談(月1回、43件)、こころの相談(月1回、32件)を実施した。 また、男性のための一般相談(391件)及びカウンセリング(67件)を実施した。	①、②26年度と同様	①、②27年度と同様		
		県内在住外国人の電話相談		①県国際課	①在住外国人からの外国語での相談に対応すべく、千葉県外国人テレホン相談事業を、県から(公財)ちば国際コンベンションビューローに委託し、多言語での電話相談窓口を開設した。日本語、英語、スペイン語、中国語での相談に対応し、平成26年度は937件の相談に対応。	①26年度と同様	①対応言語や対応内容の質の向上を含め、多言語での電話相談窓口の継続・強化を図り、県内の在住外国人が一層安心して快適に暮らすことができる千葉県づくりを進める。		

NO	大項目	中項目	小項目	該当機関	26年度の実績	27年度の計画	28年度の予定	再掲
	(2) 地域における心の健康づくり推進体制の整備		労働問題や心の健康に関する相談事業	①県雇用労働課	①1,596人の県内労働者、使用者及び県民に対し労働相談を実施し、このうち19人にメンタルヘルス特別相談を実施した。	①県内労働者、使用者等を対象に労働相談、また、メンタルヘルス特別相談を実施する。	①27年度と同様	
労働問題に関する相談事業			①千葉県弁護士会 ②千葉司法書士会	①労働問題に関して専門相談窓口を設け、電話による配点を行っている。 ②無料相談を司法書士会館(千葉市)、松戸市、市川市、木更津市、館山市、鴨川市、安房地区にて土曜日(祝祭日は除く)に実施。12月20日に労働トラブル110番を実施	①26年度事業を継続するほか、労働局の主催する相談事業やワンストップサービスデイにも、協力要請があり次第協力する。 ②無料相談を司法書士会館(千葉市)、松戸市、市川市、木更津市、館山市、鴨川市、安房地区にて土曜日(祝祭日は除く)に実施予定。労働トラブル110番を実施予定	①27年度と同様 ②未定		
身体的・精神的悩みを有する方に健康相談等各種支援事業			①県健康づくり支援課 ②県健康福祉センター	①国からの補助金を活用して、精神保健福祉センターの相談事業を支援した。 ②別紙のとおり	①26年度と同様 ②別紙のとおり	①27年度と同様 ②別紙のとおり		
難病についての相談事業、エイズ・STDについての相談事業			①県疾病対策課 ②県健康福祉センター ③保健所設置市	①1. 難病相談 (1) 県内9箇所の医療機関に地域難病相談・支援センターを設置し、難病患者及びその家族等からの相談等に対し、助言・情報提供等を実施した。(2) 難病患者及びその家族に対し、医療及び療養生活に係る相談、指導等を行い、疾病等の不安の解消を図るとともに、潜在患者の早期発見に努めることを目的とした「難病相談事業」を実施した。 2. エイズ・STD相談 (1) 医療機関等からの要請によりHIV感染者及び患者に対し、専門カウンセラーを106回派遣した。同性愛者に対するエイズ予防啓発・相談事業をエイズボランティア団体に委託し実施した。(2) 電話及び窓口による相談を2,967件実施した。 ②、③別紙のとおり	①1 難病相談 (1) 地域難病相談・支援センターにおいて、難病患者及びその家族等からの退院後の生活や心理面・情緒面のサポートなど、きめ細かな相談を実施する。(2) 難病患者及びその家族等に対し、引き続き「難病相談事業」を実施する。 2 エイズ・STD相談 (1) 医療機関等からの要請によりHIV感染者及び患者に対し、専門カウンセラーを派遣する。同性愛者に対するエイズ予防啓発・相談事業をエイズボランティア団体に委託し実施する。(2) エイズに関する相談を実施し、エイズ・STDに関する正しい知識の普及やHIV抗体検査の受診勧奨等を実施する。 ②、③別紙のとおり	①難病相談及びエイズ・STD相談 27年度までと同様 ②、③別紙のとおり		
虐待や非行等の問題につき必要な助言、指導			①県児童家庭課 ②県児童相談所	①、②千葉県自殺対策推進計画の取組として、各児童相談所において相談事業等を実施した。	①、②26年度と同様	①、②27年度と同様		
介護者を対象に悩み等の相談事業			①県高齢者福祉課	①千葉県福祉ふれあいプラザにおいて157件の電話相談及び面接相談を実施。 高齢者虐待、施設での介護、高齢者に関する心配事などの相談窓口の設置 相談件数334件	①千葉県福祉ふれあいプラザにおいて6回/週の電話相談及び面接相談を実施するほか、平成26年度と同様に相談窓口を設置する。	①27年度と同様		
県民を対象に精神保健福祉相談			①県障害福祉課 ②県精神保健福祉センター ③県健康福祉センター ④保健所設置市	①保健所精神保健福祉相談年間508件(嘱託医対応) ②相談専用電話により、精神保健福祉相談(相談電話)を行い、必要に応じて面接相談・診療を実施した。(随時) ③、④別紙のとおり	①保健所精神保健福祉相談実施(各保健所で月に1日から4日程度の精神科嘱託医師による相談) ②26年度と同様 ③、④別紙のとおり	①27年度と同様 ②27年度と同様 ③、④別紙のとおり		
精神科医や精神保健福祉士等の講演会等			①県健康福祉センター ②県精神保健福祉センター ③保健所設置市	①別紙のとおり ②関係機関・団体等からの依頼により、関係職員を講師として派遣したほか、講師の紹介を行った。(随時) ③別紙のとおり	①別紙のとおり ②関係機関・関係団体等からの依頼により、必要に応じて講師派遣や講師の紹介に努める。(随時) ③別紙のとおり	①別紙のとおり ②27年度と同様 ③別紙のとおり		
母親のメンタルヘルスの相談			①市町村	①別紙のとおり	①別紙のとおり	①別紙のとおり		
メンタルヘルス総合相談業務			①千葉産業保健総合支援センター	①事業主、産業保健スタッフ等からメンタルヘルス(産業保健含)に係る相談対応(年間1,248件)	①26年度と同様(目標1,889件)	①27年度と同様		
一人で悩まないで相談事業	①千葉いのちの電話	①自殺予防電話相談を実施した。	①26年度と同様	①27年度と同様				

NO	大項目	中項目	小項目	該当機関	26年度の実績	27年度の計画	28年度の予定	再掲
		学校における心の健康づくり推進体制の整備	スクールカウンセラー等を配置、校内相談体制を充実	①県学事課 ②県教育庁指導課	①スクールカウンセラーを配置している私立小・中・高等学校に対して補助金を交付し、校内教育相談体制の充実を図る。平成26年度は私立学校44校に対して23,760千円を交付。 ②公立小学校35校、公立中学校326校、県立高校70校にスクールカウンセラーを配置し、相談体制の充実を図った。	①26年度と同様 ②公立小学校70校(35校増)、公立中学校326校、県立高校80校(10校増)にスクールカウンセラーを配置し、相談体制の充実を図る。	①27年度と同様。 ②引き続き、スクールカウンセラーの配置校や勤務時間数の拡充について検討していく。	
			悩みの解消、命の大切さを実感できる教育の推進、体験活動等	①県教育庁指導課	①実践事例集を効果的に活用し、「いのちを大切に」するキャンペーンを充実させ、児童生徒の自己肯定感を高める取組を行った。また、教員向けいじめ防止指導資料の中に、自殺の予防と対応についての項目を加え、教職員への周知・啓発を行った。	①実践事例集を効果的に活用し、「いのちを大切に」するキャンペーンを充実させ、児童生徒の自己肯定感を高める取組を行う。また、公立小・中・高・特別支援学校の管理職対象に「児童生徒の自殺予防対策研修会」を開催するとともに、教職員向け「児童生徒の自殺予防対策リーフレット」を作成し、教職員への周知・啓発を行う。	①引き続き、「いのちを大切に」するキャンペーンの充実を図っていく。また、生徒指導主事を対象に「児童生徒の自殺予防対策研修会」を開催する。	再掲
			高等技術専門校の訓練生の各種相談、心の健康に関する啓発等	①県産業人材課	①県内6高等技術専門校のうち、一般校5校には相談箱を設置、障害者校には精神福祉相談員を配置し、訓練生の各種相談に応じた。(相談箱利用0件、相談員相談 約1,100件)	①26年度と同様	①27年度と同様	
			県立保健医療大学等の学生の心のケア	①県医療整備課	①県立保健医療大学等において、臨床心理士を週1回、12ヶ月間雇用し学生や教職員の相談業務を行った。(報酬執行額) 保健医療大学 295千円、鶴舞看護専門学校 226千円、野田看護専門学校 302千円	①26年度と同様 (予算額) 保健医療大学 330千円、鶴舞看護専門学校 226千円、野田看護専門学校 301千円	①27年度と同様	
5	適切な精神科医療を受けられるようにする							
		うつ病等精神疾患(1)患者の受診率の向上	精神科医療センターでの研修受け入れ、医療技術者養成校への技術支援	①県病院局	①(1)県内外の精神科病院・保健所・看護学校等からの研修生を受け入れた。(受入人数142人、派遣元施設数14件) (2)消防・看護学校等へ講師として職員を派遣した。(派遣延べ人数13人、派遣先述べ施設数12件)	①26年度と同様	①27年度と同様	
		(2)精神保健福祉相談・診療の実施	県民を対象に精神保健福祉相談を行い、精神医療・社会参加に関する情報を提供	①県障害福祉課 ②県精神保健福祉センター	①保健所精神保健福祉相談年間508件(嘱託医対応) ②相談専用電話により、精神保健福祉相談(相談電話)を行い、必要に応じて面接相談・診療を実施した。(随時)	①保健所精神保健福祉相談実施(各保健所で月に1日から4日程度の精神科嘱託医師による相談) ②26年度と同様	①27年度と同様 ②27年度と同様	
			患者等の苦情や相談に対応し医療機関への情報提供、かかりつけ医制度の推進	①県医療整備課	①相談員4名(うち医師1名は週1回)を配置し、平日の午前9時から午後5時まで相談に応じる。(8,923千円)	①26年度と同様 (8,293千円)	①27年度と同様	
			うつ病当事者ミーティング、地域精神保健福祉連絡協議会、精神保健福祉相談・訪問指導、男性・女性の健康相談、思春期保健事業、母子保健推進協議会、心の健康相談事業、断酒学級、薬物家族ミーティングの開催	①県健康福祉センター ②保健所設置市 ③県精神保健福祉センター	①、②別紙のとおり ③毎月第3水曜日(午後)に、薬物関連問題の講習会を開催、講習会後に薬物依存症等の家族を対象としたミーティングを開催した。(年12回)	①、②別紙のとおり ③26年度と同様	①、②別紙のとおり ③27年度と同様	
			家族訪問等を通して、受信勧奨、定期通院の確認、専門医による無料相談会	①県健康福祉センター ②市町村	①、②別紙のとおり	①、②別紙のとおり	①、②別紙のとおり	

NO	大項目	中項目	小項目	該当機関	26年度の実績	27年度の計画	28年度の予定	再掲
		(3) 慢性疾患患者等に対する支援	難病についての相談事業、エイズ・STDについての相談事業	①県疾病対策課 ②県健康福祉センター ③保健所設置市	①1. 難病相談 (1)県内9箇所の医療機関に地域難病相談・支援センターを設置し、難病患者及びその家族等からの相談等に対し、助言・情報提供等を実施した。(2)難病患者及びその家族に対し、医療及び療養生活に係る相談、指導等を行い、疾病等の不安の解消を図るとともに、潜在患者の早期発見に努めることを目的とした「難病相談事業」を実施した。 2. エイズ・STD相談(1)医療機関等からの要請によりHIV感染者及び患者に対し、専門カウンセラーを106回派遣した。同性愛者に対するエイズ予防啓発・相談事業をエイズボランティア団体に委託し実施した。(2)電話及び窓口による相談を2,967件実施した。 ②、③別紙のとおり	①1 難病相談 (1)地域難病相談・支援センターにおいて、難病患者及びその家族等からの退院後の生活や心理面・情緒面のサポートなど、きめ細かな相談を実施する。(2)難病患者及びその家族等に対し、引き続き「難病相談事業」を実施する。 2 エイズ・STD相談 (1)医療機関等からの要請によりHIV感染者及び患者に対し、専門カウンセラーを派遣する。同性愛者に対するエイズ予防啓発・相談事業をエイズボランティア団体に委託し実施する。(2)エイズに関する相談を実施し、エイズ・STDに関する正しい知識の普及やHIV抗体検査の受診勧奨等を実施する。 ②、③別紙のとおり	①難病相談及びエイズ・STD相談 27年度までと同様 ②、③別紙のとおり	
6	社会的な取組で自殺を防ぐ							
	(1) 地域における相談体制の充実	自殺や心の悩みの相談	①千葉いのちの電話 ②千葉県弁護士会 ③市町村 ④県健康福祉センター ⑤県精神保健福祉センター	①24時間365日 自殺予防電話相談を実施。(1)対面相談(こころの相談室) (2)インターネット相談 ②以下のとおり、臨床心理士や精神保健福祉士らと合同して相談会を開催した。平成26年9月27日 野田市 野田市中央コミュニティ会館集会所(野田市中野台168-1棟のホール4階) 相談者12名 担当弁護士9名、参加臨床心理士等7名 また、多重債務に絡む相談は、事務所待機型、出張型ともに随時受け付けている。 ③、④別紙のとおり ⑤相談専用電話(相談電話)により、自殺や心の悩みに関する電話相談を実施し、必要に応じて面接相談を実施した。(随時)	①26年度と同様 ②26年度と同様に、臨床心理士会や精神保健福祉士協会との合同相談会や、多重債務問題に関する出張相談も行う予定。無料のクレサラ相談も継続する。 ③、④別紙のとおり ⑤26年度と同様	①27年度と同様 ②27年度と同様。 ③、④別紙のとおり ⑤27年度と同様		
		労働基準法関係法令順守のための指導	①千葉労働局労働基準部健康安全課	①県内9カ所設置の地域産業センターにおいて、メンタルヘルス不調の労働者及び事業者に対する相談、指導、長時間労働者に対する面接指導等を実施した。	①26年度と同様	①27年度と同様		
		男女共同参画センターにおいて総合相談事業	①県男女共同参画課 ②男女共同参画センター	①、②女性のための一般相談(5,580件)及びカウンセリング(429件)、法律相談(月1回、43件)、こころの相談(月1回、32件)を実施した。 また、男性のための一般相談(391件)及びカウンセリング(67件)を実施した。	①、②26年度と同様	①、②27年度と同様	再掲	
		県内在住外国人の電話相談	①県国際課	①在住外国人からの外国語での相談に対応すべく、千葉県外国人テレホン相談事業を、県から(公財)ちば国際コンベンションビューローに委託し、多言語での電話相談窓口を開設した。日本語、英語、スペイン語、中国語での相談に対応し、平成26年度は937件の相談に対応。	①26年度と同様	①対応言語や対応内容の質の向上を含め、多言語での電話相談窓口の継続・強化を図り、県内の在住外国人が一層安心して快適に暮らすことができる千葉県づくりを進める。	再掲	
		労働問題や心の健康に関する相談事業	①県雇用労働課	①1,596人の県内労働者、使用者及び県民に対し労働相談を実施し、このうち19人にメンタルヘルス特別相談を実施した。	①県内労働者、使用者等を対象に労働相談、また、メンタルヘルス特別相談を実施する。	①27年度と同様		
		労働問題に関する相談事業	①千葉県弁護士会 ②千葉司法書士会	①労働問題に関して専門相談窓口を設け、電話による配点を行っている。 ②無料相談を司法書士会館(千葉市)、松戸市、市川市、木更津市、館山市、鴨川市、安房地区にて土曜日(祝祭日は除く)に実施。12月20日に労働トラブル110番を実施	①26年度事業を継続するほか、労働局の主催する相談事業やワンストップサービスにも、協力要請があり次第協力する。 ②無料相談を司法書士会館(千葉市)、松戸市、市川市、木更津市、館山市、鴨川市、安房地区にて土曜日(祝祭日は除く)に実施予定。労働トラブル110番を実施予定。	①27年度と同様 ②未定		

NO	大項目	中項目	小項目	該当機関	26年度の実績	27年度の計画	28年度の予定	再掲
1	(1)	地域における相談体制の充実	交通事故相談事業	①県生活安全課	①交通事故に遭った場合、損害賠償請求など困難な問題が生じるため、交通事故被害者等の救済対策として交通事故相談所を県内3箇所を設置し、専任の相談員10名と顧問弁護士1名で対応し、平成26年度は、4,421件の相談を受けた。また、心の相談員1名を配置し、心のケアが必要な事案への対応も図っている。	①県内3箇所の交通事故相談所における相談を実施する。また県内41市町において行う巡回相談を予定している。	①27年度と同様	
			健康相談等各種支援事業	①県健康づくり支援課 ②県健康福祉センター	①国からの補助金を活用して、精神保健福祉センターの相談事業を支援した。 ②別紙のとおり	①26年度と同様。 ②別紙のとおり	①27年度と同様。 ②別紙のとおり	
			難病についての相談事業、エイズ・STDについての相談事業	①県疾病対策課 ②県健康福祉センター ③保健所設置市	①1. 難病相談 (1) 県内9箇所の医療機関に地域難病相談・支援センターを設置し、難病患者及びその家族等からの相談等に対し、助言・情報提供等を実施した。(2) 難病患者及びその家族に対し、医療及び療養生活に係る相談、指導等を行い、疾病等の不安の解消を図るとともに、潜在患者の早期発見に努めることを目的とした「難病相談事業」を実施した。 2. エイズ・STD相談 (1) 医療機関等からの要請によりHIV感染者及び患者に対し、専門カウンセラーを106回派遣した。同性愛者に対するエイズ予防啓発・相談事業をエイズボランティア団体に委託し実施した。(2) 電話及び窓口による相談を2,967件実施した。 ②、③別紙のとおり	①1 難病相談 (1) 地域難病相談・支援センターにおいて、難病患者及びその家族等からの退院後の生活や心理面・情緒面のサポートなど、きめ細かな相談を実施する。(2) 難病患者及びその家族等に対し、引き続き「難病相談事業」を実施する。 2 エイズ・STD相談 (1) 医療機関等からの要請によりHIV感染者及び患者に対し、専門カウンセラーを派遣する。同性愛者に対するエイズ予防啓発・相談事業をエイズボランティア団体に委託し実施する。(2) エイズに関する相談を実施し、エイズ・STDに関する正しい知識の普及やHIV抗体検査の受診勧奨等を実施する。 ②、③別紙のとおり	①難病相談及びエイズ・STD相談 27年度までと同様 ②、③別紙のとおり	
			虐待や非行等の問題につき必要な助言、指導	①県児童家庭課 ②県児童相談所	①、②千葉県自殺対策推進計画の取組として、各児童相談所において相談事業等を実施した。	①、②26年度までと同様	①、②27年度と同様	再掲
			介護者を対象に悩み等の相談事業	①県高齢者福祉課	①(1) 千葉県福祉ふれあいプラザにおいて157件の電話相談及び面接相談を実施。(2) 高齢者虐待、施設での介護、高齢者に関する心配事などの相談窓口の設置 相談件数334件	①千葉県福祉ふれあいプラザにおいて6回/週の電話相談及び面接相談を実施するほか、平成26年度と同様に相談窓口を設置する。	①27年度と同様	
			県民を対象に精神保健福祉相談	①県障害福祉課 ②県健康福祉センター ③県精神保健福祉センター	①保健所精神保健福祉相談年間508件(嘱託医対応) ②別紙のとおり ③相談専用電話により、精神保健福祉相談(相談電話)を行い、必要に応じて面接相談・診療を実施した。(随時)	①保健所精神保健福祉相談実施(各保健所で月に1日から4日程度の精神科嘱託医師による相談) ②別紙のとおり ③26年度と同様	①27年度と同様 ②別紙のとおり ③27年度と同様	再掲
			精神科医や精神保健福祉士等の講演会等	①県健康福祉センター ②県精神保健福祉センター	①別紙のとおり ②関係機関・団体等からの依頼により、関係職員を講師として派遣したほか、講師の紹介を行った。(随時)	①別紙のとおり ②26年度と同様	①別紙のとおり ②27年度と同様	再掲
			心の健康相談	①県健康福祉センター ②県精神保健福祉センター	①別紙のとおり ②相談専用電話により、精神保健福祉相談(相談電話)を行い、必要に応じて面接相談・診療を実施した。(随時)	①別紙のとおり ②26年度と同様	①別紙のとおり ②27年度と同様	再掲
			母親のメンタルヘルスの相談	①市町村	①別紙のとおり	①別紙のとおり	①別紙のとおり	
			メンタルヘルス総合相談業務	①千葉産業保健総合支援センター	①事業主、産業保健スタッフ等からメンタルヘルス(産業保健含)に係る相談対応(年間1,248件)	①26年度と同様(目標1,889件)	①27年度と同様予定	再掲
一人で悩まないで相談事業	①千葉いのちの電話	①自殺予防電話相談を実施	①26年度と同様	①27年度と同様				

NO	大項目	中項目	小項目	該当機関	26年度の実績	27年度の計画	28年度の予定	再掲
		(1) 地域における相談体制の充実	住民に対する啓発・情報提供、地域における自殺対策の推進	①県健康福祉センター ②市町村	①、②別紙のとおり	①、②別紙のとおり	①、②別紙のとおり	
			普及啓発冊子・ホームページ作成	①県健康づくり支援課 ②県精神保健福祉センター	①啓発冊子「あなたのこころ元気ですか?」を作成し、HPで公開した。 ②当センターのホームページに自殺対策関連情報(健康づくり支援課のホームページにリンク)を掲載した。	①26年度と同様 ②当センターホームページ上の自殺対策関連情報について更新する。(随時)	①27年度と同様 ②27年度と同様	
			うつ病当事者・家族のための座談会、おしゃべり広場	①NPO法人ザフト				
		(2) 多重債務者への相談窓口の充実	消費者金融等に関する助言等 ヤミ金融の警察への情報提供	①県生活安全課 ②県消費者センター ③市町村	①、②県多重債務問題対策本部において、関係機関と連携して多重債務問題対策に取り組んでいる。ヤミ金融関係の相談があった場合は県警本部、又は地元の警察署に相談するよう案内している。 ③別紙のとおり	①、②26年度と同様 ③別紙のとおり	①、②27年度と同様 ③別紙のとおり	
			県多重債務問題対策本部による周知・啓発、関係機関の連携、相談体制の強化、無料相談会	①県生活安全課 ②千葉県弁護士会 ③千葉司法書士会 ④多重債務者支援団体市町村	①県多重債務問題対策本部において、関係機関と連携して、ポスター、リーフレットの配布、及び千葉駅前街頭啓発キャンペーンを実施した。無料相談会については県内5カ所(延べ6回・相談件数21件)で開催した。 ②1. 法律相談会の開催:経済的理由による自殺が多数に及ぶことから、特に多重債務の問題に対応するため、県内市町村等で多重債務等に関する法律相談会を開催した。(1)山武市:平成26年9月25日 10:00~16:00 山武市成東保健福祉センター、相談者7名、相談担当弁護士4名 (2)土気商工会:平成26年11月13日 10:00~16:00 千葉市土気商工会館、相談者12名、相談担当弁護士4名 (3)旭市消費生活センター:平成27年2月22日 10:00~16:00 旭市第二市民会館、相談者23名、相談担当弁護士4名 (4)習志野商工会議所:平成27年3月15日 10:00~16:00 習志野商工会議所、相談者15名、相談担当弁護士4名 2. 関係機関と連携した相談会:臨床心理士や精神保健福祉士らと合同して相談会を開催した。平成26年9月27日 野田市 野田市中央コミュニティ会館集会所(野田市中野台168番地の1棟のホール4階)相談者12名 担当弁護士9名、参加臨床心理士等7名 3. 相談受付:多重債務に絡む相談は、事務所持機型、出張型ともに随時受け付けている。 ③無料相談を司法書士会館(千葉市)にて土曜日(祝祭日は除く)、松戸市、市川市、木更津市、館山市、鴨川市、安房地区にて実施。 ④別紙のとおり	①26年度と同様 ②26年度と同様に、各地での相談会、臨床心理士会や精神保健福祉士協会との合同相談会や、多重債務問題に関する出張相談も行う予定。無料のクレサラ相談も継続する。 ③無料相談を司法書士会館(千葉市)にて土曜日(祝祭日は除く)、松戸市、市川市、木更津市、館山市、鴨川市、安房地区にて実施予定。 ④別紙のとおり	①27年度と同様 ②27年度と同様 ③未定 ④別紙のとおり	

NO	大項目	中項目	小項目	該当機関	26年度の実績	27年度の計画	28年度の予定	再掲
		(2) 多重債務者への相談窓口の充実	債務整理等の法律無料相談	①千葉県弁護士会 ②千葉司法書士会	①1. 法律相談会の開催:経済的理由による自殺が多数に及ぶことから、特に多重債務の問題に対応するため、県内市町村等で多重債務等に関する法律相談会を開催した。(1)山武市:平成26年9月25日 10:00~16:00 山武市成東保健福祉センター、相談者7名、相談担当弁護士4名 (2)土気商工会:平成26年11月13日 10:00~16:00 千葉市土気商工会館、相談者12名、相談担当弁護士4名 (3)旭市消費生活センター:平成27年2月22日 10:00~16:00 旭市第二市民会館、相談者23名、相談担当弁護士4名 (4)習志野商工会議所:平成27年3月15日 10:00~16:00 習志野商工会議所、相談者15名、相談担当弁護士4名 2. 関係機関と連携した相談会:以下のとおり、臨床心理士や精神保健福祉士らと合同して相談会を開催した。平成26年9月27日 野田市 野田中央コミュニティ会館集会所(野田市中野台168番地の1棟のホール4階)談者12名、担当弁護士9名、参加臨床心理士等7名 3. 相談受付:多重債務に絡む相談は、事務所待機型、出張型ともに随時受け付けている。 ②無料相談を司法書士会館(千葉市)、松戸市、市川市、木更津市、館山市、鴨川市、安房地区にて土曜日(祝祭日は除く)に実施。	①26年度と同様に、各地での相談会、臨床心理士会や精神保健福祉士協会との合同相談会や、多重債務問題に関する出張相談も行う予定。無料のクレサラ相談も継続する。 ②無料相談を司法書士会館(千葉市)、松戸市、市川市、木更津市、館山市、鴨川市、安房地区にて土曜日(祝祭日は除く)に実施予定。	①27年度と同様 ②未定	
			民事法律扶助業務	①法テラス千葉	①無料法律相談、代理援助等を実施した。	①26年度と同様	①27年度と同様	
	(3) 失業者等に対する相談事業の実施	失業者等に対する様々な相談に対応	①千葉労働局職業安定部職業安定課 ②千葉県弁護士会	①心の健康に係る配慮の取組として以下を実施した。(1)リーフレットの配布 (2)「求職者のストレスチェック及びメール相談事業」の周知 (3)メンタルヘルスサポート「心の耳」の周知。 臨床心理士による巡回相談について、一般求職者向けを、ハローワークプラザ千葉、ハローワークプラザ柏、船橋安定所において126回実施。新卒者(既卒3年以内の者を含む)向けを、千葉、松戸、船橋の各新卒応援ハローワークにおいて172回実施。 ②失業問題を含む労働問題に関して専門相談窓口を設け、電話による申込があった場合に配点を行っている。生活保護の専門相談窓口も常設し、受給に困難を来している方への相談から、居宅確保、生活保護申請の同行等を含む支援活動を行っている。さらに生活困窮者向けの無料電話相談事業も毎週火曜日の午後1時から4時まで行っている。	①心の健康に係る配慮の取組として引き続き以下を実施中。(1)リーフレットの配布 (2)「求職者のストレスチェック及びメール相談事業」の周知 (3)メンタルヘルスサポート「心の耳」の周知を行う。 また、臨床心理士による巡回相談について、一般求職者向けを、ハローワークプラザ千葉、ハローワークプラザ柏、船橋安定所において月3~4回実施し、新卒者(既卒3年以内の者を含む)向けを、千葉、松戸、船橋の各新卒応援ハローワークにおいて週1~2回実施する。 ②26年度事業を継続する。また、労働局の主催する相談事業やワンストップサービスデイにも、協力要請があり次第協力する。	①27年度内容を引き続き実施予定。 その他の内容については、未定。 ②27年度と同様		
	(4) 生活困窮者等の生活再建に向けたセーフティネット貸付	生活再建に向けた相談を行うとともに、無利子若しくは低金利で貸し付け	①県社会福祉協議会 ②市町村社会福祉協議会	①、②失業等により生活に困窮している世帯、介護が必要な高齢者や障害者のいる世帯の自立と安定に役立てていただくための貸付制度である。生活福祉資金は、市町村社会福祉協議会が窓口、県社会福祉協議会が貸付審査・決定等を行っており、平成26年度は2,041件、920,913千円の貸付を行った。	①、②生活困窮者自立支援機関と迅速な連携を図り、生活福祉資金貸付制度を運営することにより、より効果的、効率的な低所得者世帯等の自立支援を行っていく。	①、②27年度と同様		
	(5) 経営者に対する相談事業の実施	倒産の恐れのある中小企業からの相談に対応	①県経済政策課	①千葉県商工会連合会及び県内9商工会議所が「経営安定特別相談室」を設置して年間を通じて実施	①26年度と同様	①27年度と同様		

No	大項目	中項目	小項目	該当機関	26年度の実績	27年度の計画	28年度の予定	再掲
	(5)	経営者に対する相談事業の実施	専門家等による指導、助言、経営診断、技術助言、資金繰り支援	①県経営支援課	①(1)チャレンジ企業支援センターにおいて、経営・技術・金融などの各種相談に対し、相談窓口を一本化したワンストップサービスでの支援を行った。特に「窓口相談事業」では、「廃業相談」「倒産相談」について、次の件数の相談があった。 ・廃業相談:4企業(延べ相談件数:5件) ・倒産相談:0企業(延べ相談件数:0件) 合計:4企業(延べ相談件数:5件) (2)中小企業の資金繰り支援として、セーフティネット資金の周知を広報した結果、利用件数:621件、総利用額:13,785百万円(前年比56.8%減)となった。	①(1)引き続きチャレンジ企業支援センターにおいて、経営・技術・金融などの各種相談に対し、相談窓口を一本化したワンストップサービスでの支援を行う。 (2)中小企業の資金繰り支援として、セーフティネット資金の周知を行う。	①27年度と同様	
			破産や民事再生等について対応	①千葉県弁護士会	①1. 法律相談会の開催:経済的理由による自殺が多数に及ぶことから、特に多重債務の問題に対応するため、県内市町村等で多重債務等に関する法律相談会を開催した。(1)山武市:平成26年9月25日 10:00~16:00 山武市成東保健福祉センター、相談者7名、相談担当弁護士4名 (2)土気商工会:平成26年11月13日 10:00~16:00 千葉市土気商工会館、相談者12名、相談担当弁護士4名 (3)旭市消費生活センター:平成27年2月22日 10:00~16:00 旭市第二市民会館、相談者23名、相談担当弁護士4名 (4)習志野商工会議所:平成27年3月15日 10:00~16:00 習志野商工会議所、相談者15名、相談担当弁護士4名 2. 関係機関と連携した相談会:臨床心理士や精神保健福祉士らと合同して相談会を開催した。平成26年9月27日 野田市 野田市中央コミュニティ会館集会室(野田市中野台168番地の1棟のホール4階)、相談者12名、担当弁護士9名、参加臨床心理士等7名 3. 相談受付:多重債務に絡む相談は、事務所持機型、出張型ともに随時受け付けている。	①26年度と同様に、各地での相談会、臨床心理士会やPSW協会との合同相談会や、多重債務問題に関する出張相談も行う予定。無料のクレサラ相談も継続する。	①27年度と同様	
	(6)	インターネット上の自殺関連情報への適切な対応	ネット上の有害な情報に適切に対応、自殺予告の通報の対応	①県警察本部	①認知した自殺予告10件に対応した。	①自殺予告に対する適切な対応をする。	①27年度と同様	
	(7)	介護者への支援の充実	介護者を対象に悩み等の相談事業	①県高齢者福祉課	①千葉県福祉ふれあいプラザにおいて157件の電話相談及び面接相談を実施。 高齢者虐待、施設での介護、高齢者に関する心配事などの相談窓口の設置 相談件数334件	①千葉県福祉ふれあいプラザにおいて6回/週の電話相談及び面接相談を実施するほか、平成26年度と同様に相談窓口を設置する。	①27年度と同様	
	(8)	いじめを苦しめた子ども自殺予防	子どもと親のサポートセンターで悩みに対応	①県教育庁指導課 ②千葉県弁護士会	①「24時間いじめ電話相談」の活用促進と相談対応の充実を通じ、子供や保護者の悩みや心配を受け止め、適切に対応する体制を整えた。 ②実施していない。	①「24時間子供SOSダイヤル」の活用促進と相談対応の充実を通じ、子供や保護者の悩みや心配を受け止め、適切に対応する体制を整えることで予防に努める。また、各学校の児童生徒に相談ダイヤルの窓口を紹介するカードを配付し、啓発を図る。 ②予定なし	①27年度と同様 ②予定なし	
	(9)	自殺するおそれのある行方不明者に関する発見活動	発見活動を適切に実施	①県警察本部	①自殺するおそれのある行方不明者に関する発見活動を適切に実施した。	①26年度と同様	①27年度と同様	

No	大項目	中項目	小項目	該当機関	26年度の実績	27年度の計画	28年度の予定	再掲
	(10)	地域での連携体制の確立	自殺対策地区連絡会議を開催	①県健康福祉センター ②保健所設置市	①、②別紙のとおり	①、②別紙のとおり	①、②別紙のとおり	
	(11)	相談窓口の連携強化	相談窓口の充実等と、自殺対策連絡会議等の開催により情報共有や連携体制の強化	①市町村 ②県健康福祉センター ③県健康づくり支援課	①、②別紙のとおり ③自殺対策連絡会議を開催し情報の共有に努めたほか、相談窓口の変更や新設を把握した。	①、②別紙のとおり ③26年度と同様	①、②別紙のとおり ③27年度と同様	
7 自殺未遂者の再度の自殺を防ぐ								
	(1)	救急医療機関における精神科医等による診療体制等の充実	自殺未遂者に対し精神科への受診につながる連携システムを構築	①県健康づくり支援課 ②県障害福祉課 ③県病院局 ④千葉県医師会	①実施していない ②精神科救急医療システムにより、迅速な診察の実施等、必要な医療の提供を行った。 ③千葉県精神科医療センターでは、千葉県精神科救急医療システムの情報センターとして、保健所等から精神的な問題を抱える方(自殺未遂含む)についての相談を受け、精神科受診を支援した。(情報センター相談対応件数3,267件)。また、千葉県救急医療センターを受診した自殺未遂患者の往診のため、定期的に医師を派遣した。 ④実施していない	①病院局を通じ、県立病院に啓発冊子「あなたのこころ元気ですか？」を配布した。 ②救急医療施設の拡充を目指すとともに、より円滑な精神科救急医療システムの運用を図る等、適切な医療提供体制の充実に努める。 ③26年度と同様 ④予定なし	①27年度と同様(配布先や配布部数については今後検討) ②救急医療施設の拡充を目指すとともに、より円滑な精神科救急医療システムの運用を図る等、適切な医療提供体制の充実に努める。 ③27年度と同様 ④予定なし	
	(2)	家族等の身近な人の見守りに対する支援	警察、消防、保健所、医療機関、市町村等が連携し、家族や職場とともに自殺未遂者を支援	①県健康福祉センター ②保健所設置市 ③市町村 ④県警察本部(消防)	①、②、③別紙のとおり ④統計無し	①、②、③別紙のとおり ④関係機関等への適切な引継ぎを実施。	①、②、③別紙のとおり ④27年度と同様	
	(3)	地域での訪問事業の実施	こころの健康に関する相談、精神保健福祉相談員・看護師による相談、訪問援助と精神科嘱託医師による定例相談及び訪問指導	①県健康福祉センター	①別紙のとおり	①別紙のとおり	①別紙のとおり	
			保健師等の訪問	①県健康福祉センター ②市町村	①、②別紙のとおり	①、②別紙のとおり	①、②別紙のとおり	
	(4)	うつ病当事者・家族の自助グループへの支援	うつ病当事者・家族の自助グループへの支援	①県精神保健福祉センター ②県健康福祉センター ③保健所設置市	①実施していない ②、③別紙のとおり	①関係機関・関係団体等からの依頼により、うつ病当事者・家族の自助グループへの育成支援を行う。 ②、③別紙のとおり	①27年度と同様 ②、③別紙のとおり	
8 遺された人の苦痛を和らげる								
	(1)	自殺者の遺族のための自助グループの運営支援	自死遺族わかちあいの会への支援、遺された家族の回復や支援に関するセミナーを開催	①千葉いのちの電話 ②県健康づくり支援課 ③県健康福祉センター ④県精神保健福祉センター	①わかちあいの会を柏、千葉、印旛、浦安で開催 ②千葉いのちの電話に委託してわかちあいの会を開催した。 ③別紙のとおり ④自殺者の遺族からの電話相談等にて、自助グループ「自死遺族支援わかちあいの会ひだまり」を紹介した。	①わかちあいの会を柏、千葉、印旛、で開催 ②26年度と同様 ③別紙のとおり ④相談専用電話等により、必要に応じて自助グループ「自死遺族支援わかちあいの会ひだまり」の紹介に努める。	①27年度と同様 ②27年度と同様 ③別紙のとおり ④27年度と同様	
	(2)	学校、職場等での事後対応の促進	職場における自殺予防と対策の普及啓発	①千葉労働局労働基準部健康安全課	①事業場に対する各種説明会、個別指導等において、マニュアル「職場における自殺の予防と対応」を周知した。	①26年度と同様	①27年度と同様	

NO	大項目	中項目	小項目	該当機関	26年度の実績	27年度の計画	28年度の予定	再掲	
		遺族のための各 (3) 種相談窓口等の 周知	自死遺族向けのパンフレットを作成・配布	①県健康づくり支援課 ②県精神保健福祉センター	①千葉いのちの電話の関係パンフレットを健康福祉センター、市町村に配布し窓口での周知を行ったほか「わかちあいの会」の開催日程をHPで公開した。 ②自死遺族向けのパンフレット等の配布及び各種相談窓口等について周知した。	①26年度と同様 ②自死遺族向けのパンフレット等の配布及び各種相談窓口等の周知に努める。	①27年度と同様 ②27年度と同様		
		(4) 自死遺族支援	自死遺族の心の相談、支援講演会等を実施	①千葉いのちの電話 ②県健康福祉センター ③市町村	①自死遺族の心の相談を千葉で開催 ②、③別紙のとおり	①自死遺族の心の相談を千葉、印旛で開催 ②、③別紙のとおり	①27年度と同様 ②、③別紙のとおり		
9	民間団体との連携を強化する								
	(1) 民間団体等への 人材育成に対する 支援	千葉いのちの電話などの 人材育成に協力		①県健康福祉指導課 ②県健康づくり支援課 ③県精神保健福祉センター	①24時間電話相談事業に従事するボランティア電話相談員の養成及び資質向上のために行う研修に要する費用として1,115千円の補助を行った。 ②地域自殺対策緊急強化基金を活用し、相談員等を対象とした研修を開催した。 ③心の電話相談員育成講座(講義8日間、実習3日間)、ボランティア・フォローアップ講座(3日間)、研修会(1日間)、心の保健医療通訳ボランティア講座(1日間)等を開催した。	①26年度と同様に、24時間電話相談事業に従事するボランティア電話相談員の養成及び資質向上のために行う研修に要する費用として上限1,300千円の補助を行う。 ②地域自殺対策強化交付金を活用し、相談員等を対象とした研修を実施する。 ③26年度と同様	①27年度と同様 ②27年度と同様 ③27年度と同様		
	(2) 地域における 連携体制の確立	連絡会議を開催するなど 地域ネットワークの整備、 民間団体と連携		①県健康づくり支援課 ②県健康福祉センター ③県精神保健福祉センター ④市町村	①千葉県自殺対策連絡会議を開催し、関係団体と連絡を図った。健康福祉センターが主催する一部の会議に出席した。 ②、④別紙のとおり ③県内の電話相談を有する公的機関・民間団体を対象とした「電話相談に関する情報交換会」(年1回)を開催した。	①千葉県自殺対策連絡会議を開催し、関係団体と連絡を図るほか、健康福祉センターや市町村を集めて連絡会議を開催する。 ②、④別紙のとおり ③県内の電話相談を有する公的機関・民間団体等を対象とした「電話相談に関する情報交換会」(年1回)を開催予定。必要に応じて、県健康福祉センター及び市町村の主催する地域自殺対策連絡会議に関係職員が出席する。	①27年度と同様 ②、④別紙のとおり ③27年度と同様		
		自殺対策地区連絡会議、 地域精神保健福祉連絡協 議会等の開催を通じて、市 町村の体制整備を支援		①県健康福祉センター	①別紙のとおり	①別紙のとおり	①別紙のとおり		
		地域・職域連携推進協議 会においてメンタルヘルス 対策や自殺予防対策につ いて協議		①県健康づくり支援課 ②県健康福祉センター	①地域・職域連携推進会議を開催した。 ②別紙のとおり	①26年度と同様 ②別紙のとおり	①27年度と同様 ②別紙のとおり		
	(3) 民間団体等の 電話相談事業に 対する支援	千葉いのちの電話の24時 間相談体制の支援		①千葉いのちの電話 ②県健康福祉指導課 ③県健康づくり支援課	①24時間相談電話を実施した。 ②24時間電話相談事業に従事するボランティア電話相談員の養成及び資質向上のために行う研修に要する費用として1,115千円の補助を行った。 ③国からの補助金を活用し、相談員募集の周知を支援した。	①26年度と同様 ②26年度と同様に、24時間電話相談事業に従事するボランティア電話相談員の養成及び資質向上のために行う研修に要する費用として上限1,300千円の補助を行う。 ③各種会議で相談員募集の告知を行う。	①27年度と同様 ②27年度と同様 ③27年度と同様		
	(4) インターネット 連による自殺予 防策	千葉県インターネット防犯 連絡協議会の活動を促進		①県警察本部	①防犯ネットワークを通じたメール発信等を実施した。	①関係機関・団体(千葉県インターネット防犯協議会、千葉県インターネットカフェ等防犯協議会、千葉県サイバー犯罪ネットワーク等)との適切な情報共有を図る。	①27年度と同様		

各健康福祉センター(保健所)の取組状況 1

※再掲は除く(以下同じ) ◆26年度実績 ▲27年度計画 ●28年度予定

番号	所属	1(3)既存資料の活用 (情報共有・分析・実態解明)	1(4)地域における自殺の現状分析 (地域の状況把握と対策検討)	2(1)①フォーラムや講演会等の実施 (県民対象のフォーラムや講演会)	2(1)②啓発冊子・パンフレット等の配布 (県民対象と啓発冊子やパンフレット)
1	習志野	◆実施していない ▲既存資料や統計データを用いて状況の把握をしている ●27年度と同様	◆実施していない ▲統計データを供覧し、地域の状況を把握 ●27年度と同様	◆地域職域連携推進事業共同事業において「働く人のメンタルヘルス～ストレスと上手につき合い、いきいきと働くために～」(H26.9.8)、「職場におけるメンタルヘルス～管理職の役割とは～」(H26.9.9)開催した。 ▲予定なし ●未定	◆各講演会や会議、26年度に追加して、関係医療機関等に配布した ▲関係機関等に配布済み ●未定
2	市川	◆人口動態、内閣府統計等を分析 ▲26年度と同様 ●27年度と同	◆管内自殺対策担当者連絡会で情報提供共有を図った ▲既存資料を用いて分析 ●27年度と同様	◆①「思春期を理解しよう～子どもの心に向き合っていますか」10月 参加37名 ②「思春期のこころとインターネット～今、子ども達に何が起きているか」12月 参加45名 ③こころの健康のつどい「意外と知らない睡眠の話」2月 参加110名 ▲こころの健康のつどい 1～2月に市民向けに実施予定 ●27年度と同様	◆ゲートキーパー養成講習受講者へ普及啓発パンフレット(うつ病、不眠関連)の配布。 ▲ゲートキーパー養成講習会参加団体の理容組合員へのパンフレットの配布 ●未定
3	松戸	◆自殺者の統計や発生状況等のデータをもとに現状分析を行った。 ▲既存資料の情報共有・分析を行う。 ●27年度と同様	◆地域職域連携推進事業にて、心の健康づくりについての情報交換を行い、管内の自殺の情報について共有した。 ▲地域職域連携推進事業共同事業にて、メンタルヘルスに係る会議を開催予定のため未実施。 ●今後必要に応じて対応	◆平成26年10月15日地域職域連携推進事業において、「職場のメンタルヘルスについて」の講演会を実施。 ▲地域職域連携推進事業においてメンタルヘルス講演会を実施予定。 ●今後必要に応じて対応	◆「あなたのこころ元気ですか」等2,635部を配布。地域職域連携推進事業協議会、作業部会にて相談先周知徹底の為、ポスターを作成。管内関係機関に掲示、配布を行った。 ▲引き続き自殺予防普及啓発のため、関係機関等に啓発物資を配布する。 ●今後必要に応じて対応
4	野田	◆内閣府の「地域における自殺の基礎資料」をもとに管内の自殺者数(年齢別、職業別、原因・動機別、未遂歴の有無別、場所別、手段別等)について状況把握を行った。平成27年2月12日の地域精神保健福祉連絡協議会において管内の自殺者数の推移と健康福祉センターの取り組みを報告した。(12名出席) ▲26年度と同様 ●未定	◆内閣府の「地域における自殺の基礎資料」をもとに管内の自殺者数(年齢別、職業別、原因・動機別、未遂歴の有無別、場所別、手段別等)について状況把握を行った。平成27年2月12日の地域精神保健福祉連絡協議会において管内の自殺者数の推移と健康福祉センターの取り組みについて報告した。(12名出席) ▲26年度と同様 ●未定	◆平成27年3月5日に住民向けのゲートキーパー研修(自殺対策研修)を行い18名が出席した。健康福祉センター職員による自殺対策に関する講義、メンタルヘルスに関するDVD視聴、内閣府のDVDを用いたロールプレイを行った。 ▲26年度と同様 ●未定	◆①市の健康フェスティバル等で「あなたのこころ、元気ですか」を100部配布した。②ゲートキーパー研修受講者に「あなたのこころ、元気ですか」や「家族みんなのメンタルヘルス」等を配布した。③健康福祉センターの来庁者へマスクを配布した(300枚)。 ▲26年度と同様 ●未定
5	印旛	◆既存資料をもとに自殺対策地区連絡会議や担当者会議にて情報共有を行った。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆うつ病等の地域医療連携を推進するため「うつ病連携バス」を25年12月に導入し、導入1年後の活用状況調査を実施。さらに行政機関等の専門職から医療機関への相談内容の情報提供書「相談内容連絡票」を導入した。 ▲活用状況調査を実施予定 ●27年度と同様	◆①県民講座6月19日実施。講師：千葉カウンセリングセンター 所長 勝山修一郎氏 千葉いのちの電話との共催で実施。受講者47名 ②こころの健康市民講座2月19日実施 講師：成田赤十字病院精神神経科 医師 松田久美氏 受講者88名 ▲①県民講座8月4日実施。講師：メンタルレスキューニアインストラクター/うつクワイズ専門カウンセラー 下園壮太氏 千葉いのちの電話との共催 受講者35名 ●実施予定	◆研修会、会議、学生実習等で「あなたのこころ元気ですか？」配布 ▲26年度と同様 ●27年度と同様

各健康福祉センター(保健所)の取組状況 1

※再掲は除く(以下同じ) ◆26年度実績 ▲27年度計画 ●28年度予定

番号	所属	1(3)既存資料の活用 (情報共有・分析・実態解明)	1(4)地域における自殺の現状分析 (地域の状況把握と対策検討)	2(1)①フォーラムや講演会等の実施 (県民対象のフォーラムや講演会)	2(1)②啓発冊子・パンフレット等の配布 (県民対象と啓発冊子やパンフレット)
6	香取	◆警察庁自殺統計及び内閣府平成25年地域における自殺の基礎資料を活用し、管内関係者の会議にて情報を共有した。 ▲26年度と同様 ●未定	◆管内の自殺志望者数の推移についてまとめ、管内関係者の会議にて情報を共有した。 ▲26年度と同様 ●未定	◆①事業所メンタルヘルス推進講演会(10月17日)「つらい思いを抱える人たちにかかわるには」アスクヒューマン・ケア研修相談センター 水澤都加佐氏 参加者40名 対象:事業所従業員 ②うつ病講演会 第1回10月17日「うつからの回復」NPO法人ザフト宮城秀樹氏 参加者18名 対象:一般住民 第2回11月27日「夫がうつになって」NPO法人ザフト宮城和子氏 参加者20名 対象:一般住民 第3回12月17日「うつ病・ひきこもりを経験して」男性のうつ病体験者 参加者28名 対象:一般住民 ▲「うつ病当事者・家族の集い」毎月第3木曜日14:00~15:30 ●継続予定	◆講演会や家族教室等において自殺対策啓蒙メッセージ付きシャープペンシル、ボールペン、クリアファイル及び以下のリーフレット等を紹介し配布した。①「あなたのこころ元気ですか？」②「あなたのこころ元気ですか？」自殺対策・うつに関する手引き ③リーフレット「大切な人を自死でなくされたあなたへ」④メンタルヘルス問題への対応 ⑤身体健康問題と自殺予防 ⑥高齢者・家族問題と自殺予防 ⑦ほっと安心手帳 ⑧誰でもゲートキーパー手帳 ▲26年度と同様 ●未定
7	海匠	◆県の統計資料及び、内閣府「自殺対策」ホームページ、独立行政法人国立精神・神経医療研究センター「自殺予防総合対策センター」ホームページ等の情報から、管内住民の自殺予防を検討した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆海匠健康福祉センター管内の自殺の現状(死亡統計からの)資料を作成し、管内の関係者と情報の共有をした。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲こころの健康のつどい ①コンサート、②体験発表「こんな工夫で暮らしています〜こころの病気のつきあい方〜」(精神疾患の体験者)、③講演「こころの調子を整えるコツについて」、④平成26年度と同様 ●27年度と同様	◆マスク「あなたの行動が自殺を防ぎます」33枚等 ▲①自殺対策に関する事例検討会、②地域精神保健福祉連絡会議、③ピアサポート講座等において配布。 ●27年度と同様
8	山武	◆国や県から出された資料等を、自殺対策地区連絡会議の構成員が参加した意見交換会において現状の共有を行った。 ▲統計資料をもとに現状分析を行う。 ●27年度と同様	◆警察や管内消防局等から資料を提供いただき、自殺対策地区連絡会議の構成員が参加した意見交換会で資料として提示し、検討材料とした。また、意見交換会において、各関係機関での取組み等についても共有を図った。 ▲統計資料や関係機関の取組の情報収集を行い、対策の検討を行う。 ●27年度と同様	◆実施なし ▲管内大学において自殺対策セミナーを実施。講演「学生のためのこころのセルフケアとピアサポート」講師:特定非営利活動法人Light Ring.代表理事 石井綾華氏 ●未定	◆母子保健推進員研修会で啓発物品を配布。 ▲各種研修会や講演会で配布予定。 ●27年度と同様
9	長生	◆管内人口動態統計、死亡小票、管内関係機関の情報を管内自殺対策担当者会議等で共有した。 ▲26年度と同様の資料を担当者会議等で共有し検討する。 ●27年度と同様	◆自殺対策担当者会議にて管内の自殺者の状況、管内市町村や企業における自殺対策事業の共有、課題を検討した。 ▲26年度と同様、既存の資料や管内関係機関からの情報を共有し、管内の課題や対策について検討する。 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆各講演会や会議、窓口、学生にパンフレット等配布した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
10	夷隅	◆内閣府、自殺予防総合センター、ライフリンク等の関係機関・関係団体の既存資料を活用し、地区連絡会議等において情報共有を図るとともに、地域における自殺の実態解明に努めた。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆人口動態調査、警察庁統計資料等により、管内の自殺の現状を分析、状況を把握するとともに、地域の実情に応じた対策を検討する。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲未定 ●未定	◆各種研修会、会議等の開催時に自殺対策啓発冊子「あなたのこころ元気ですか？」等を配布。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
11	安房	◆国や千葉県等の既存資料から管内の自殺の現状を整理し、ゲートキーパー研修で情報の共有を図った。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆既存資料から得られた情報と、市町や医療機関、警察、救急隊等関係機関から得られた情報を併せ管内の状況を把握した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆安房地域心の健康のつどい 日時:平成26年11月9日(日) 場所:南総文化ホール 講演:コミュニケーションがラクになるうけとめ方・伝え方 講師:独立行政法人国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター長 アトラクション:心の健康チェック、アルコール体質チェック、質問相談コーナーほか。参加者499名 ▲地域・職域連携推進事業におけるメンタルヘルス講演会「労働者のメンタルヘルス不調への気づきと対応」(平成27年11月30日)開催予定。 ●未定	◆安房地域心の健康のつどい等にてパンフレット「あなたのこころ元気ですか？」を配布。地域・職域連携推進事業で作成したリーフレット「子どもの頃から始める心の健康づくり」を各関係機関へ配布。 ▲各種啓発用パンフレットを安房地域心の健康のつどい等で配布予定。 ●27年度と同様

各健康福祉センター(保健所)の取組状況 1

※再掲は除く(以下同じ) ◆26年度実績 ▲27年度計画 ●28年度予定

番号	所属	1(3)既存資料の活用 (情報共有・分析・実態説明)	1(4)地域における自殺の現状分析 (地域の状況把握と対策検討)	2(1)①フォーラムや講演会等の実施 (県民対象のフォーラムや講演会)	2(1)②啓発冊子・パンフレット等の配布 (県民対象と啓発冊子やパンフレット)
12	君津	<p>◆内閣府等の統計資料から地域の実態説明、分析に努め、地区の現状として講義資料を作成した。 ▲人口動態、既存資料の情報共有を図った。 ●27年度と同様</p>	<p>◆ゲートキーパー養成講座において、全国、県、君津地域の現状を示し、地域での対策の必要性を示した。 ▲既存資料と各市自殺対策担当者との情報共有を行う。 ●27年度と同様</p>	<p>◆自殺防止対策講演会の開催。「孤立しない、孤立させない」お前ひとりで生きていけ社会」に向き合う」講師：NPO法人自殺防止ネットワーク風 篠原 鋭一氏 参加者26名 ▲予定なし ●未定</p>	<p>◆啓発用パンフレット「あなたのこころ元気ですか？」を講演会や君津市ふれあいまつりで配布した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>
13	市原	<p>◆自殺対策地区連絡会議等で地域の統計資料を示し、関係機関との情報共有や実態説明に努めた。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆自殺対策地区連絡会議において、関係機関と優先して取り組む対策(中高年の自殺対策)について現状分析と今後の対策について検討する。 ▲自殺対策地区連絡会議において、関係機関と優先して取り組む対策(若年層の自殺対策)について現状分析と今後の対策について検討する。 ●27年度と同様</p>	<p>◆一般住民を対象に市原市と共催し、うつ病についての講演会を開催した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆所内外で実施する事業を活用し、一般住民や関係者にパンフレット等を配布し、啓発に努めた。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>

各健康福祉センター(保健所)の取組状況 2

番号	所属	2(3)健康教育等の実施 (精神疾患についての啓発・健康教育)	3(3)地域保健スタッフや産業保健スタッフの資質の向上 (保健所、市町村、医療機関等の相談支援に当たるスタッフ を対象に研修)	3(3)地域保健スタッフや産業保健スタッフの資 質の向上 (看護教育分野などの研修)	3(4)民生委員・児童委員等への研修の 実施 (民生委員・児童委員等への研修の 実施)
1	習志野	◆ピアサポート相談やうつ病当事者ミーティングを25 年度に続き実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆ピアサポート研修を年2回実施し、その他に市町村からの 電話相談に対し助言等を行った。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆思春期保健関係者研修会において「ネットラ ブル・ネットいじめ～最新事例とその対処法～」開 催。(26. 8. 20) ▲依頼があれば実施予定 ●依頼があれば実施予定	◆母子保健推進員に対し研修会開催 「ひとり親家庭への有効な支援とは」(26. 10. 23) ▲母子保健推進員に対し研修会開催予 定。テーマは検討中 ●27年度と同様
2	市川	◆①理容組合ゲートキーパー講習(ステップアップ)、 美容組合ゲートキーパー講習 ②6月「思春期の心と 体の変化」高校生を対象に講演会を実施。参加者182 名 ▲思春期の心の健康づくりに関する健康教育(高校 生対象) ●27年度と同様	◆管内保健師への研修会「保健師のメンタルヘルス」医師に よる講演会40名参加。3月「思春期の健康課題と取り組みを 考える」「学校保健における健康課題と取り組みに関するア ンケート」参加者15名 ▲思春期精神保健に関する関係者研修会 ●27年度と同様	◆1月「自殺のとゲートキーパーの役割」と「職場の メンタルヘルス対策～アサーションスキルを学ぶ」 研修会を事業所の健康管理者55名参加 ▲予定なし ●予定なし	◆実施なし ▲予定なし ●予定なし
3	松戸	◆うつ病家族教室を開催し、うつ病の理解と対応につ いて講義を実施した。①26年11月5日「家族が元気 になるための方法」②26年11月12日「うつ病とは？ 疾患と治療について」③26年11月19日「体験談及び ミーティング」 ▲理美容組合員へメンタルヘルスに関する講演会を 実施予定 ●今後必要に応じて検討する。	◆①26年9月24日 市保健師及び市養育支援員へ「産褥期 の精神疾患の特性とその支援について」の講演会を実施。 ②26年12月4日「精神疾患を有している生徒への支援」「障 害年金について」「思春期の精神症状をどう見分け支援す るか」をテーマに講演会を実施した。 ▲相談支援を行うスタッフを対象に研修会を実施予定 ●今後必要に応じて検討する。	◆実施なし ▲27年8月4日看護管理者研修にて講演「職場の メンタルヘルスにおける看護監督者の役割」講 師シニア産業カウンセラー 美野直子氏 ●今後必要に応じて検討する。	◆実施なし ▲今後必要に応じて検討する。 ●今後必要に応じて検討する。
4	野田	◆平成27年1月29日精神保健福祉ボランティアフ ォローアップ講座を開催した。(17名出席) ▲精神保健福祉ボランティア養成講座を開催予定。 ●未定	◆実施なし ▲必要に応じ健康福祉センター職員による中小企業向けの メンタルヘルス講演会の開催を検討する。 ●未定	◆管理職が野田看護専門学校の学生に公衆衛 生の講義を行った。 ▲26年度と同様 ●未定	◆実施なし ▲民生委員あてに住民向けのゲートキー パー研修の開催を案内予定。 ●未定
5	印旛	◆①メンタルヘルス対策講習会 9月1日実施。講師: 当センター保健師 対象:労働基準監督署職員、事業所 健康管理者等 受講者25名 ②保健所実習学生等に 実施 ▲実施予定 ●実施予定	◆①ゲートキーパー養成研修 10月14日実施。講師:聖マリア 医科大学神経精神科研究員/子どもと親の育ち支援こころの 匠ネット代表 田口学氏 対象:市職員(班長クラス以上) 受講 者27名 ②講習会12月17日実施。講師:千葉県精神神経科 診療所協会会長 志津雄一郎氏 対象:市町職員、労働基 準監督署、警察、消防等 ▲実施予定 ●実施予定	◆看護管理者研修会2月3日実施。講師:千葉大 学大学院看護学研修科病院看護システム管理学 教授 手島恵氏 受講者47名 ▲実施予定 ●実施予定	◆ゲートキーパー研修8月19日実施。講 師:当センター保健師 受講者81名 ▲依頼があれば実施予定 ●依頼があれば実施予定

各健康福祉センター(保健所)の取組状況 2

番号	所属	2(3)健康教育等の実施 (精神疾患についての啓発・健康教育)	3(3)地域保健スタッフや産業保健スタッフの資質の向上 (保健所、市町村、医療機関等の相談支援に当たるスタッフを対象に研修)	3(3)地域保健スタッフや産業保健スタッフの資質の向上 (看護教育分野などの研修)	3(4)民生委員・児童委員等への研修の実施 (民生委員・児童委員等への研修の実施)
6	香取	◆①ピア訪問2回実施(ひきこもりケース) ②ピアグループブレインボーへの会場提供(毎月第3水曜日)参加者延べ97名。 ▲ピア相談、ピア訪問を実施予定。他は26年度と同様 ●継続実施予定	◆ピアグループブレインボーに市保健師が研修のため1回出席。 ピアサポート研修に市保健師が2回参加。 ▲26年度と同様 ●継続実施予定	◆①香取健康福祉センターが受け入れた医学部及び看護学部、社会福祉学部等実習生に対して精神保健福祉の講義を行った。②青葉看護専門学校で精神保健福祉の講義を行った。③ピアグループブレインボーに実習生2名を受け入れた。④講演会「発達障害児への対応」を教職員向けに実施。8月25日開催 29名参加。 ▲26年度と同様 ●継続実施予定	◆自殺予防対策講演会 ①第1回 9月25日 「うつ病の基礎知識」 上席精神保健福祉相談員 鈴木剛「うつ病からの回復と地域生活」 NPO法人ザフト宮城秀樹氏 参加33名 対象:民生委員・児童委員 ②第2回9月30日 「うつ病の基礎知識」 上席精神保健福祉相談員 鈴木剛「うつ病からの回復と地域生活」NPO法人ザフト宮城秀樹氏 参加23名 対象:民生委員・児童委員 ▲民生委員・児童委員については香取市自立支援協議会にて実施予定。 ●未定
7	海匠	◆講演会「精神障害者のこころの健康講座」3回:参加者 実44名、延べ114名。 ▲精神障害者のピアサポート講座5回、家族学習会講演「こころの病気とつきあいながら、こんな工夫で暮らしています」参加者:13名 ●27年度と同様	◆①思春期保健担当者会議 講演「こころの成長を育む思春期教育～子どもたちへ伝えること～」:参加者33名。②地域精神保健福祉連絡会議 講演「アルコール依存症の支援について」参加者:10名。③自殺に関する事例検討会 参加者:11名 ▲①地域精神保健福祉連絡会議 講演「アルコール依存症の支援について～精神科における精神保健福祉担当者の役割について～」、②自殺に関する事例検討会、その他は26年度と同様 ●27年度と同様	◆学生実習に精神保健福祉の講義を行い、自殺対策の理解を図った。医学生:実2名 看護学生:実20名、福祉学生1名。 ▲学生に精神保健福祉の講義を行い、自殺対策の理解を図る。医学生、看護学生、福祉学生、栄養学生を対象に実施。 ●27年度と同様	◆母子保健推進員研修会「海匠地域の母子保健の現状について」:参加者36名 ▲①薬物乱用防止指導員香取海匠健く福祉センター地区協議会合同研修会 講演「身近な薬物依存としてのアルコール依存症について」参加者:7名、②その他は26年度と同様 ●27年度と同様
8	山武	◆①心の健康に関わる研修会 講演「精神障害者が日常から取り組みたい健康的な食生活!」参加者:32名 ②心の健康に関わる研修会 講演「親あるうちに自立生活を支える地域づくりを～ここまでできる当事者の力～」参加者:52名。③思春期に関わる心の健康づくり研修会 講演「こどもの多様な特性とその対応～子どもたちを取り巻く環境の変化と心の問題の予防～」参加者:36名。 ▲心の健康に関わる研修会実施予定 ●未定	◆①ゲートキーパー養成研修 対象:看護師・保健師・相談支援専門員等 参加者:100名 ②ゲートキーパー養成研修対象:管内新人保健師 参加者:4名 ③講演「自殺未遂者を地域で支える～病院と地域との連携を目指して～」講師:公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター 精神医療センター 助教 日野耕介氏 医療相談支援担当 安藝聖衣子氏 対象者:関係機関職員、保健師、民生委員等 参加者:62名 ▲管内新人保健師を対象にゲートキーパー養成研修を実施予定。 ●未定	◆実施していない ▲管内大学において、看護学部、福祉学部等の学生を対象に自殺対策セミナーを実施。講演「学生のためのこころのセルフケアとピアサポート」講師:特定非営利活動法人Light Ring.代表理事 石井綾華氏 ●未定	◆講演「自殺未遂者を地域で支える～病院と地域との連携を目指して～」講師:公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター 精神医療センター 助教 日野耕介氏 医療相談支援担当 安藝聖衣子氏 対象者:関係機関職員、保健師、民生委員等 参加者:62名 ▲管内大学における若年者の自殺対策に関する講演会の周知を行う。 ●未定
9	長生	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆①市町村や農業事務所、土木事務所などの窓口業務をする方を対象に「話を聞くことについて」の研修会実施。参加者21名。 ②若者の自殺対策講演会として、養護教諭やスクールカウンセラー等を対象に講演会「若者の自殺予防のために」を実施。参加者57名。 ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲民生委員・児童委員等への研修を実施予定。 ●未定

各健康福祉センター(保健所)の取組状況 2

番号	所属	2(3)健康教育等の実施 (精神疾患についての啓発・健康教育)	3(3)地域保健スタッフや産業保健スタッフの資質の向上 (保健所、市町村、医療機関等の相談支援に当たるスタッフ を対象に研修)	3(3)地域保健スタッフや産業保健スタッフの資 質の向上 (看護教育分野などの研修)	3(4)民生委員・児童委員等への研修の 実施 (民生委員・児童委員等への研修の 実施)
10	夷隅	◆精神疾患に関する正しい知識と理解を深めるための啓発・健康教育を実施。(年2回) ① 理美容生活衛生同業組合夷隅支部衛生消毒講習会対象:理美容生活衛生同業組合、参加者延数39名 ②精神障害者家族教室 対象:精神障害を抱える家族等、参加者延数10名。 ▲26年度と同様 ●未定	◆管内市町村及び関係機関の関係者を対象に「自殺対策研修会」を年1回開催。自殺対策講演会「自殺からみた高齢者の“うつ病”」講師:大多喜病院 和久津里行氏(精神科専門医・指導医) 参加者延数35名。 ▲未定 ●未定	◆管内看護管理者を含む関係機関を対象に「自殺対策研修会」を年1回開催。自殺対策研修会「自殺からみた高齢者の“うつ病”」講師:大多喜病院 和久津里行氏(精神科医師) ▲保健所看護実習生等を対象に自殺対策に関する講義を実施。 ●27年度と同様	◆民生・児童委員等を対象に、精神疾患の理解と対処方法に関する研修を年1回実施。勝浦市民生・児童委員研修会「被害妄想について」講師:夷隅保健所 地域保健福祉課(精神保健担当) 参加者延数18名 ▲いすみ市民生委員へ保健所職員が講演予定。 ●未定
11	安房	◆平成26年10月24日(金)ゲートキーパー研修(対象者:鋸南町民生・児童委員 参加者:25名) ▲ゲートキーパー研修(平成28年2月19日)開催予定。 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆看護学生や研修医、ホームヘルパー等の実習を受け入れ、精神デイケア参加等精神保健福祉に関連する内容を組み込んだ。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆民生・児童委員を対象にゲートキーパー研修を開催 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
12	君津	◆①断酒学級:アルコール問題を持つ本人や家族対象に嘱託精神科医師、地域の断酒会役員の協力により毎月第1火曜日開催。開催回数11回参加実27延101名 ②うつ病体験者と家族のつどい:うつ病当事者の会育成支援として社会復帰職員による集いを開催。開催回数12回、参加延人数44名 ③薬物ミーティングの開催:薬物問題を持つ家族を対象に薬物依存症者のリハビリ施設職員によるミーティングを開催。開催回数10回、参加延人数11名。 ▲断酒学級、うつ病体験者と家族のつどいを開催 ●継続実施	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆給食施設従事者・管理者の対し、ゲートキーパー養成講座として実施した。 ▲26年度と同様 ●未定	◆実施していない ▲民生委員を対象としてゲートキーパー研修を開催予定 ●未定
13	市原	◆関係事業を活用し、自殺対策に関する研修会を実施した他、家族会主催の研修に講師として出席し、「ストレスとの上手な付き合い方」について講演した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆保健・福祉・医療機関関係者を対象に「アルコール依存症への関わりと依存症治療の実際」の研修会を実施した。 ▲保健・福祉・医療機関関係者を対象に研修会を開催する予定。 ●27年度と同様	◆実施していない ▲検討中 ●検討中	◆実施していない ▲検討中 ●検討中

各健康福祉センター(保健所)の取組状況 3

番号	所属	4(2)地域における心の健康づくり推進体制の整備(身体的・精神的悩みを有する方に健康相談等各種支援事業)	4(2)地域における心の健康づくり推進体制の整備(難病についての相談事業、エイズ・STDについての相談事業)	4(2)地域における心の健康づくり推進体制の整備(県民を対象に精神保健福祉相談)	4(2)地域における心の健康づくり推進体制の整備(精神科医や精神保健福祉士等の講演会等)
1	習志野	<p>◆専門医による健康相談と保健師による電話相談を実施 ▲専門医による健康相談と保健師による電話相談を実施している ●27年度と同様</p>	<p>◆エイズ・STDについては検査や窓口、電話相談を行った他、学校や母子保健関係者を対象とした講習会、街頭キャンペーン等で予防啓発を行った。難病については医療費助成制度の改正に伴い、ケアマネを対象とした研修会を実施。また例年どおり、つどいやクリスマス会を行った。 ▲エイズ・STDについては検査や窓口、電話相談を行っている他、学校や母子保健関係者を対象とした講習会、街頭キャンペーン等で予防啓発を行っている。難病については医療費助成制度の改正に伴い、ケアマネを対象とした研修会を実施予定。また例年どおり、つどい等を行う予定。 ●平成27年度と同様</p>	<p>◆随時、電話や来所による相談に応じ、必要時自宅訪問、嘱託医(精神科医)による精神保健福祉相談を実施した。 ▲随時、電話や来所による相談に応じ、必要時の自宅訪問や嘱託医(精神科医)による精神保健福祉相談を実施している。 ●27年度と同様</p>	<p>◆実施していない ▲実施していない ●予定なし</p>
2	市川	<p>◆保健師による電話相談により、悩みの傾聴とともに必要に応じて適切な相談先や受診先を紹介。(保健師による訪問:441件、面接:2,038件、電話:4,859件(延))・遺伝相談(遺伝性疾患に関する悩みを遺伝専門医が担当):4件 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆<難病>①申請時窓口相談・神経難病患者等の家庭訪問の実施 ②難病患者等への講演会・つどい2回<エイズ、STD>①毎月第1・3木曜日に日中検査、第1木曜日に夜間検査を実施 ②電話・窓口相談を実施 ③管内学校養護教諭、高校生に健康教育を実施 ④管内高校に啓発用リーフレット配布 ▲<難病>①26年度と同様 ②神経難病患者等への、つどい1回、講演会1回<エイズ、STD>①、②、④26年度と同様 ③管内市立小中学校養護教諭に講演会を実施 <小慢>慢性腎疾患患者交流会10月予定 ●<難病>①27年度と同様 ②神経難病患者への、つどい1回、講演会1回<エイズ、STD>27年度と同様に実施予定</p>	<p><精神保健福祉相談関連> ◆①月5回嘱託医師による定例相談及び訪問を実施 ②職員による相談、訪問を随時実施(来所相談356件、訪問422件、電話相談4,455件) ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆地域精神保健福祉業務従事者研修会として実施(協議会の部会活動実施なし) ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>
3	松戸	<p>◆通常業務の中で実施。 ▲通常業務の中で実施。保健師による電話相談、思春期相談で実施している。 ●27年度と同様</p>	<p>◆通常業務の中で実施。 ▲窓口相談、家庭訪問、等難病相談事業を実施。エイズ・STD検査及び相談、教育機関関係者等でのエイズ対策講習会を実施。小児慢性特定疾患受給者を対象にした交流会を実施している。 ●27年度と同様</p>	<p>◆通常業務の中で実施。 ▲嘱託医による一般相談、酒害相談及び訪問相談を5回/月実施。 ●27年度と同様</p>	<p>◆①26年9月24日 市保健師及び市養育支援員へ「産褥期の精神疾患の特性とその支援について」の講演会を実施。②26年12月4日「精神疾患を有している生徒への支援」、「障害年金について」、「思春期の精神症状をどう見分け支援するか」をテーマに講演会を実施。 ▲今後必要に応じて検討する ●今後必要に応じて検討する</p>
4	野田	<p>◆精神科嘱託医による精神保健福祉相談日を月2回開催した。(実・延べ15件) ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆HIV抗体検査及び肝炎ウイルススクリーニング検査を予約制で実施した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆嘱託医、相談員、保健師による精神保健福祉相談を実施した。(面接実48人、延べ99件、訪問実16人、延べ107件) ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆①27年3月5日 ゲートキーパー研修を開催し18名が出席 ②27年1月29日にボランティアフォローアップ講座を開催し17名が出席 ▲ゲートキーパー研修、ボランティア養成講座を開催予定。 ●未定</p>

各健康福祉センター(保健所)の取組状況 3

番号	所属	4(2)地域における心の健康づくり推進体制の整備(身体的・精神的悩みを有する方に健康相談等各種支援事業)	4(2)地域における心の健康づくり推進体制の整備(難病についての相談事業、エイズ・STDについての相談事業)	4(2)地域における心の健康づくり推進体制の整備(県民を対象に精神保健福祉相談)	4(2)地域における心の健康づくり推進体制の整備(精神科医や精神保健福祉士等の講演会等)
5	印旛	◆不妊相談、エイズ相談、精神保健福祉相談、DV相談、子ども相談、母子・寡婦家庭生活一般相談を実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆難病相談事業(集団指導・個別相談)、医療介護従事者研修会を実施。エイズ相談については来所、電話等で実施 ▲実施予定 ●実施予定	◆精神保健福祉相談の実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆①こころの健康市民講座2月19日実施。講師:成田赤十字病院精神神経科 医師 松田久実氏 受講者88名 ②講習会12月17日実施。講師:千葉県精神神経科診療所協会会長 志津雄一郎氏 対象:市町職員、労働基準監督署、警察、消防等 ▲実施予定 ●実施予定
6	香取	◆不妊相談、エイズ相談、精神保健福祉相談、精神デイケアクラブ、DV相談、子ども相談、母子・寡婦家庭生活一般相談を実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆①難病相談(年2回)開催:述べ11名 ②エイズ相談(月2回)開催:述べ193件 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆精神保健福祉相談 ①嘱託医による定例相談(実24件・延べ25件) ②随時相談(実99件、延べ270件) ③訪問指導(実22件、延べ79件) ④電話(713件) ⑤メール(167件) ▲26年度と同様 ●継続開催予定	◆地域移行支援協議会 講演[退院を促す社会資源創出の取り組み] 成田地域生活支援センター 精神保健福祉士 橋本美枝氏 ▲未定 ●未定
7	海匝	◆精神保健福祉相談員、保健師、嘱託医による精神保健福祉相談(来所:実116名、延べ190名、訪問:実39名、延べ84名、電話:延べ609名) ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆①難病(個別医療相談2回延べ数7名、家庭訪問実18名、延べ35名、窓口相談実363名、延べ535名、在宅療養支援計画評価事業1回延べ数10)、訪問診療事業 年間実施回数16回 ②エイズ・STD(検査事業延べ100件、電話相談延べ80件、エイズ関係者会議1回 参加者:49機関129名、青少年等に対する予防講習会13回延べ1,931名、予防キャンペーン2回約600名) ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆精神保健福祉相談員、保健師、嘱託医による精神保健福祉相談(来所:実116名、延べ190名、訪問:実39名、延べ84名、電話:延べ609名)。 ▲26年度までと同様 ●27年度と同様	◆講演会「精神障害者のこころの健康講座」3回:参加者 実44名、延114名。 ▲「精神障害者のピアサポート講座」5回。 ●27年度と同様
8	山武	◆①親と子の心の相談、精神保健福祉相談、精神デイケアクラブを実施した。②命の大切さや、思春期における心と体の変化を理解し、思春期における課題に対応していけるよう小中学校を対象とした思春期健康教育を実施した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆エイズ・STDに関する面接・電話相談や、難病相談事業を実施した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆精神科医師や精神保健福祉相談員による精神保健福祉相談を実施した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆講演「自殺未遂者を地域で支える～病院と地域との連携を目指して～」講師:公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター 精神医療センター 助教 日野耕介氏 医療相談支援担当 安藝聖衣子氏 対象者:関係機関職員、保健師、民生委員等 参加者:62名 ▲講演「学生のためのこころのセルフケアとピアサポート」講師:特定非営利活動法人Light Ring.代表理事(精神保健福祉士) 石井綾華氏 対象:管内大学生等 ●未定

各健康福祉センター(保健所)の取組状況 3

番号	所属	4(2)地域における心の健康づくり推進体制の整備(身体的・精神的悩みを有する方に健康相談等各種支援事業)	4(2)地域における心の健康づくり推進体制の整備(難病についての相談事業、エイズ・STDについての相談事業)	4(2)地域における心の健康づくり推進体制の整備(県民を対象に精神保健福祉相談)	4(2)地域における心の健康づくり推進体制の整備(精神科医や精神保健福祉士等の講演会等)
9	長生	◆①精神科医によるこころの健康相談を定例実施。②精神保健福祉相談員・保健師による相談を随時実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆【難病】①難病講演会の開催。②難病仲間の会の開催支援。③窓口・訪問相談の実施。【エイズ・STD】①HIV・STD検査および相談の実施。②管内小中高等学校における講習会の開催。③エイズ専門相談員の派遣。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆精神科医、精神保健福祉相談員、保健師による心の健康相談の実施(医師の相談、面接、訪問、電話)。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆①心の健康市民講座・精神保健福祉ボランティア講座 講演:「今日から実践できる心の健康づくり」参加者43名。②精神保健家族教室 講演「一緒に考える患者さんの支え方」参加者22名。 ▲①心の健康市民講座予定 講演会「高齢化社会問題のあれこれ」②精神保健家族教室 講演会を実施予定。 ●例年どおり
10	夷隅	◆①精神科専門医による心の健康に関する定例相談を月2回実施 ②精神保健福祉相談員、保健師等による心の健康に関する相談を随時実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆難病及びエイズ・STDについての相談、訪問を実施するとともに、当事者及び介護者を対象に講演会・交流会等による集団指導を実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆①精神科専門医による心の健康に関する定例相談を月2回実施 ②精神保健福祉相談員、保健師等による心の健康に関する相談を随時実施 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆①管内市町村及び関係機関の関係者を対象に「自殺対策研修会」を開催(年1回)内容:「自殺からみた高齢者の“うつ病”」講師:大多喜病院 和久津里行(精神科医師) ②講演「精神科で使う薬について」講師:大多喜病院 角田 良太 先生(精神科医師) 対象:精神障害を抱える家族等 ▲未定 ●未定
11	安房	◆精神保健福祉相談員及び保健師等による電話・面接・家庭訪問等での相談を随時実施。嘱託精神科医師による精神保健福祉相談を実施。臨床心理士による思春期相談を実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆窓口相談、家庭訪問、難病患者のつどい等難病相談事業を実施。エイズ・STD検査及び相談、学校等でのエイズ対策講習会を実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆精神保健福祉相談員及び保健師による電話・面接・家庭訪問等での相談を随時実施。嘱託精神科医師による精神保健福祉相談、臨床心理士による思春期相談を実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆①11月9日(日)安房地域心の健康のつどい講演(対象者:一般住民 参加者:499名) ②10月24日(金)ゲートキーパー研修(対象者:鋸南町民生・児童委員 参加者:25名) ▲ゲートキーパー研修、地域・職域連携推進事業におけるメンタルヘルス講演会開催予定 ●ゲートキーパー研修開催予定
12	君津	◆①思春期相談(第2水曜日)②不妊相談(偶数月第3木曜日)③DV相談(随時)。 ▲継続実施 ●継続予定	◆①難病相談(常時)②エイズ検査(第1,3水曜日)及び相談(随時)。 ▲継続実施 ●継続予定	◆①心の健康相談の開催(嘱託精神科医師による健康相談を月3回実施。②精神保健福祉担当職員が常時相談に対応した。 ▲①継続実施 月2回実施。②継続実施。 ●継続予定	◆H26.11.16(日)自殺防止対策講演会(対象者:一般市民・行政・医療機関職員等)参加者26名 ▲予定なし ●未定
13	市原	◆精神保健福祉担当職員等による随時または嘱託医師による定例相談を計画どおり実施した。 ▲26年度と同様 ●27年度までと同様	◆当該事業を計画どおり実施した。 ▲26年度と同様 ●27年度までと同様	◆当該事業を計画どおり実施した。 ▲26年度と同様 ●27年度までと同様	◆一般住民を対象に市原市と共催し「うつ病について」の講演会を開催した。 ▲26年度と同様のほか、精神障害者の家族を対象として「当事者の自立に向けた支援のあり方」についての講演をする予定である。 ●27年度までと同様

各健康福祉センター(保健所)の取組状況 4

番号	所属	5(2)精神保健福祉相談・診療の実施 (うつ病当事者ミーティング等)	5(2)精神保健福祉相談・診療の実施(家族 訪問等を通して、受診勧奨、定期通院の確 認、専門医による無料相談会)	6(1)地域における相談体制の充実 (自殺や心の悩みの相談)	6(1)地域における相談体制の充実(住民に対す る啓発・情報提供、地域における自殺対策の推進)
1	習志野	◆うつ病当事者ミーティング、精神保健福祉相談・ 訪問と、性差を考慮した健康支援事業において健 康相談などを実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆電話・来所相談された事例に対し、必要時 実施した。精神科医による無料相談も実施し た。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆電話や来所相談、時にメール相談などに 応じた。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆ピアサポート相談やうつ病当事者ミーティングを 継続実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
2	市川	<精神保健福祉相談関連> ◆①月5回嘱託医師による定例相談及び訪問を 実施 ②職員による相談、訪問を随時実施(来 所相談356件、訪問422件、電話相談4,455件) ▲26年度と同様 ●27年度と同様	<精神保健福祉相談関連> ◆①月5回嘱託医師による定例相談及び訪問 を実施 ②職員による相談、訪問を随時実施 (来所相談356件、訪問422件、電話相談4,455 件) ▲26年度と同様 ●27年度と同様	<精神保健福祉相談関連> ◆①月5回嘱託医師による定例相談及び訪 問を実施 ②職員による相談、訪問を随時実 施(来所相談356件、訪問422件、電話相談 4,455件) ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆ゲートキーパー養成講習受講者へ普及啓発パン フレット(うつ病、不眠関連、相談窓口一覧)の配布 ▲ゲートキーパー養成講習を昨年実施した理容組 合の方へ普及啓発パンフレット(うつ病、不眠関 連、相談窓口一覧)の配布 ●未定
3	松戸	◆通常業務の中で実施。 ▲随時、電話相談や来所相談を実施。また必要 に応じて訪問支援等を実施。断酒学級や薬物家 族ミーティングの実施は無し。 ●27年度と同様	◆通常業務の中で実施。 ▲電話相談や来所相談、訪問支援を通し受診 勧奨、定期通院の確認を行い、必要に応じて 嘱託医による精神保健福祉相談、嘱託医同行 による訪問支援を実施。 ●27年度と同様	◆通常業務の中で実施。 ▲随時、電話相談や来所相談を実施。また 必要に応じて訪問支援等を実施。 ●27年度と同様	◆「あなたのこころ元気ですか」等2,635部を配布。 こころの相談窓口を周知するポスターを作成し 1,500枚管内公共機関を中心に掲示を行なった。 ▲今年度も啓発資料を各関係機関などへ配布を実 施予定。 ●今後検討する。
4	野田	◆嘱託医、精神保健福祉相談員、保健師による 精神保健福祉相談を適宜実施した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆精神保健福祉相談員、保健師による家庭訪 問を適宜実施した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆精神保健福祉相談員、保健師による電話 相談、面接を適宜実施した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆保健所だより、ホームページによる情報提供を 行った。啓発物(リーフレット、マスク等)を適宜配布 した。所内にポスターを掲示した。(予防週間、予防 月間、いのちの電話等) ▲26年度と同様 ●27年度と同様
5	印旛	◆精神保健福祉相談、その他健康相談実施。印 旛地域精神保健福祉連絡協議会 3月13日実 施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆家庭訪問等を通して、受診勧奨、定期通院 の確認は実施している。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆面接、電話相談等で実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆「印旛地域メンタルヘルスを中心とした相談窓 口一覧」をホームページに掲載 ▲「印旛地域メンタルヘルスを中心とした相談窓 口一覧」を改定しホームページに掲載予定 ●27年度と同様
6	香取	◆「うつ病経験者の集い」10月より毎月1回開催。 参加延べ43名。 ▲「うつ病経験者・家族の集い」を毎月第3木曜 日に開催。 ●継続開催予定	◆精神保健福祉相談 ①嘱託医による定例相 談(実24件・延べ25件) ②随時相談(実99件、 延べ270件) ③訪問指導(実22件、延べ79件) ④電話(713件) ⑤メール(167件) ▲26年度と同様 ●継続開催予定	◆精神保健福祉相談 ①嘱託医による定例 相談(実24件・延べ25件) ②随時相談(実99 件、延べ270件) ③訪問指導(実22件、延べ 79件) ④電話(713件) ⑤メール(167件) ▲26年度と同様 ●継続開催予定	◆講演会や家族教室等において以下を配布 ① シャープペンシル・ボールペン ②「あなたのこころ 元気ですか？」 ③「あなたのこころ元気ですか？」 自殺対策・うつに関する手引き ④リーフレット「大 切な人を自死でなくされたあなたへ」 ⑤メンタル ヘルス問題への対応 ⑥身体健康問題と自殺予防 ⑦高齢者・家族問題と自殺予防 ⑧ほっと安心手 帳 ⑨誰でもゲートキーパー手帳 ▲講演会等でリーフレットを配布する予定 ●未定

各健康福祉センター(保健所)の取組状況 4

番号	所属	5(2)精神保健福祉相談・診療の実施 (うつ病当事者ミーティング等)	5(2)精神保健福祉相談・診療の実施(家族 訪問等を通して、受診勧奨、定期通院の確 認、専門医による無料相談会)	6(1)地域における相談体制の充実 (自殺や心の悩みの相談)	6(1)地域における相談体制の充実(住民に対す る啓発・情報提供、地域における自殺対策の推進)
7	海匝	◆デイケアクラブ「ピアサポートミーティング こころのしゃべり場」の開催。参加者:実12名、延べ66名。 ▲①ピアサポートミーティング「こころのしゃべり場」の支援。②精神障害者家族のピアサポート「こころの健康家族のつどい」の開催。③ピアサポート講座受講者のつどい2回 ●27年度と同様	◆精神保健福祉相談員、保健師、嘱託医による精神保健福祉相談(来所:実116名、延べ190名、訪問:実39名、延べ84名、電話:延べ609名)。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆精神保健福祉相談員、保健師、嘱託医による精神保健福祉相談(来所:実116名、延べ190名、訪問:実39名、延べ84名、電話:延べ609名)。 ▲①ピアサポート相談日、②その他は26年度と同様 ●27年度と同様	◆マスク「あなたの行動が自殺を防ぎます」33枚等。センターだより第32号「つながる、いのち、自殺から守りたい」内容:自殺予防のメンタルセルフコントロール。 ▲センターだより第33号「精神障害とその家族のピアサポート」内容:海匝地域のピアサポート相談日やピアサポートグループ等を紹介。 ●アルコール問題啓発事業、その他は27年度と同様
8	山武	◆精神保健福祉相談・訪問指導、母子保健推進協議会、親と子の心の相談、小・中・高校生を対象とした健康教育を実施した。 ▲精神保健福祉相談・訪問指導、母子保健推進協議会、親と子の心の相談、小・中・高校生を対象とした健康教育を実施する。 ●27年度と同様	◆家庭訪問や面接等を通して受診勧奨を行った。精神保健福祉相談で専門医による無料相談を実施した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆精神科医・精神保健福祉相談員・臨床心理士・保健師による、精神保健福祉相談、親と子の心の相談、電話相談を実施した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆①ホームページを作成し、相談窓口の周知を図った。②研修会開催時に啓発物品を配布した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
9	長生	◆①精神保健福祉相談員、保健師による訪問。②専門医による相談の実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆①精神保健福祉相談員、保健師による訪問。②専門医による相談の実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆精神科医、精神保健福祉相談員、保健師による心の健康相談の実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆精神科医、精神保健福祉相談員、保健師による心の健康相談の実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
10	夷隅	◆①管内精神保健福祉連絡会議、②精神保健福祉相談・訪問指導、③一人ひとりに応じた健康相談、④思春期保健事業、⑤母子保健推進協議会を実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆精神科嘱託医による定例相談を実施、必要に応じて保健師、精神保健福祉相談員等による家庭訪問等を通して受診勧奨を実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆①精神科嘱託医による心の健康に関する定例相談②精神保健福祉相談員、保健師等による面接相談、訪問指導、電話相談を随時実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆当健康福祉センター(保健所)たより及び管内市町の作成する自殺対策関連パンフレットに相談窓口に関する記事を掲載 ▲地域住民を対象とした、各種講演会・イベント等にて、関連パンフレット等の配布、相談窓口に関する情報提供を行う。 ●27年度と同様
11	安房	◆精神保健福祉相談・断酒学級・訪問指導、一人ひとりに応じた健康支援事業、思春期保健事業。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆精神保健福祉相談員及び保健師による電話・面接・家庭訪問等で随時対応。嘱託精神科医師による精神保健福祉相談を実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆精神保健福祉相談員及び保健師による電話・面接・家庭訪問等で随時対応。嘱託精神科医師による精神保健福祉相談、臨床心理士による思春期相談を実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆安房地域心の健康のつどいを開催。パンフレット「あなたのこころ元気ですか?」を配布。地域・職域連携推進事業で作成したりーフレット「子どもの頃から始める心の健康づくり」を各関係機関へ配布。 ▲各種啓発用パンフレットを講演会等で配布予定。 ●27年度と同様

各健康福祉センター(保健所)の取組状況 4

番号	所属	5(2)精神保健福祉相談・診療の実施 (うつ病当事者ミーティング等)	5(2)精神保健福祉相談・診療の実施(家族 訪問等を通して、受診勧奨、定期通院の確 認、専門医による無料相談会)	6(1)地域における相談体制の充実 (自殺や心の悩みの相談)	6(1)地域における相談体制の充実(住民に対す る啓発・情報提供、地域における自殺対策の推進)
12	君津	<p>◆①断酒学級:アルコール問題を持つ本人や家族対象に嘱託精神科医師、地域の断酒会役員の協力により毎月第1火曜日開催。開催回数11回参加実27延101名 ②うつ病体験者と家族のつどい:うつ病当事者の会育成支援として社会復帰職員による集いを開催。開催回数12回、参加延人数44名 ③薬物ミーティングの開催:薬物問題を持つ家族を対象に薬物依存症者のリハビリ施設職員によるミーティングを開催。開催回数10回、参加延人数11名。 ▲①、②を開催 ●継続実施</p>	<p>◆精神保健福祉担当が訪問にて受診勧奨、支援を実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆①嘱託精神科医師 による心の健康相談の開催(月3回) ②精神保健担当による相談(常時) ▲継続実施 ①月2回 ②継続 ●継続予定</p>	<p>◆啓発用パンフレット「あなたのこころ元気ですか？」を講演会等で配布。保健所だよりへ「ゲートキーパー宣言!」「うつ病体験者及び家族のつどい」の記事を掲載した。 ▲啓発用パンフレットを講演会等で配布。 ●27年度と同様</p>
13	市原	<p>◆当該事業を計画どおり実施した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆当該事業を計画どおり実施した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆精神保健福祉相談等に対応した。相談内容に応じた訪問や関係機関との連携をした。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆所内外で実施する事業を活用し、一般住民や関係者にパンフレット等を配布し、啓発に努めた。 ▲26年度と同様 ●27年度までと同様</p>

各健康福祉センター(保健所)の取組状況 5

番号	所属	6(10)地域での連携体制の確立 (自殺対策地区連絡会議を開催)	6(11)相談窓口の連携強化 (相談窓口の充実等と、自殺対策連絡会議等の開催により情報共有や連携体制の強化)	7(2)家族等の身近な人の見守りに対する支援 (警察、消防、保健所、医療機関、市町村等が連携し、家族や職場とともに自殺未遂者を支援)	7(3)地域での訪問事業の実施 (こころの健康に関する相談等)
1	習志野	<ul style="list-style-type: none"> ◆開催せず ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆会議の中で保健所の事業や通報状況を説明し、保健所の取り組みを伝え、また各関係機関からの取り組みについても共有している。各関係機関とは連携を取り合い必要時は共に相談に応じ自宅訪問をした。 ▲精神保健福祉担当者会議で情報を共有、連携しての相談対応や自宅訪問は継続している。 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆警察や消防からの連絡、家族からの相談により医療機関を紹介したり、面接等を実施しサポートした。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆随時、精神保健福祉相談員・看護師で電話・来所相談を受け、必要に応じて訪問を行っている。また、定期的に精神科嘱託医による定例相談・訪問を行った。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
2	市川	<ul style="list-style-type: none"> ◆H26.6.10管内自殺対策担当者会議開催。市川市自殺対策関係機関連絡会議出席10月。 浦安市いのちとこころの支援対策協議会出席 年4回 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆担当者連絡会にて情報共有し、保健所主催講演会等で市の相談窓口周知を実施。 ▲自殺予防週間等でこころの健康づくりに関する情報パンフレットを理容組合に配布し、相談窓口を周知する。 ●職域保健への相談窓口の紹介を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆精神保健福祉相談員等により随時実施 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
3	松戸	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施なし。 ▲今後必要に応じて対応する。 ●今後必要に応じて対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自殺対策連絡会議は開催しなかったが、保健所主催の講演会等で保健所の事業や通報状況を説明し、関係機関が連携のとりのしやすい体制整備づくりの機会とした。保健所主催の担当者連絡会を実施し、保健所の事業や通報状況を説明し関係機関との連携強化を行なった。また、講演会等を通じて、同様に連携の取りやすい体制整備づくりの機会とした。 ▲市町村の自殺対策担当者協議し、各市の取り組みを把握。相談窓口の周知徹底に努める。 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆精神相談にて実施 ▲今後必要に応じて対応する。 ●今後必要に応じて対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆通常業務の中で実施 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
4	野田	<ul style="list-style-type: none"> ◆自殺対策連絡会議は25年度で終了。27年2月12日の地域精神保健福祉連絡協議会の中で、自殺者数の推移に関する情報提供を行った。(医療、福祉、行政関係者計12名が出席) ▲26年度と同様 ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自殺対策連絡会議は25年度で終了。27年2月12日の地域精神保健福祉連絡協議会の中で、自殺者数の推移に関する情報提供を行った。(医療、福祉、行政関係者計12名が出席) ▲26年度と同様 ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆必要時に警察、消防、保健所、医療機関、市町村、家族と連携し、自殺未遂者の支援(生活問題の支援や精神科の受診の支援等)を行った。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆精神保健福祉相談員、保健師による訪問支援を適宜実施した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
5	印旛	<ul style="list-style-type: none"> ◆①自殺対策地区連絡会議12月17日実施、出席者29名 ②管内自殺対策担当者会議10月22日実施、出席者13名 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆管内自殺対策担当者会議や、自殺対策地区連絡会議等において、それぞれの取り組みや情報を共有し、関係機関の連携強化を図っている。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆精神相談にて実施 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆不妊相談、エイズ相談、精神保健福祉相談、DV相談、子ども相談、母子・寡婦家庭生活一般相談を実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様

各健康福祉センター(保健所)の取組状況 5

番号	所属	6(10)地域での連携体制の確立 (自殺対策地区連絡会議を開催)	6(11)相談窓口の連携強化 (相談窓口の充実等と、自殺対策連絡会議等の開催により情報共有や連携体制の強化)	7(2)家族等の身近な人の見守りに対する支援 (警察、消防、保健所、医療機関、市町村等が連携し、家族や職場とともに自殺未遂者を支援)	7(3)地域での訪問事業の実施 (こころの健康に関する相談等)
6	香取	◆香取健康福祉センター精神保健福祉連絡協議会(2月20日)にて自殺対策について報告し、各関係機関に引き続き自殺未遂ケースについての情報共有を依頼し、連携強化を図った。 ▲26年度と同様 ●未定	◆香取健康福祉センター精神保健福祉連絡協議会(2月20日)にて自殺対策について報告し、各関係機関に引き続き自殺未遂ケースについての情報共有を依頼し、連携強化を図った。 ▲26年度と同様 ●未定	◆香取健康福祉センター精神保健福祉連絡協議会(2月20日)にて自殺対策について報告し、各関係機関に引き続き自殺未遂ケースについての情報共有を依頼し、連携強化を図った。 ▲26年度と同様 ●未定	◆精神保健福祉相談 ①嘱託医による訪問相談(実1件・延べ2件) ②担当者による訪問指導(実22件、延べ29件) ③ピアサポーターによる訪問(実1件、延べ2件) ▲26年度と同様 ●27年度と同様
7	海匝	◆前年度の海匝地域自殺対策連絡会議にて、アルコール依存症対策が急務であることを確認したため、地域精神保健福祉連絡会にて検討した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆前年度の海匝地域自殺対策連絡会議にて、アルコール依存症対策が急務であることを確認したため、地域精神保健福祉連絡会にて検討した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆自殺に関する事例検討会の開催(参加者11名) ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆精神保健福祉相談員、保健師、嘱託医による精神保健福祉相談(来所:実116名、延べ190名、訪問:実39名、延べ84名、電話:延べ609名)。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
8	山武	◆前年度同様の連絡会議は予算上実施ができなかったため、自殺対策支援者セミナー後に、連絡会議の構成員をメンバーとした意見交換会を実施した。 ▲予定なし ●予定なし	◆前年度同様の連絡会議は予算上実施ができなかったため、自殺対策支援者セミナー後に、連絡会議の構成員をメンバーとした意見交換会を実施した。 ▲山武地域精神保健福祉研究会等各種関連事業を通し、関係機関との連携を図る。 ●27年度と同様	◆①精神保健福祉相談事業、親と子の心の相談で家族の相談も実施した。②自殺対策支援者セミナーを、自殺未遂者を地域で支えることをテーマに実施し、セミナー後に警察、消防、医療機関、市町村等の関係者で意見交換を行った。 ▲精神保健福祉相談事業、親と子の心の相談等において、身近な人の見守りに対する支援を行う。 ●未定	◆精神科医師・精神保健福祉相談員による定例相談及び、精神保健福祉相談員等による相談を随時実施した。また、精神保健福祉相談員が市町保健師等、他職種と連携し訪問指導を実施した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
9	長生	◆管内自殺対策担当者会議を開催し、地区課題の共有と共同での対策を協議実行した。 ▲状況により管内自殺対策担当者会議を開催する。 ●未定	◆①精神科医による定例相談を実施した。また精神福祉相談員や保健師の相談を実施した。 ②管内自殺対策担当者会議にて管内の課題を共有し、対策を検討した。 ▲状況により管内自殺対策担当者会議を開催する。 ●未定	◆現状を自殺対策連絡会議で共有した。 ▲状況により管内自殺対策担当者会議を開催する。 ●未定	◆精神科医、精神保健福祉相談員、保健師による心の健康相談の実施(面接、訪問、電話)。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
10	夷隅	◆管内の精神保健福祉連絡会議を実施(年1回:自殺の現状と課題を含む) ①夷隅保健所の精神保健福祉事業について ②自殺統計に基づく自殺者の状況について ③各関係機関の現状と課題について ▲26年度と同様 ●未定	◆管内精神保健福祉連絡会議(年1回:自殺の現状と課題を含む)において、関係機関・関係団体等との情報共有と連携体制の強化を図る。 ▲26年度と同様 ●未定	◆管内の関係者ケース会議(年6回)の開催を通じて、円滑な相談支援体制の構築を図る。 ▲26年度と同様 ●未定	◆精神保健福祉相談員、保健師等による心の健康相談を随時実施、必要に応じて訪問指導を実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様

各健康福祉センター(保健所)の取組状況 5

番号	所属	6(10)地域での連携体制の確立 (自殺対策地区連絡会議を開催)	6(11)相談窓口の連携強化 (相談窓口の充実等と、 自殺対策連絡会議等の開催により情報共有や連携体制の強化)	7(2)家族等の身近な人の見守りに対する支援 (警察、消防、保健所、医療機関、市町村等が連携し、 家族や職場とともに自殺未遂者を支援)	7(3)地域での訪問事業の実施 (こころの健康に関する相談等)
11	安房	◆実施なし ▲予定なし ●予定なし	◆ゲートキーパー研修を開催し、管内の自殺の現状を情報の共有を図った。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆関係機関と連携しながら個別支援した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆精神保健福祉相談員、保健師による訪問援助と嘱託精神科医師と臨床心理士による定例相談を実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
12	君津	◆連絡会の予算化はないため、他の協議会等の場において必要に対応可能とすることとした。 ▲予定なし ●予定なし	◆各市相談窓口を確認し、連携を図った。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆個別の事例に対し、関係機関と連携して支援した。 ▲相談時に対応。 ●継続予定	◆随時、精神保健福祉相談員等により、必要に応じて訪問を行っている。 ▲26年度と同様 ●27年度同様
13	市原	◆計画どおり開催し、各関係機関と連携を図った。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆計画どおり開催し、情報共有等連携を図った。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲検討中 ●検討中	◆計画どおり実施した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様

各健康福祉センター(保健所)の取組状況 6

番号	所属	7(3)地域での訪問事業の実施 (保健師等の訪問)	7(4)うつ病当事者・家族の自助グループへの支援 (うつ病当事者・家族の自助グループへの支援)	8(1)自殺者の遺族のための自助グループの運営支援(自死遺族わかちあいの会への支援、遺された家族の回復や支援に関するセミナーを開催)	8(4)自死遺族支援(自死遺族の心の相談、支援講演会等を実施)
1	習志野	◆長期療養児、難病、結核等の訪問を行う中で精神的支援を要する事例については他機関に繋げたり予防的介入を行った。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆毎月第2水曜日にうつ病当事者ミーティングを実施した。また、隔月でうつ病当事者の自助グループに会場提供を行った。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲実施していない ●未定	◆随時、精神保健福祉相談員・看護師で電話・来所相談を行った。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
2	市川	◆未遂又は自殺の危険が高い事例を把握した場合は、予防的な介入も含めて相談員・保健師で訪問等している ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆随時、精神保健福祉相談員・保健師で電話・来所相談を行った。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
3	松戸	◆通常業務の中で精神保健福祉相談員、保健師による家庭訪問を実施した。 ▲通常業務の中で実施。 ●通常業務の中で実施。	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆通常業務の中で、自死遺族から心の相談があったときに、随時対応した。 ▲通常業務の中で実施。 ●通常業務の中で実施。
4	野田	◆保健師による訪問を適宜実施した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆精神障害者家族会の例会や学習会の周知に協力した。地域精神保健福祉連絡協議会に家族会会長の出席を依頼した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施なし ▲実施なし ●実施なし	◆精神保健福祉相談業務の中で適宜対応した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
5	印旛	◆精神保健福祉相談員、保健師、難病相談員による訪問を実施 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆自死遺族支援として、千葉いのちの電話と連携 ①「わかちあいの会ひだまり」を偶数月第3金曜日(年6回)実施 ②「個人対面相談」を奇数月第3金曜日(年6回)実施 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆自死遺族支援として、千葉いのちの電話と連携 ①「わかちあいの会ひだまり」を偶数月第3金曜日(年6回)実施 ②「個人対面相談」を奇数月第3金曜日(年6回)実施 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
6	香取	◆自殺未遂者への保健師と精神保健福祉相談員による訪問の実施(実1件、述べ3件) ひきこもり者へのピアサポーターと精神保健福祉相談員による訪問の実施(実1件、述べ2件) ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆『うつ病当事者ミーティング』年6回、毎月1回開催。 ▲『うつ病経験者・家族の集い』年12回、毎月1回開催。 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆精神保健福祉相談の中で実施(実件、述べ件) ▲26年度と同様 ●27年度と同様

各健康福祉センター(保健所)の取組状況 6

番号	所属	7(3)地域での訪問事業の実施 (保健師等の訪問)	7(4)うつ病当事者・家族の自助グループへの支援 (うつ病当事者・家族の自助グループへの支援)	8(1)自殺者の遺族のための自助グループの運営支援(自死遺族わかちあいの会への支援、遺された家族の回復や支援に関するセミナーを開催)	8(4)自死遺族支援(自死遺族の心の相談、支援講演会等を実施)
7	海匠	◆訪問の実人数39人、延べ人数84人。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲個別の事例の支援状況によっては、自助グループの育成を視野に入れた活動を行う。 ●27年度と同様	◆実施していない ▲個別の事例の支援状況によっては、自助グループの育成を視野に入れた活動を行う。 ●27年度と同様	◆実施していない ▲個別の事例の支援状況によっては、自助グループの育成を視野に入れた活動を行う。 ●27年度までと同様
8	山武	◆精神保健福祉相談員が、市町村保健師等と同行訪問を実施。 ▲26年度までと同様 ●27年度までと同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆自死遺族から心の相談があった時に、随時対応 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
9	長生	◆精神保健福祉相談員、保健師による訪問の実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定
10	夷隅	◆保健師等による心の健康に関する随時相談、必要に応じて訪問指導を実施。・訪問指導(随時) ▲実施予定 ●実施予定	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定
11	安房	◆精神保健福祉相談員、保健師による訪問指導を実施 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆精神障害者家族会の支援を実施 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆相談があった際に電話、面接等で対応 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
12	君津	◆精神保健福祉相談員、保健師による家庭訪問を実施した。 ▲継続実施 ●継続予定	◆開催回数12回、参加延人員44人 ▲継続実施 ●継続予定	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆自殺防止対策講演会の開催。「孤立しない、孤立させない「お前ひとりで生きていけ社会」に向き合う」講師:NPO法人自殺防止ネットワーク風 篠原 鋭一氏 参加者26名 ▲未定 ●未定
13	市原	◆計画どおり実施 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲検討中 ●検討中	◆実施していない ▲検討中 ●検討中	◆実施していない ▲検討中 ●検討中

各健康福祉センター(保健所)の取組状況 7

番号	所属	9(2)地域における連携体制の確立(連絡会議を開催するなど地域ネットワークの整備、民間団体と連携)	9(2)地域における連携体制の確立(自殺対策地区連絡会議、地域精神保健福祉連絡協議会等の開催を通じて、市町村の体制整備を支援)	9(2)地域における連携体制の確立(地域・職域連携推進協議会においてメンタルヘルス対策や自殺予防対策について協議)
1	習志野	◆実施していない ▲実施していない ●未定	◆平成27年1月15日に地域精神保健福祉連絡会議を実施 ▲26年度と同様(時期未定) ●27年度と同様	◆地域職域連携推進協議会において平成23年度よりメンタルヘルス対策の推進に取り組んだ ▲26年度と同様 ●未定
2	市川	◆理容組合への講習会の実施 ▲理容組合へのゲートキーパー関係パンフレットの配布と相談窓口の紹介 ●予定なし	◆市川・浦安地域精神保健福祉連絡協議会 26年10月29日実施 出席21名 ▲市川・浦安地域精神保健福祉連絡協議会 28年2月実施予定 ●未定	◆実施していない(H21,22年度に実施済み) ▲予定なし ●予定なし
3	松戸	◆26年5月30日 精神保健福祉担当者会議を実施した。地域の問題を共有し、関係機関の連携強化のための体制整備の機会としている。 ▲昨年度同様、精神保健福祉担当者会議を開催予定。 ●今後必要に応じて対応する。	◆市の自殺対策連絡会議に出席 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆地域職域連携推進事業にて、心の健康づくりについての情報交換を行い、管内の自殺の情報について共有。 ▲会議においてメンタルヘルスについて検討予定 ●未定
4	野田	◆27年2月12日に開催した地域精神保健福祉連絡協議会の中で、自殺者数の推移に関する情報提供を行った。(12名出席) ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆27年2月12日に開催した地域精神保健福祉連絡協議会の中で、自殺者数の推移に関する情報提供を行った。(12名出席) ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆必要に応じメンタルヘルス対策・自殺対策の視点も取り入れた。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
5	印旛	◆①自殺対策地区連絡会議12月17日実施、出席者29名 ②管内自殺対策担当者会議10月22日実施、出席者13名 ③印旛地域精神保健福祉連絡協議会3月13日実施、出席者32名 ④印旛地域精神障害者家族交流会3月4日実施 ▲実施予定 ●実施予定	◆①自殺対策地区連絡会議12月17日実施、出席者29名 ②管内自殺対策担当者会議10月22日実施、出席者13名 ③印旛地域精神保健福祉連絡協議会3月13日実施、出席者32名 ▲実施予定 ●実施予定	◆実施していない。(メンタルヘルスでの連携は25年度で終了) ▲予定なし ●予定なし
6	香取	◆①香取市生活困窮者自立支援施設との連携強化のため支援調整会議に出席(年6回)。 ②香取圏域地域移行支援協議会に関係機関との連携強化のため出席(年6回)。 ▲26年度と同様 ●未定	◆香取健康福祉センター精神保健福祉連絡協議会を開催。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆①地域・職域連携推進協議会作業部会を年2回開催。 ②事業所メンタルヘルス推進講演会(10月17日)「つらい思いを抱える人たちにかかわるには」アスクヒューマン・ケア研修相談センター 水澤都加佐氏 参加者40名 対象:事業所従業員 ▲予定なし ●未定
7	海匝	◆市自立支援協議会及び地域移行支援協議会(精神障害者地域移行支援事業)、保健所地域精神保健福祉連絡会にて、関係機関と連携して、講座の共催等を推進した。 ▲26年度までと同様 ●27年度までと同様	◆市の自殺対策地域連絡会議に出席した。 ▲26年度までと同様 ●27年度までと同様	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし

各健康福祉センター(保健所)の取組状況 7

番号	所属	9(2)地域における連携体制の確立(連絡会議を開催するなど地域ネットワークの整備、民間団体と連携)	9(2)地域における連携体制の確立(自殺対策地区連絡会議、地域精神保健福祉連絡協議会等の開催を通じて、市町村の体制整備を支援)	9(2)地域における連携体制の確立(地域・職域連携推進協議会においてメンタルヘルス対策や自殺予防対策について協議)
8	山武	<ul style="list-style-type: none"> ◆自殺対策支援者セミナー後に、前年度まで実施していた連絡会議の構成員をメンバーとした意見交換会を実施し、現状や各機関の取組について共有した。 ▲自立支援協議会全体会・事務局会議、山武地域精神保健福祉研究会に参加予定 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自殺対策支援者セミナー後に、意見交換会を実施し、警察、消防、市町等に参加いただき、現状や各機関の取組について共有した。 ▲市町で開催される自殺対策に関する会議等へ参加予定。 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆職域におけるメンタルヘルス対策が重要であることから、自殺対策支援者セミナー及びセミナー後の意見交換会に、地域職域連携推進協議会作業部会構成員にも参加いただいた。 ▲自殺対策セミナーについて、地域職域連携推進協議会作業部会構成員宛て周知予定。 ●未定
9	長生	<ul style="list-style-type: none"> ◆管内自殺対策担当者会議を1回実施。管内の自殺の状況、各市町村における自殺対策事業を共有し、対策を検討した。 ▲状況により管内自殺対策担当者会議を開催する。 ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆管内自殺対策担当者会議を1回実施。管内の自殺の状況、各市町村における自殺対策事業を共有し、対策を検討した。 ▲状況により管内自殺対策担当者会議を開催する。 ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定
10	夷隅	<ul style="list-style-type: none"> ◆管内の自殺対策を含めた精神保健福祉連絡会議を開催し、夷隅地域のネットワークの整備、民間団体との連携を図る。 ▲26年度と同様 ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆管内の自殺対策を含めた精神保健福祉連絡会議を開催し、夷隅地域のネットワークの整備、民間団体との連携を図る。 ▲26年度と同様 ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆管内地域・職域連携推進協議会において、平成19年度から取り組んだメンタルヘルス対策の評価について協議 ▲予定なし ●予定なし
11	安房	<ul style="list-style-type: none"> ◆精神保健福祉連絡協議会を開催し、地域の関係機関との連携の強化を図った。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆精神保健福祉連絡協議会、日常の相談業務等を通じ、管内市町の事業の推進や体制整備を支援した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域・職域連携推進協議会において、子どものころから始める正しい生活習慣と心の健康づくりをテーマに取り組んだ。 ▲未定 ●未定
12	君津	<ul style="list-style-type: none"> ◆精神保健福祉連絡協議会を開催し、地域の関係機関との連携を図った。(参加者20名) ▲継続予定 ●継続予定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆精神保健福祉連絡協議会を開催し、各機関の体制整備を支援した。 ▲継続予定 ●継続予定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆メンタルヘルス対策としてゲートキーパー養成講座や自殺予防講演会等の実施内容を報告した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
13	市原	<ul style="list-style-type: none"> ◆自殺対策地区連絡会議及び地域精神保健福祉連絡会議を実施し、情報交換や共有、意見交換等行い連携体制の強化につなげた。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆計画どおり開催し、体制整備を支援した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲検討中 ●検討中

政令市及び中核市の進捗状況 1

※再掲は除く(以下同じ) ◆26年度実績 ▲27年度計画 ●28年度予定

市	1(3)既存資料の活用 (情報共有・分析・実態説明)	1(4)地域における自殺の現状分析 (地域の状況把握と対策検討)	2(1)①フォーラムや講演会等の実施 (県民対象のフォーラムや講演会)	2(1)②啓発冊子・パンフレット等の配布 (県民対象の啓発冊子やパンフレット)
千葉市	<p>◆25年度に実施した自殺の実態調査を受け、本市の自殺対策計画の一部見直しを行った。 ▲見直した計画に沿った自殺対策を実施。 ●27年度と同様。</p>	<p>◆人口動態調査・警察庁発表資料等により、状況を把握し、本市の自殺対策を検討した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆地域自殺対策緊急強化基金を活用し、以下の講演会を実施した。①「自死問題を考える市民のつどい」を27年3月2日に開催し、111人が参加した。講師 筑波大学医学医療系教授 精神科医 高橋祥友氏、ちば心理教育研究所 光元和憲氏。②「職場のメンタルヘルス・セミナー」を26年9月16日に開催し、44人が参加した。講師千葉大学教授 清水 栄司氏。 ▲地域自殺対策強化交付金を活用し、「職場のメンタルヘルス・セミナー」を27年9月2日に開催。講師 厚生労働省技官 精神科医 吉村 健佑氏。 ●未定</p>	<p>◆①地域自殺対策緊急強化基金を活用し、自殺予防リーフレットを60,000部作成し、薬局や商工会議所を通じて配布したほか、健診会場等にて配布した。②千葉市子ども未来局子ども企画課子どもの参画ホームページにて、22年度実施の「こどものカワキョップ」において作成した自殺予防パンフレットを掲載し啓発した。 ▲①地域自殺対策強化交付金を活用し、自殺予防リーフレットを60,000部作成し、健診会場等を通じて配布する。②26年度と同様 ●27年度と同様</p>
船橋市	<p>◆①自殺対策庁内連絡会議を2月に開催し、各課の取り組みや資料等について情報の共有を図った。②自殺対策連絡会議を8月に開催し、各部署の取り組みや自殺に関わる資料について情報の共有を図った。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆平成23年度、24年度の自殺の実態調査結果および提言に基づき、対策を検討。 直近の状況については、人口動態調査、警察庁発表資料で把握。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆こころの市民講演会 ①27年3月1日(日)市民文化ホールにおいて、落語家 三遊亭小遊三氏を講師に迎え、936人が参加。 ②千葉いのちの電話の県民講座「聞くと聴く」を共催。 ▲千葉いのちの電話の県民講座「心に寄り添う方法」を共催。 ●未定</p>	<p>◆①25年度に作成した相談窓口リーフレットをイベント等で配布した。また、公用車マグネットシールも継続。②3月の自殺対策強化月間に合わせ、市民と接する機会のある市役所窓口において相談窓口リーフレットを渡す「声かけて 支えあって つなぐ絆」キャンペーンを実施。 ▲相談窓口リーフレットを改訂し、配布する。その他は26年度と同様 ●27年度と同様</p>
柏市	<p>◆自殺関連情報や内閣府柏市自殺者データなど、柏市自殺予防対策連絡会議(26団体)で、情報共有等を図った。 ▲自殺関連情報や内閣府柏市自殺者データなど、柏市自殺予防対策連絡会議(26団体)で、情報共有・意見交換等を図る予定。 ●27年度と同様</p>	<p>◆①千葉大学と子どもに対する認知行動療法プログラムの研修を市内2つの小学校で実施、その内1校をモデル校として6回のプログラムの実践をした。②平成23年から25年の市内の自殺者の分析・調査を実施した。 ▲調査結果を分析し、今後の施策に反映させていく。 ●未定</p>	<p>◆①～柏市民の命を考える～公開講演会「柏市の自殺の現状を知る」を27年3月26日(木)に開催。江戸川大学社会学部人間心理学科教授中村真氏を講師に迎え、柏市における自死の現状から見てきたものの講演。参加者79名。②千葉いのちの電話による自死遺族支援講演会を26年6月24日(火)に実施した。参加者102名。講師は下園壮太氏。③千葉いのちの電話によるボランティア養成講演会を26年7月22日(参加者74名)と26年12月4日(参加者45名)に実施した。講師は有馬和子氏。 ▲①柏市自殺予防対策フォーラム及び千葉いのちの電話による自死遺族支援講演会を27年8月24日(月)に実施予定。②自殺対策・うつ病対策啓発ミュージカル「やまない雨」を9月12日(土)に実施。 ●未定</p>	<p>◆小中学生の作品をまとめたクリアファイルを作成し、学校やイベント等にて配布した。 ▲普及啓発リーフレット等を関係機関へ配布予定。 ●未定</p>

政令市及び中核市の進捗状況 2

市	2(3)健康教育等の実施 (精神疾患についての啓発・健康教育)	3(2)教職員等に対する普及啓発等の実施 (各地区での研修会等で理解を促し教育支援)	3(3)地域保健スタッフや産業保健スタッフの資質の 向上(保健所、市町村、医療機関等の相談支援に当 たるスタッフを対象に研修)	3(4)民生委員・児童委員等への研修の実 施(民生委員・児童委員等への研修の実 施)
千葉市	<p>◆市民、家族、支援者等を対象に、心の健康に関する知識と精神障害の正しい理解について講演会等を開催した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆①小中特生徒指導主任研修会、小中高教育相談研究協議会、人権教育担当者研究協議会等の研修会において、いじめ、自殺等に関する児童・生徒への指導や対応等について協議した。 ②地域自殺対策緊急強化基金を活用し、小中高등학교、特別支援学校の教師を対象としたゲートキーパー養成研修を行い、児童生徒のメンタルヘルスや自殺予防に関する必要な基礎的知識の普及等を図った。講師 臨床心理士 川井和子氏。小グループで2回実施し、61人を養成。なお、普及・啓発のためゲートキーパーバッジとゲートキーパー手帳を作成し、参加者に配布した。 ▲①26年度と同様 ②地域自殺対策強化交付金を利用し、26年度と同様の研修を3回実施し、半日だった研修を終日にして内容の充実を図った。 ●27年度と同様</p>	<p>◆①かかりつけ医及び学校教職員を対象に、うつ病と思春期精神疾患に係る研修会を開催した。②保健師等に対し精神保健福祉業務研修を実施した。 ③地域自殺対策緊急強化基金を活用し、ケアマネと市職員を対象としたゲートキーパー養成研修を行い、自殺の危険性の高い人の早期発見、早期対応を図る人材を養成した。講師 臨床心理士 川井和子氏。小グループ編成で各1回実施し、39人を養成。なお、啓発のため、ゲートキーパーバッジとゲートキーパー手帳を作成した。 ▲①実施については、現在検討中。②26年度と同様 ③地域自殺対策強化交付金を活用し、26年度と同様の研修を行うが、高齢者のメンタルヘルスの向上を目的に、研修時に利用するリーフレットを作成する。 ●①実施については、現在検討中。②③27年度と同様</p>	<p>◆①民生委員・児童委員向けに精神保健福祉研修を開催した。 ②地域自殺対策緊急強化基金を活用し、民生委員を対象としたゲートキーパー養成研修を行い、自殺の危険性の高い人の早期発見、早期対応を図る人材を養成した。講師 臨床心理士 川井和子氏。小グループ編成で3回実施し、80人を養成。なお、普及・啓発のためゲートキーパーバッジとゲートキーパー手帳を作成し、参加者に配布した。 ▲①26年度と同様 ②地域自殺対策強化交付金を活用し、26年度と同様の研修を行うが、高齢者のメンタルヘルスの向上を目的に、研修時に利用するリーフレットを作成する。 ●27年度と同様</p>
船橋市	<p>◆健康講座「ぐっすりすっきり快眠講座」を8月・12月に開催。「ストレスの上手な解消法」を9月に開催。 ②地域住民の理解を深め障害者との交流を目的とした交流会や精神保健福祉推進のためのセミナーを開催する。(こころの広場交流会:年1回開催 参加者273名)(こころの健康セミナー:年1回開催 参加者96名) ▲26年度と同様 ●継続予定</p>	<p>◆【悉皆研修】教職員のメンタルヘルスに関わる研修 対象①小中学校教職10年経験者研修 ②小中学校新任教頭研修 ③小中学校初任者研修 ④小中学校教員7年目(ステップアップ研修)【希望研修】命の大切さを実感する心の教育 対象:小中・特別支援学校教員 ▲【悉皆研修】教職員のメンタルヘルスに関わる研修 対象①小中学校教職10年経験者研修 ②小中学校新任教頭研修 ③小中学校初任者研修【希望研修】命の大切さを実感する心の教育 対象:小中・特別支援学校教員 ●継続予定(日程、講師は未定)</p>	<p>◆自殺のサインに気づき、自殺を予防する窓口対応について学ぶ。(1回目 26年6月12日)(2回目 26年6月23日) 場所:市役所職員研修所 対象:窓口業務等、市民と多く接する業務を担当する職員39名 講師:ルーテル学院大学 福島喜代子氏他 ▲①自殺のサインに気づき、自殺を予防する窓口対応について学ぶ。(1回目 27年7月2日 9:00~12:00)(2回目 27年7月2日 14:00~17:00) 場所:船橋市保健所2階会議室 対象:窓口業務等、市民と多く接する業務を担当する職員57名 講師:メンタルスクー協会 小野田 奈美氏 ②相談スキルの向上をはかる。(27年12月10日9:15~12:00) 場所:船橋市保健所小会議室 対象:相談支援に携わる職員20人 講師:メンタルスクー協会 小野田 奈美氏 ●継続予定</p>	<p>◆①精神疾患の正しい知識の普及のため、地域で活動している民生委員やケアマネ等を対象に講演会を開催。講演会:年1回開催 参加者53名 「当事者」中心の地域支援について~ ②民生児童委員向けゲートキーパー研修を開催(11月14日 83名参加) ▲26年度と同様 ●継続予定</p>
柏市	<p>◆①出前講座(統合失調症・うつ病・アルコール依存症・ストレス・自殺予防対策)を8回実施。参加人数224人。②H26.7.26に関係団体等の当事者やスタッフと柏まつりに参加。一般市民来場者数500名以上。 ▲①出前講座(統合失調症・うつ病・アルコール依存症・ストレス・自殺予防対策)を実施中。②広報誌・ホームページ・保健所だより等にて啓発予定。 ●①出前講座については継続的に実施予定。②広報誌・ホームページ・twitter等にて啓発予定。</p>	<p>◆①自殺予防に資する見識を広め、児童生徒に対するゲートキーパーとしての教職員の立場と役割の認識を図るため、教職員向けの「ゲートキーパー養成講座(入門編)~ゲートキーパーの意義~」を平成26年8月26日実施した。(27年度も同時期に実施を予定)。※悉皆研修として、3年間(平成25年度~27年度まで)で柏市内小中学校全教職員が受講する予定。②各小中学校にゲートキーパーの役割を果たすことのできる人材の育成を図るため、2日間にわたり、ゲートキーパー養成講座(実践編)を実施した。※各学校1名を必ず選出し、25~26年度の2年間で、柏市内全小中学校に在職する1名が受講できるように割り振り、26年度完了した。 ▲①教職員の自殺予防に資する見識を広める「ゲートキーパー養成講座(入門編)~ゲートキーパーの意義~」を27年8月24日に実施予定。※3年計画の3年目にあたる。②児童の自己肯定感を高め、自信を持って生活できることが自殺予防につながるという見地から、平成26年度に開発し、検証を進めてきた、「認知行動療法」を使った支援プログラムの実施を各学校に啓発する。 ●未定</p>	<p>◆柏市医師会、歯科医師会、薬剤師会や福祉関係団体などと自殺予防をテーマとした柏市医療懇談会を実施した。参加人数71名。 ▲柏市精神保健福祉担当者連絡会議を2回開催予定。1回目は地域の支援者を対象に、「バーンアウト予防について」研修会を実施予定。2回目は未定だが、自殺関連をテーマに実施予定。 ●未定</p>	<p>◆前期・後期のゲートキーパー養成研修に22の各民児協からほぼ1名ずつ参加。 ▲ゲートキーパー養成研修(市民編)に希望者が参加予定。 ●未定</p>

政令市及び中核市の進捗状況 3

市	3(5)消費・生活・労働・法律等の相談員の資質の向上(相談窓口担当者会議等の開催、研修会等の開催)	4(2)地域における心の健康づくり推進体制の整備(難病についての相談事業、エイズ・STDについての相談事業)	4(2)地域における心の健康づくり推進体制の整備(県民を対象に精神保健福祉相談)	4(2)地域における心の健康づくり推進体制の整備(精神科医や精神保健福祉士等の講演会等)
千葉市	<p>◆こころの健康センター主催のゲートキーパー養成研修に消費生活センターの職員が参加、受講内容を消費生活相談員に文書で周知を図った。</p> <p>▲消費生活相談員に対し、相談者への関係窓口(こころの健康センター、千葉いのちの電話、こころの電話、各区健康課)の周知を図る。</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆難病については、各区健康課において通常の窓口・電話相談の中で対応した。また、保健所にて、匿名のエイズ・STD検査を実施。検査日当日、検査結果返却時等に、カウンセラーを配置し、電話及び来所相談に応じた。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆思春期、アルコール・薬物依存、高齢者などの心の病の問題について、専門相談を実施した。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆①市民を対象に精神疾患に関する講演会として「こころの健康教室」を開催した。</p> <p>②市民、家族、支援者等を対象に、心の健康に関する知識と精神障害の正しい理解について講演会等を開催した。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>
船橋市	<p>◆自殺のサインに気づき、自殺を予防する窓口対応について学ぶため、ゲートキーパー研修を実施。(1回目 26年6月12日)(2回目 26年6月23日) 場所:市役所職員研修所 対象:窓口業務等、市民と多く接する業務を担当する職員39名 講師:ルーテル学院大学 福島喜代子氏他</p> <p>▲自殺のサインに気づき、自殺を予防する窓口対応について学ぶため、ゲートキーパー研修を実施。(1回目 27年7月2日 9:00~12:00)(2回目 27年7月2日 14:00~17:00) 場所:船橋市保健所2階会議室 対象:窓口業務等、市民と多く接する業務を担当する職員57名 講師:メンタルスクー協会 小野田 奈美氏</p> <p>●継続予定</p>	<p>◆【エイズ相談】エイズ検査の実施に併せて、エイズカウンセラーによるエイズ相談窓口を開設し、被検査者の不安の解消を図っている。また、HIV検査陽性者の治療や医療費等についての不安の解消を図るため、カウンセリングを行っている。実施回数 24回(4回は休日開催) 【難病相談】難病療養患者の集い及び東葛南部難病相談・支援センターと連携し、神経難病医療相談会を開催。また、保健師・訪問相談員による訪問相談を行い、難病患者や家族の不安等を解消し、安心して療養できるよう努めている。保健所保健師等による訪問指導 延61回 訪問相談員による訪問指導 延260回</p> <p>▲【エイズ相談】26年度と同様 【難病相談】難病療養患者のつどいを3回、神経難病医療相談会1回開催予定。訪問相談も継続。</p> <p>●継続予定</p>	<p>◆市民を対象に精神保健福祉相談を行う。</p> <p>嘱託医相談:月4回予定 36件実施。</p> <p>専門職員による相談・訪問(電話相談 2,518件)(来所相談 356件)(訪問相談 775件)</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●継続予定</p>	<p>◆①市民を対象に精神疾患に関する講演会「心の健康セミナー」を1回実施。テーマ「依存からの回復と援助～薬物依存と取組む中で～」96名の参加。②地域の支援者対象に精神科医による普及啓発講演会を1回実施。テーマ「当事者」中心の地域支援について」53名の参加。③家族を対象に精神疾患の理解と対応について講演会を3回実施。112名の参加。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●継続予定</p>
柏市	<p>◆複雑化・多様化する相談業務に対応するため、国・県で実施する研修会や弁護士による事例研究会及び内部研修等に参加することで、情報収集や他機関・他部署との連携による相談体制の強化を図った。</p> <p>▲26年度に引き続き、庁内外の関係部署と相談に係る連携体制の構築を図り、相談業務の機能強化を図り、質の向上・充実を目指す。</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆①難病患者及び家族への支援として、保健師や難病訪問指導員(看護師)による訪問指導及び相談【実績】訪問指導:保健師15件、相談員80件 来所相談36件 電話相談69件。②難病患者及び家族対象の講演会を実施「摂食嚥下障害のケアについて」来所者数58人、「知りたい!摂食障害を見るコツ」来所者数74人、難病患者・家族を対象の疾患別医療相談会を2回実施「後縦帯骨化症・黄色帯骨化症」5人参加「多発性硬化症」10人③HIV等抗体検査相談事業として、原則、毎月第2・第4月曜日に検査及び相談を実施。他に休日検査(年5回)、夜間検査(年5回)を実施。検査当日、エイズカウンセラーによる専門相談を実施。またHIV陽性告知については、医師、保健師、エイズカウンセラーによるチームにて告知・相談を実施。</p> <p>▲①26年度と同様に実施予定。更新申請受付時に対象者3742名の内、神経疾患、重症認定患者282人に対して難病患者の実態把握を実施。③HIV等抗体検査相談事業として、原則、毎月第2・第4月曜日に検査及び相談を実施。他に休日検査(年6回)、夜間検査(年8回)を実施。いずれの検査実施日にもエイズカウンセラーによる相談を実施。またHIV陽性告知については、医師、保健師、エイズカウンセラーによるチームにて告知・相談を実施。</p> <p>●①③継続実施②継続予定(実施内容は未定)</p>	<p>◆精神科医による、こころの健康相談の実施。</p> <p>(精神一般相談:月4回、アルコール相談:月1回)</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆ボランティア講座及び市民公開講座として、10月10日から11月にかけて実施した。</p> <p>▲市民公開講座を10月8日に実施予定。更にボランティアフォローアップ講座を2月頃実施予定。</p> <p>●未定</p>

政令市及び中核市の進捗状況 4

市	4(2)地域における心の健康づくり推進体制の整備（母親のメンタルヘルスの相談）	5(2)精神保健福祉相談・診療の実施（うつ病当事者ミーティング等）	5(2)精神保健福祉相談・診療の実施（家族訪問等を通して、受信勧奨、定期通院の確認、専門医による無料相談会）	6(1)地域における相談体制の充実（自殺や心の悩みの相談）
千葉市	<p>◆通常の相談で対応するとともに、保健師、助産師による新生児訪問の際に、産後うつの早期発見に向けてスクリーニング指標（EPDS）を実施した。また、育児ストレスの高い母親を対象に臨床心理士による個別相談を実施した。</p> <p>EPDS実施件数 3,802件 育児ストレス相談 145回 延228件</p> <p>▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆①こころの健康センターにて、毎月、うつ病当事者の会を実施するとともに、8月から臨床心理士による集団認知行動療法を2クール（1クール10回）実施した。</p> <p>②各区健康課において、精神保健福祉相談及び訪問指導・受療援助を実施した。</p> <p>③ハーモニー相談（女性専用相談）において、女性の心身の健康に関する相談、男性専用電話相談において、男性の心身の健康に関する相談を実施した。</p> <p>▲①こころの健康センターにて、毎月、うつ病当事者の会を実施するとともに、10月から臨床心理士による集団認知行動療法を1クール12回＋フォローアップ2回を実施する。</p> <p>②各区健康課においては、精神保健福祉相談及び訪問指導・受療援助を実施する。</p> <p>③26年度と同様</p> <p>●①集団認知行動療法を2クール（12回＋フォローアップ2回/回）実施する。②③27年度と同様</p>	<p>◆各区健康課において、訪問指導・受療援助を実施した。</p> <p>▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆①月・金曜日の夜間に千葉駅近くの対面相談窓口「こころと命の相談室」において相談を行った。</p> <p>②「こころの電話」にて、開庁日の10時から正午、13時から17時まで、こころの健康に関する相談に対応した。</p> <p>▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>
船橋市	<p>◆「育児ストレス相談」を実施。精神科医師6回 臨床心理士12回</p> <p>▲26年度と同様 ●継続予定</p>	<p>◆【精神保健福祉推進協議会の開催】協議会：年2回 幹事会：年4回 担当幹事会：年数回</p> <p>【精神保健福祉相談・訪問指導の実施】①嘱託医相談：月4回 36件実施 ②専門職員による相談・訪問 電話相談2,518件 来所相談356件 訪問相談775件</p> <p>▲26年度と同様 ●継続予定</p>	<p>◆精神保健福祉相談、訪問指導を実施。</p> <p>▲26年度と同様 ●継続予定</p>	<p>◆①保健と福祉の総合相談窓口さーくる 月～金曜日9:00～17:00（祝日・年末年始を除く）対象を限らないワンストップの相談窓口として、福祉サービスのコーディネート、福祉の総合相談、権利擁護を行う。平成26年度は自殺に関する相談が66件であった。</p> <p>②船橋市総合教育センター 月～金曜日9:00～17:00（祝日・年末年始を除く）不登校・いじめ等について、相談員及び臨床心理士が相談に応じる。</p> <p>③24時間年中無休の電話サービス「ふなばし健康ダイヤル24」にて看護師や医師などが健康相談に応じる。</p> <p>▲26年度と同様 ●継続予定</p>
柏市	<p>◆通常の相談での対応とともに、保健師、助産師による新生児訪問の際に、①育児支援チェックリスト②産後うつの早期発見に向けてスクリーニング指標（EPDS）③赤ちゃんへの気持ち質問票（ボンディング）を用い、育児ストレスが高いと思われる方へは訪問等の継続支援を実施した。</p> <p>・子育て電話相談（にこにこダイヤル柏）を設置し、専任の保健師・助産師が子育ての不安・悩みに応じ産後うつ等を含め必要な方には訪問指導を実施。</p> <p>▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆①酒害教室 年12回実施 ②アルコール家族教室 年12回実施 ③アルコール・デイケアクラブ 年34回実施 ④精神保健福祉相談、訪問指導を嘱託医、保健師、精神保健福祉士による相談、訪問を随時実施。</p> <p>▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆精神保健福祉相談、訪問指導を嘱託医、保健師、精神保健福祉士による相談、訪問を随時実施。</p> <p>▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆日本産業カウンセラー協会所属カウンセラーによる無料対面相談及び毎週月・金曜日の13時から18時に無料電話相談を実施。対面相談延157件、電話相談延310件。</p> <p>▲日本産業カウンセラー協会所属カウンセラーによる無料対面相談及び毎週月曜日の13時から18時に無料電話相談を実施予定。</p> <p>●未定</p>

政令市及び中核市の進捗状況 5

市	6(1)地域における相談体制の充実(住民に対する啓発・情報提供、地域における自殺対策の推進)	6(2)多重債務者への相談窓口の充実(消費者金融等に関する助言等ヤミ金融の警察への情報提供)	6(2)多重債務者への相談窓口の充実(県多重債務問題対策本部による周知・啓発、関係機関の連携、相談体制の強化、無料相談会)
千葉市	<p>◆①地域自殺対策緊急強化基金を活用し、自殺の防止や相談の連絡先等を記載した広告をフリーペーパーに掲載し、広く若年層市民に周知を図った。 【広告媒体】ホットペッパー3月号(千葉版) 【発行部数】約58,000部 ・自殺対策記事を掲載したステッカーを、公共施設のトイレに貼付した。 【貼付枚数】約1,200枚(3月に実施) ・自殺対策強化週間にあわせ、自殺対策・うつ病対策啓発ミュージカルを公演、市民の自殺対策意識の向上やうつ病に対する正しい理解を普及させた。 【開催日】平成26年9月14日(日) 【開催場所】千葉市美浜文化ホール ②地域自殺対策緊急強化基金を活用し自殺予防リーフレットを60,000部作成し、健診会場等にて配布した。 ▲①地域自殺対策強化交付金を活用し、自殺問題を提起するとともに相談窓口を掲載した啓発ノートを作成し、市内の大学に配布した。 ②26年度と同様に地域自殺対策強化交付金を活用し、実施する。 ●①地域自殺対策強化交付金を活用し、若年層対策を実施する。 ②自殺予防リーフレットを作成し、健診会場等にて配布する。</p>	<p>◆相談者に対し、警察への情報提供の必要性の助言に努めた。また、県警が主催する「悪質商法被害者支援研究会」において、情報の共有を図った。 ▲相談者に対し、警察への情報提供の必要性の助言に努める。また、県警が主催する「悪質商法被害者支援研究会」において、情報の共有を図る。 ●27年度と同様</p>	<p>◆①千葉市多重債務者支援庁内連絡会議を開催し、庁内関係各課との連携に努めた。 ②千葉県弁護士会と連携を図り、毎月第2・4木曜日の13時～16時まで、1日6組を上限として、無料で多重債務者特別相談を実施した。 ▲①千葉市多重債務者支援庁内連絡会議を開催して、庁内関係各課との連携に努める。 ②千葉県弁護士会と連携を図り、毎月第2・4木曜日の13時～16時まで、1日6組を上限として、無料で多重債務者特別相談を実施する。 ●27年度と同様</p>
船橋市	<p>◆①平成25年度に作成したマグネットシールやリーフレット等の広報媒体を活用して、継続して啓発を行う。 ②自殺予防週間、自殺対策強化月間に、広報紙と市ホームページにメッセージを掲載。 ③健康メモとして市広報紙に掲載「いつでも誰でもなりうる“うつ病”」を8月号、「ストレスと上手につき合う」を3月に掲載。 ④健康ぐっすりすっきり快眠講座」を8月と12月、「ストレスの上手な解消法」を9月に開催。 ▲①～③は26年度と同様。④健康講座「ぐっすりすっきり快眠講座」を年1回、「ストレスの上手な解消法」を年1回開催予定 ●継続予定</p>	<p>◆消費生活センターに借金・多重債務等の相談が寄せられた場合は、ヤミ金業者の対応方法、整理に向けたアドバイス、多重債務専門相談の紹介等を行っている。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆多重債務問題対策庁内連絡会を開催。 ①徴収部門及び福祉部門による担当課長会議及び研修会 ②救済に向けた庁内連絡及び情報共有 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>
柏市	<p>◆①民生委員、健康づくり推進員等に対してゲートキーパー養成研修を実施。②自殺対策強化月間に相談窓口啓発ティッシュを作成し、配布した。③自殺予防週間に地域新聞へ相談窓口の記事を掲載した。 ▲①ゲートキーパー養成研修を実施予定。②相談窓口啓発ティッシュを作成、配布予定。 ●未定</p>	<p>◆消費生活相談による助言・あっせん(多重債務相談専門機関への紹介も含む)。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆弁護士による多重債務無料相談会を毎月実施。うち2回は東葛多重債務問題対策フォーラム(東葛6市で構成)を実施。また、12月及び1月に庁内連絡会を開催して、多重債務者への支援体制を確立するため、徴収部門・相談部門等、庁内関係各課との連携に努めた。 ▲26年度と同様 ●未定</p>

政令市及び中核市の進捗状況 6

市	6(10)地域での連携体制の確立(自殺対策地区連絡会議を開催)	6(11)相談窓口の連携強化(相談窓口の充実等と、自殺対策連絡会議等の開催により情報共有や連携体制の強化)	7(2)家族等の身近な人の見守りに対する支援(警察、消防、保健所、医療機関、市町村等が連携し、家族や職場とともに自殺未遂者を支援)	7(3)地域での訪問事業の実施(保健師等の訪問)
千葉市	◆千葉市自殺対策連絡協議会を開催した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆千葉市自殺対策庁内連絡会議を開催し、現状の把握等の情報共有を行った。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆千葉県救急医療センター(三次救急)と連携をとり、センターに搬送された自殺未遂者で、病院内で対応が困難な方に対し、本人あるいは家族の同意があった場合、病院のリエゾンチームや地域連携室から情報提供してもらい、こころの健康センターで支援を実施できるようにした。 ▲支援方法について、消防・医療機関と検討中。 ●27年度検討により、実施する。	◆精神科医療機関からの訪問指導依頼に基づく訪問指導及び精神保健福祉相談事業の一環としての訪問指導を実施した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
船橋市	◆船橋市自殺対策連絡会議を8月に開催。 ▲年2回開催予定。 ●継続予定	◆①自殺対策庁内連絡会議を2月に開催し、各課の取り組みや資料等について情報の共有を図った。 ②自殺対策連絡会議を8月に開催し、各部署の取り組みや自殺に関わる資料について情報の共有を図った。 ▲26年度と同様 ●継続予定	◆船橋市立医療センター(3次救急)に搬送された自殺未遂者で、本人の同意が得られれば、病院から船橋市保健所に連絡を受け、関係機関と連携し支援する。3事例支援実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆精神保健福祉相談、訪問指導を実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
柏市	◆柏市自殺予防対策連絡会議(26団体)を2回実施。 ▲柏市自殺予防対策連絡会議(26団体)を実施予定。 ●27年度と同様	◆日本産業カウンセラー協会所属カウンセラーによる無料対面相談及び毎週月・金曜日13時から18時に無料電話相談を実施。関係団体と情報共有及び連携のための自殺予防対策連絡会議(26団体)を2回実施。 ▲日本産業カウンセラー協会所属カウンセラーによる無料対面相談及び無料電話相談、自殺予防対策連絡会議(26団体)を実施予定。 ●未定	◆柏市内の救急病院から、必要に応じて連絡相談があった場合に、関係機関と連携し支援を実施する。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆精神保健福祉相談、訪問指導を嘱託医、保健師、精神保健福祉士による相談、訪問を随時実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様

政令市及び中核市の進捗状況 7

市	7(4)うつ病当事者・家族の自助グループへの支援(うつ病当事者・家族の自助グループへの支援)	8(4)自死遺族支援(自死遺族の心の相談、支援講演会等を実施)	9(2)地域における連携体制の確立(連絡会議を設置するなど地域ネットワークの整備、民間団体と連携)
千葉市	<p>◆①自死遺族支援事業を実施する千葉いのちの電話へ補助金を交付した。</p> <p>②こころの健康センターでは、毎月、うつ病当事者の会を実施するとともに、8月から臨床心理士による集団認知行動療法を2クール(1クール10回)実施した。</p> <p>▲①自死遺族支援事業を実施する千葉いのちの電話へ補助金を交付予定。</p> <p>②こころの健康センターでは、毎月、うつ病当事者の会を実施するとともに、10月から臨床心理士による集団認知行動療法を1クール12回+フォローアップ2回を実施する。</p> <p>●②集団認知行動療法を2クール実施する。</p>	<p>◆通常の相談で対応した。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆千葉市自殺対策連絡協議会を開催し、民間団体との連携を図った。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>
船橋市	<p>◆精神疾患の正しい知識の普及を図るため家族教室を3回実施。112名の参加。</p> <p>▲未定</p> <p>●未定</p>	<p>◆通常の相談で対応</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆学識経験者、保健医療関係者、自殺対策に関わる活動団体の代表、産業労働関係者、福祉関係者、警察関係者、鉄道事業者及び市職員で構成される自殺対策連絡会議を8月に開催し、各部署の取り組みや自殺に関わる資料について情報の共有を図った。</p> <p>▲年2回開催予定</p> <p>●継続予定</p>
柏市	<p>◆未実施</p> <p>▲予定なし</p> <p>●予定なし</p>	<p>◆①奇数月第2日曜日午後1時半から3時半に、千葉いのちの電話相談員による自死遺族支援「わかちあいの会ひだまり」を実施。②平成26年6月24日(火)に自死遺族支援公開講演会を実施。講師は下園壮太氏。参加者102名。</p> <p>▲①26年度と同様 ②平成27年8月24日(月)に自死遺族支援公開講演会を実施予定。講師は柳田邦夫氏。</p> <p>●奇数月第2日曜日に、千葉いのちの電話相談員による自死遺族支援「わかちあいの会ひだまり」を実施予定。</p>	<p>◆自殺予防対策連絡会議(26団体)を2回実施。千葉いのちの電話、日本産業カウンセラー協会と委託契約を結び、連携して自殺予防対策にあたった。</p> <p>▲自殺予防対策連絡会議(26団体)を実施予定。</p> <p>●未定</p>

市町村の進捗状況 1 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	※計画の項目により整理したものであり、記載以外の事業を実施している市町村もある。再掲は除く	26年度実績 ▲27年度計画 ●28年度の予定
1	鎌子市	<p>◆【健康づくり】地域連絡会議において、自殺に関する相談支援の現状を共有し対策を検討した。</p> <p>▲自殺に関するケースの支援を充実させるため、実務者による検討の場を計画する。</p> <p>●自殺に関するケースの支援を充実させるため、実務者による検討を実施する。</p>	<p>◆【健康づくり】「困った時の相談窓口」改訂版A4判増刷配布</p> <p>▲鎌子市独自のパンフレット「困った時の相談窓口」に関する問題、一人で悩まず相談を～を増刷し、配布する。</p> <p>●27年度と同様</p>
2	市川市	<p>◆【健康支援課】市川市における自殺等実態調査報告の作成。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆【健康支援課】相談窓口利用のためのパンフレット配布 (対象者：転入手続き時、消防署による救命講習時、地域等から依頼のあった健康教育時に配布、庁内各所、公共施設、医療機関、薬局、警察、派出所等設置)</p> <p>▲相談窓口利用のためのパンフレット配布 (対象者：転入手続き時に配布)</p> <p>▲相談窓口紹介のためのパンフレット配布 (対象者：転入手続き時、市内の小学校5年生全員に配布)</p>
3	館山市	<p>◆実施していない</p> <p>▲「自殺予防対策庁内連絡会議」において、情報収集と現状把握を行い、効果的な自殺予防対策について検討を行う。</p> <p>●平成27年度と同様</p>	<p>◆啓発用の「カード」1,800枚・「ポケット」1,000個・「救急絆創膏」1,000個・パンフレット1,000部を複製し、3月の「自殺対策強化月間」に配布した。</p> <p>▲予定なし</p> <p>●予定なし</p>
4	木更津市	<p>◆木更津市における自殺の統計をまとめ、このころの健康づくり推進部会で報告する。</p> <p>▲木更津市における自殺の統計をまとめ、このころの健康づくり推進部会で報告、原因について分析し、予防活動へつなげる。</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆24年度に作成した自殺予防、各相談窓口機関一覧リーフレットを更新。このころの健康(自殺予防対策)相談窓口対応・連携マニュアルの作成</p> <p>▲ホームページの見直し及び更新。相談窓口一覧やSNSツーカーの新規配布場所を開拓する。</p> <p>●27年度と同様</p>
5	松戸市	<p>◆地域の状況把握と対策検討</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆講演会、アンケートによる啓発用ちらしの作成・配布2,000部(関係機関に配布)。</p> <p>▲講演会、研修会でのパンフレット配布、ポスターの作成・掲示</p> <p>●未定</p>
6	野田市	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●未定</p>	<p>◆【保健センター】「自殺予防啓発」ポスター等の掲示(ポスター・フレット等の設置(保健センター・関係保健センター))。</p> <p>▲平成26年度と同様</p> <p>●未定</p>
7	茂原市	<p>◆(健康管理課)「便覧統計より自殺者数を把握。引き続き便覧統計により自殺者数を把握する。</p> <p>●自殺者数の把握と共に、地域における対策を検討する。</p> <p>▲実施していない。</p> <p>▲各種統計資料(国・県)などより本市の現状を把握する。</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆(健康管理課)県等からのパンフレットを公共機関等に配布し、窓口設置することで啓発に努めた。</p> <p>▲県等からの啓発冊子やパンフレットを公共機関等に配布し窓口設置する。</p> <p>●27年度と同様</p>
8	成田市	<p>◆ゲートキーパー養成研修や市民カレッジにおいて、佐倉市の自殺の現状を提示した。</p> <p>▲自殺対策庁内連絡会議、ゲートキーパー養成研修、市民カレッジにおいて、市の自殺の現状を提示する。</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆啓発「パンフレット」をこのころの健康相談、市民カレッジ・ボランティア講習会、ゲートキーパー養成研修にて配布</p> <p>▲28年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>
9	佐倉市	<p>◆「保健センター」講演会「元氣の出る心理学」～対人ストレスの乗り越え方～ 臨床心理士品川博二(平成27年3月3日実施。(86人参加))</p> <p>▲心の健康づくり講演会を予定(4/28,3,10) 未定</p> <p>◆(健康管理課)講演会は実施なし。県主催等のフォーラムや講演会の参加案内を実施。▲県主催等のフォーラムや講演会の参加案内のPRを実施する。</p> <p>●27年度と同様</p> <p>◆メンタルヘルスマタタリヘルス講演会(仲間)のちからと地域のちから 講師：多摩徳綱亭協会 櫻井博氏 参加者：58名 (ヘルス) 笑医の集い(ヘルス) 笑医の集い市民大会 成田市笑医フォーラム(4/27年2月予定)。(福祉)講演会(ほか27年度と同様)</p> <p>◆市民カレッジメンタルヘルス講習会(9月26日実施)受講者88名 講師：保健師</p> <p>▲①市民カレッジメンタルヘルス講習会(9月29日実施予定)講師：保健師 ②「市民向け」このころの講演会」予定</p> <p>●市民カレッジメンタルヘルス講習会予定 講師：保健師</p>	<p>◆【保健センター】講演会「元氣の出る心理学」～対人ストレスの乗り越え方～ 臨床心理士品川博二(平成27年3月3日実施。(86人参加))</p> <p>▲心の健康づくり講演会を予定(4/28,3,10) 未定</p> <p>◆(健康管理課)講演会は実施なし。県主催等のフォーラムや講演会の参加案内を実施。▲県主催等のフォーラムや講演会の参加案内のPRを実施する。</p> <p>●27年度と同様</p> <p>◆メンタルヘルスマタタリヘルス講演会(仲間)のちからと地域のちから 講師：多摩徳綱亭協会 櫻井博氏 参加者：58名 (ヘルス) 笑医の集い(ヘルス) 笑医の集い市民大会 成田市笑医フォーラム(4/27年2月予定)。(福祉)講演会(ほか27年度と同様)</p> <p>◆市民カレッジメンタルヘルス講習会(9月26日実施)受講者88名 講師：保健師</p> <p>▲①市民カレッジメンタルヘルス講習会(9月29日実施予定)講師：保健師 ②「市民向け」このころの講演会」予定</p> <p>●市民カレッジメンタルヘルス講習会予定 講師：保健師</p>

市町村の進捗状況 1 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	※計画の項目により整理したものであり、記載以外の事業を実施している市町村もある。再掲は除く	◆26年度実績 ▲27年度計画 ●28年度の予定 (県民対象のフナーラムや講演会等の実施)
10	東金市	◆疫疾統計から自殺による死亡者数の把握(東金市健康づくり推進協議会で報告及び検討)。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆13月自殺対策強化月間開催を掲載。②心の健康づくり講演会時に、啓発物(リーフレットなど)を113人配布。③とろかね健康プラザ21(第2次)のこころの健康に合わせた健康教育を実施。 ▲26年度同様①、③を実施。ゲートキーパー養成講習会実施時、啓発物を配布。 ●①、③を継続して実施
11	旭市	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆国・県からのポスターの掲示、パンフレット等の配布。 ▲25年度と同様 ●26年度と同様
12	習志野市	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆自殺予防啓発用パンフレットとキヤリーフアイルと冊子を作成し、各ヘルスステーション等窓口で配布した。 ▲リーフレット等の啓発用品を成人式において配布予定。 ●未定
13	勝浦市	◆死亡台帳を基に性別・年齢・原因等分析した。 ▲死に台帳を基に分析する。 ●継続予定	◆【保健センター】①ストレス対処方法の紹介や相談窓口の案内を実施(各種健康講座、健康相談、健康まつり、まちの保健室でのリーフレット配布)。②図鑑配布ロビーにて、関係書籍展示、リーフレット配布。③中高生向けの相談窓口のリーフレット作成。設置 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
14	市原市	◆【保健センター】各種統計資料等により本市の現状を把握する。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆【保健センター】①「いちばら市民大学 健康づくりコース」にて、一般市民を対象に心の健康づくりのための講座を1回開催した。参加者数:延べ25名 ②「陣がい」者支援課「1精神疾患勉強会」精神障害者を理解し、早めの治療につなげられるよう勉強会を一般市民を対象に、県内の精神科医に講師を依頼して2回開催した。参加者数:延べ95名。 ●①を②回開催 ②26年度と同様 ●①、②を②7年度と同様
15	流山市	◆松戸健康福祉センター主催による自殺対策連絡会議を通じて示された県内における自殺者数の現状についての報告により実態を把握することができた。担当課において実態を分析し対策を検討する。 ▲26年度と同様 ●継続予定	◆①啓発者支援講座で、精神障害者を対象に作成した冊子「こころの健康のしおり」を配布し、相談機関や精神科医療機関、福祉サービス等の案内や情報提供を行った。②自殺対策として、いのちの電話や県及び市内の相談機関、福祉施設等の連絡先を掲載した「心のバリアフリーマップ」を配布した。③市が月2～3回市民を対象に実施している精神科医による「こころの相談」をより周知するため、パンフレットを作成し配布した。④統合失調症やうつ病等の精神科疾患によるひきこもりも含め、ひきこもり対策として厚生労働省で発行している「ひきこもりかな?」といったパンフレットと同様、相談できる窓口を周知できるパンフレットや冊子を配布する。 ●継続予定
16	八千代市	◆人口動態統計(厚労省)、千葉県における自殺統計等を参照して状況把握と対策を検討した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆千葉県地域自殺対策緊急強化基金事業(人材養成事業:民生・児童委員、市役所職員、関連する機関の職員、市民から相談を受けられる職員を対象とした「悩みを抱える人へ寄り添う～あなたが大切なひとにできること～」をテーマとした講演会を実施した。 ▲千葉県地域自殺対策強化事業。若年層(20～39歳)に焦点を当て、八千代市内の小学校、中学校、高等学校(通信制含む)の保護者と教員、若年層と関わりある市役所職員、青年会議所会員に応募を募る。応募人数の状況により市内大学生と大学教員も対象とする ●未定
17	我孫子市	◆国・警察・県公表の統計データから、我孫子市の自殺者に関する資料を作成し、自殺対策協議会と自殺対策庁内連絡会議で報告し、自殺予防対策の検討材料とした。 ▲国・警察・県公表の統計データから、我孫子市の自殺者に関する資料を作成し、傾向等の分析に努める。 ●継続予定	◆2月26-27日のこころの健康講座で「ひきこもり」について「精神疾患について」と題する講演会を開催した。テーマとした講演会を企画し、市民の精神障害に対する啓発に努める。 ●未定

市町村の進捗状況 1 (政令市及び中核市を除く)

※計画の項目により整理したものであり、記載以外の事業を実施している市町村もある。再掲は除く	26年度実績 ▲27年度計画 ●28年度の予定
<p>※計画の項目により整理したものであり、記載以外の事業を実施している市町村もある。再掲は除く</p> <p>1(4)地域における自殺の現状分析 (地域)の状況把握と対策検討)</p>	<p>2(1)①フォーラムや講演会等の実施 (県民対象のフォーラムや講演会)</p> <p>2(1)②フォーラムや講演会等の実施 (県民対象の啓発冊子やパンフレット)</p>
<p>18 鴨川市</p> <p>◆特定健康診査や基本手エッセイメントにおける心の健康に関する質問項目を兼計するとともに、県から提供された状況に関する統計資料等により地域の状況を把握するとともに、うつ病及び自殺予防等に関する知識の普及と早期対応のための環境づくりを検討した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆H26年11月9日、安房管内の健康福祉センター・市町村、精神科等との連携により地域住民に対する心の健康づくり及び精神障害に対する正しい知識の普及啓発を目的として「安房地域心の健康のつどい」を開催。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p> <p>◆国・県等が作成した自殺対策用パンフレット等を公共施設に配架するとともに、3月の自殺対策月間に合わせて広報誌に自殺予防に関する記事掲載し周知啓発を図った。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>
<p>19 鎌ヶ谷市</p> <p>◆自殺者数を把握し、自殺対策連絡会議の開催について検討した。内閣府のDVDを視聴し、関わり方を共有した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p> <p>◆自殺対策推進協議会を開催するとともに、必要時に関係機関職員参加を要請し市内自殺者の現状分析と対策について検討する。</p>	<p>◆自殺予防啓発用クリアファイル、缶バッチを福祉健康フェアや健康教育時に配布し、市民に教育啓発した。 ▲26年度と同様 ●総統予定</p>
<p>20 君津市</p> <p>◆実施していない ▲予定なし ●未定</p>	<p>◆窓口で配布 ▲26年度と同様 ●未定</p>
<p>21 富津市</p> <p>◆自殺者数(年代別、性別を含み)を把握し、富津市自殺対策推進協議会で対策を検討した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆窓口で配布 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>
<p>22 浦安市</p> <p>◆内閣府の統計資料と市の自殺者数について、いのちとこころの支援対策協議会で報告。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>	<p>◆相談機関一覧の作成・配布を行う。 ②DV相談支援カードの作成・配布を行う。 ③精神疾患関連の啓発冊子を通年で窓口設置する。 ▲①、③を26年度と同様に実施 ▲②、④を27年度と同様に実施</p>
<p>23 四街道市</p> <p>◆内閣府の統計資料と市の死亡簿からまとめた統計資料をもとに比較分析後グラフにし、市の現状と特性をまとめた。 ▲26年度と同様 ●26年度と同様</p>	<p>◆保健所の地域職域研修作業部会で作成した「印旛地区メンタルヘルスを中心とした相談窓口一覧(相談者用)」を保健センター窓口及び関係機関窓口で配布。②日本カウンセリング協会のリフレットを窓口で配布。③ホームページ、市政だよりに記載を掲載。(年1回更新)④ホームページで市政だより「こころの健康」をシリーズで4回掲載。⑤市保健センター内に冊子などを置き、健診来所者などに自由に持ち帰ってもらう。 ▲26年度と同様 ●26年度と同様</p>
<p>24 袖ヶ浦市</p> <p>◆実施していない ▲予定なし ●未定</p> <p>◆実施していない ▲予定なし ●未定</p>	<p>◆検診会場・保健センター、窓口等に啓発冊子やパンフレットを置き啓発した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様</p>
<p>25 八街市</p> <p>◆実施していない ▲予定なし ●未定</p>	<p>◆市内中学生及び養護教諭を対象に心の健康に関する講演会の実施。 ▲予定なし ●未定</p> <p>◆保健所のメンタルヘルス研修で、地方公務員安全衛生推進協会発行のメンタルヘルスに関する冊子を配布。②相談対応について理解を深めるため、市の管理職員向けに県発行の冊子「メンタルヘルス問題」への対応し身体問題と自殺予防を回覧。③「平成26年度家庭教育支援のまとめ」1250部印刷製本、市立幼稚園3園、小・中学校12校の各家庭教育学級事業を一冊にまとめ、家庭教育支援のより発展的な向上を目指すための資料を作成。④八街市家庭教育支援リーフレット12,100部印刷製本、家庭教育支援のため、入学説明会及び保護者会において説明を添えて保護者に交付。⑤「八街市家庭教育だより」12,000部印刷製本、家庭教育支援のため、学期毎に市内の幼稚園、保育園、小中学校の保護者に配布。児童生徒の現代的な健康課題に対応するための体制づくりの推進を目的として、心の健康に関するパンフレットの窓口で配布。 ▲管理職員向けに自殺対策「うつ」に関する手引きを回覧予定。②市民を対象に困難を抱えた子ども、若者を支援するための啓発文を作成、配布。③、④、⑤26年度と同様。 ⑥総合保健福祉センターで3月にメンタルヘルスに係る講演を実施予定。 ●①、②、⑤未定 ③、④、⑤27年度と同様。</p>

市町村の進捗状況 1 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	※計画の項目により整理したものであり、記載以外の事業を実施している市町村もある。再掲は除く	◆26年度実績 ▲27年度計画	◆28年度の予定
		※計画の項目により整理したものであり、記載以外の事業を実施している市町村もある。再掲は除く	◆26年度実績 ▲27年度計画	◆28年度の予定
26	印西市	◆県や消防の統計から状況を把握し、市民講座で周知した。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様	◆①メンタルサポーター養成講座 精神障害者や発達障害への地域における支援者の育成。(全5回 参加延べ人数306人)。②心の健康市民講座 市民が自殺の現状を知り、精神疾患などについて理解を深めることにより、自殺予防を図る。(全1回 参加延べ人数36人)。③心の整理術 主に発達障害による社会不適応の予防を図るため、SST指導の実施。(全3回 参加延べ人数43人)。▲①メンタルサポーター心の整理術(全3回) ▲27年度と同様	◆メンタルヘルスケアプログラムの増刷・配布 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様
27	白井市	◆人数と人口動態資料及び健康福祉センターからの資料により状況を把握している ▲26年度と同様 ▲27年度と同様	◆NPOと共催で「こころのフォーラム」を1回開催した。 ▲26年度と同様(2月頃に実施の予定) ▲27年度と同様	◆①県や健康福祉センターで作成した冊子などを健診や講演会などの事業で配布した。②市保健福祉センター内に冊子などを置き、来所者に持ち帰ってもらった。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様
28	高里市	◆人口動態統計、千葉県における自殺統計等を参照し、状況把握に努めた。 ▲H26年度と同様 ▲H27年度と同様	◆実施していない。 ▲予定なし ▲未定	◆関係窓口、市福祉祭り、講演会、研修会の開催に際し啓発物資(パンフレット、ポスターやブックレット、オリジナルタオル等)を配付し、周知を図った。 ▲H26年度と同様 ▲未定
29	南房総市	◆人口動態による数の把握、安房健康福祉センターからの資料による状況把握 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様	◆26年11月9日、安房管内の健康福祉センター・市町村・精神科等との共催により地域住民に対する心の健康づくり及び精神障害に対する正しい知識の普及啓発を目的として「安房地域心の健康のつどい」を開催した。講演及びイベント(展示販売、心の健康チェック、アルコール判定等)を行い、499人が参加。 ▲26年度と同様(10月12日実施) ▲27年度と同様	◆「県」等が作成した自殺対策用ブックレット等を公共施設に配架するとともに、3月の自殺対策月間に合わせて広報誌に自殺予防に関する記事を掲載し、周知啓発を図った ▲26年度と同様 ▲27年度と同様
30	匝瑳市	◆市内の関係機関において自殺者数などの情報共有を行い事業検討。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様	◆26年度と同様 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様	◆各種イベント、成人式、乳幼児健診、窓口等にて啓発冊子、パンフレット等を配布。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様
31	香取市	◆実施していない ▲予定なし ▲未定	◆実施していない ▲予定なし ▲未定	◆自殺予防週間広報用ポスター掲示 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様
32	山武市	◆県や警察の統計を引用。閲覧し、最新の毎月市民課で死亡小黒キーパーの自殺状況を確認する。 ▲27年度と同様	◆心の健康づくり市民研修会を実施。出張健康教室では睡眠についての講話を実施。▲市民を対象に心の健康づくり研修会を実施。 ▲27年度と同様	◆心の健康づくり研修会・健康福祉まつり・健康増進講演会等で、啓発用ポスターやブックレット、キーパーブックレット、エコバッグ、ブックレットなどを配布。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様
33	いすみ市	◆県や全国の自殺統計などから、自殺の現状を確認。 ▲自殺に関する、最新の統計や情報を収集し、いすみ市の状況を把握した上で、住民へ予防の啓蒙普及を図る。 ▲27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ▲未定	◆①5～6月の特定健診で「メンタル障害」うつ病1のリスクチェックを、女性のがん検診や胃・大腸がん検診など、受診者へ年作りブックレットを配布し、待ち時間に衛生教育を行う。②カラーブックレットのちを守らう一人ひとりの手で、を作成し全戸配布した。▲パンフレットを各(健)診会場で配布 ▲27年度と同様
34	大網白里市	◆内閣府や県の統計から本市周辺の自殺の現状を把握し、グートキーパー養成のための講演会を活用した。た上で、普及啓発事業として講演会を実施予定 ▲27年度を受けて検討	◆普及啓発事業人材養成事業としてグートキーパー養成のための講演会を実施予定している。 ▲27年度と同様に実施予定	◆県からの自殺予防週間等の啓発ポスターを貼付。冊子やブックレットの配布・設置。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様
35	酒々井町	◆実施していない ▲予定なし ▲必要に応じて実施	◆人権教育セミナーと合同で、町民・健康推進員・町職員を対象とした講演会を開催。演題「あなたが大切な人になれる5つのこと」うつ蔓延社会をうつ円満社会へ!」講師:うつ専門カウンセラー 澤登和夫氏 参加者数:119名 ▲予定なし ▲予定なし	◆自殺予防の標語が添付されている啓発用品を町内小学6年生及び講演会参加者に配布。 ▲予定なし ①グートキーパーを周知するためのリーフレットを町民に回覧し、ふるさとまつりで配布したほか、保健センターや公民館等の窓口に設置。②自殺予防の知識を周知するためのリーフレットを成人式で配布。
36	栄町	◆町内における自死状況の把握に努める。県民の状況と照合し、対策を検討する。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様	◆正しい知識の普及を目的として一般住民を対象とした心の健康づくり講演会を開催し15名が参加した。 ▲上記目的のため、メンタルヘルスや心の健康づくりに関する講演会を開催予定。 ▲27年度と同様	◆普及啓発用の冊子やブックレットを配布し、ポスター掲示を行った。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様

市町村の進捗状況 1 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	※計画の項目により整理したものであり、記載以外の事業を実施している市町村もある。再掲は除く	◆26年度実績 ▲27年度計画 ●28年度の予定
		1(4)地域における自殺の現状分析 (地域の状況把握と対策検討)	2(1)①フォーラムや講演会等の実施 (県民対象のフォーラムや講演会)
37	神崎町	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆県から配布されたパンフレットを保健福祉課の窓口へ設置 ▲H26年度と同様 ●予定なし
38	多古町	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆県パンフレットを、民生委員児童委員の会議で配布。また、保健福祉課窓口へ設置した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
39	東庄町	◆死亡統計等の分析 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆各種保健衛生事業等の来所者、ふれあいまつり、献血事業実施時にパンフレット及び啓発物資の配布。 ▲成人式でのパンフレットの配布。 ●27年度と同様
40	九十九里町	◆統計資料による死亡数の把握 ▲26年度と同様 ●未定	◆県からの資料を使用 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
41	芝山町	◆実施していない ▲検討する ●検討する	◆県作成のポスターやパンフレットを庁舎内に配置。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
42	横芝光町	◆山武保健所管内・町死亡統計による死亡数の把握。 ▲26年度事業のほか、県統計資料及び警察の資料からの数値の把握 ●27年度と同様	◆健康まつり・食生活改善協議会総会・保健推進員研修等でパンフレット・リーフレットの配布・説明。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
43	一宮町	◆必要時対応している ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆このころの健康に関する啓発用パンフレットを2,800部作成し全戸配布。 ▲啓発用パンフレットを作成し全戸配布。 ●27年度と同様
44	睦沢町	◆県統計資料及び警察の資料より数値のみ把握。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆自殺予防に関する正しい知識の普及を図るため、講演会開催時に自殺予防啓発グッズを配布。 ▲予定なし ●自殺予防啓発物資を配布予定。
45	長生村	◆各種統計資料から状況を把握する。 長生健康福祉センター主催による自殺対策担当者会議にて現状を把握した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆県からの資料や不眠(うつ病)や各種相談機関に関するポスター及びリーフレットを配布。 ▲26年度と同様 ●未定
46	白子町	◆町内死亡統計資料から、状況を把握。 ▲26年度と同様 ●未定	◆県からの文書や自殺対策の配布物・ポスター等の掲示。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
47	長柄町	◆地域の状況把握を実施 ▲引き継ぎ状況の把握に努め、県内の状況と照合する。 ●状況の把握に応じて対策を検討	◆県作成の自殺対策のポスターなどの掲示や窓口へパンフレットを置き周知した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
48	長南町	◆年間の状況把握を実施 ▲5年間の自殺者数の動向をまとめ、県・国の状況と比較する。 ●年間の状況把握を実施	◆県からの文書や自殺対策の配布物・ポスター等を掲示した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
49	大多喜町	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆窓口等で啓発リーフレットを配布。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
50	御宿町	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆公共窓口で自由交付 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
51	鋸南町	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	

市町村の進捗状況 2 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	(3)2) 地域保健スタッフや産業保健スタッフの資質の向上(保健所・市町村、医療機関等の相談支援に当たるスタッフを対象に研修)	(3)3) 地域保健スタッフや産業保健スタッフの資質の向上(保健所・市町村、医療機関等の相談支援に当たるスタッフを対象に研修)	(3)4) 民生委員・児童委員等への研修の実施(民生委員・児童委員等への研修の実施)
1	鎌子市	<p>◆【学校教育課】市内小中学校、県市立高等学校、県立特別支援学校の生徒指導主事又は生徒指導担当25名を対象に、自殺予防のための校内体制について研修を実施した。また、緊急対応等の在り方についても触れた。</p> <p>◆【市内小中学校、県市立高等学校、県立特別支援学校の生徒指導主事又は生徒指導担当25名を対象に、自殺予防のための校内体制、子供の自殺が起きたときの背景調査の在り方について研修を実施する。主事又は生徒指導担当を対象に引き続き研修会を実施し、自殺の予防に向けた活動の充実にも努める。</p>	<p>◆【障害福祉課】実施に参加していない。</p> <p>▲事例検討会や相談支援研修に参加する。</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆【障害福祉課】26年度と同様【健康づくり課】介護職、ケアマネジャー、傾聴ボランティアを対象に開催予定。</p> <p>◆【障害福祉課】今後検討する。【健康づくり課】26年度と同様(対象者は検討する)。</p>
2	市川市	<p>◆【教育センター】公立小・中学校教育相談担当者を対象に「命の大切さを考える研修会」を実施。(講師 さくら教育研究所 小澤美代子氏 参加159名)</p> <p>●若年層職員を対象に「教職員メンタルヘルス研修会」を実施予定。(講師 第一中学校長 中村敬弥氏)</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆【健康支援課】第2回市川市自殺対策関係機関連絡会と第2回市川市自殺対策庁内推進担当者連絡会を合同で開催し、事例検討会を実施。関係機関8機関と庁内9課の計28人出席</p> <p>●予定なし</p> <p>▲予定なし</p>	<p>◆【健康支援課】①民生委員向け研修テーマ「現代のうつ」講話～うつ病の理解から寄り添える対応まで～ 講師、小山文彦(東京労災病院 勤務者メンタルヘルスセンター長、而立支援部長) 73人②民生委員児童委員地区協議会(毎月1回開催)にて、「こころの健康」に関する健康教育の実施(年1回)。</p> <p>▲①民生委員会(年1回)、副会長向け研修テーマ「これぞアナタも悩まない!実践で学ぶ!聴き方、つなぎ方」上達講座 講師、綿重順康(国立国際医療センター 精神科医師) 41人②民生委員児童委員地区協議会(毎月1回開催)にて、「こころの健康」に関する健康教育の実施(年1回)。</p> <p>●27年度と同様</p>
3	館山市	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p>
4	木更津市	<p>◆【学校教育課】①市内小中学校のうち19校に「心の教室相談員」を配置し、児童生徒のみならず、教職員のメンタルヘルスの向上を意図した相談活動にあたる。②相談員の研修会において、「子どもに伝えたい自殺予防」(文部科学省)を使用した研修を実施。③市内全小中学校生徒指導担当32名を対象に、自殺予防を含めた生徒指導及び緊急対応についての研修を実施。④市内全小中学校長を招集した校長会において、自殺予防を含めた緊急対応及び教職員のメンタルヘルスの継続的な確認を要請。</p> <p>●26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆専門職向けメンタルケア研修を保健師等対象に1回実施。40名参加。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●未定</p>	<p>◆「キーパー」養成研修を、民生委員・児童委員にも周知し、一般市民向けに1回実施し105人参加。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●未定</p>
5	松戸市	<p>◆【指導課】いじめ問題対応マニュアルに子ども自殺予防に関する注意点を掲載、小中学校に設置</p> <p>▲校長会教頭会にて文科省「教師が知っておきたい子ども自殺予防」等の資料について周知する</p> <p>●未定</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲未定</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲未定</p>
6	野田市	<p>◆【学校教育課】①新任管理職を県の研修会に派遣し、教職員のメンタルヘルスに対する意識高揚を図った。②いじめ、体罰、自殺に関するアンケートを実施し、実態把握と発生防止に努めた。③問題行動、対策連絡会議を行うい、生徒指導主任、長久対策担当、教育相談担当者による情報交換と研修の機会を設けた。④校長、教頭を対象にいじめ、体罰、自殺に対する危機管理研修を実施した。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆【健康管理課、職員課、障害福祉課】県等の研修会に積極的に参加した。【社会福祉課】「健康管理課、職員課、障害福祉課」26年度と同様。</p> <p>【社会福祉課】千葉県、県民生委員児童委員協議会等で研修会等が開催されることになった場合、積極的に参加を呼びかける。</p> <p>●全課27年度と同様</p>	<p>◆【健康管理課】実施していない</p> <p>▲このころのサインに気づいたら～ゲートキーパー研修を出前講座として実施。</p> <p>●未定</p>
7	茂原市	<p>◆実施していない</p> <p>▲実施していない</p> <p>●未定</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲実施していない</p> <p>●未定</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲実施していない</p> <p>●未定</p>
8	成田市	<p>◆実施していない</p> <p>▲実施していない</p> <p>●未定</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲実施していない</p> <p>●未定</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲実施していない</p> <p>●未定</p>

市町村の進捗状況 2 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	(3(2))教職員等に対する普及啓発等の実施 (各地区での研修会で理解を促し教育支援)	(3(3))地域保健センターや産業保健センターの資 質の向上(保健所、市町村、医療機関等の 相談支援に当たるスタッフを対象に研修)	(3(4))民生委員・児童委員等への研修の 実施(民生委員・児童委員等への研修の 実施)
9	佐倉市	<ul style="list-style-type: none"> ◆市立各中学校及び市立小学校1校には県のスクールカウンセラー、市立小学校7校には市の心の教育相談員が配置され、子どもだけでなく、保護者や教職員の面接相談を実施。 ②適応指導教室(志津教室・佐倉教室)や佐倉市教育センターの学校教育相談員が子どもを介してなく、保護者や教職員の電話・面接相談を実施。 ①市立各中学校及び市立小学校1校に県のスクールカウンセラー、市立小学校8校には市の心の教育相談員が配置され、子どもだけでなく、保護者や教職員の面接相談を実施。 ②は26年度と同様。養護教諭向けに人材養成研修「ゲートキーパー養成研修」実施予定。 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆人材養成研修「ゲートキーパー養成研修」実施。講師：精神科医 森川すいめい氏 対象：市役所職員(参加43名)、ケアワン・センター(参加28名) ▲人材養成研修「ゲートキーパー養成研修」実施予定。対象：市役所職員 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆27年2月6日 市民向けに、知っておきたい「うつ」のことをテーマに、こころの健康づくり講演会を実施。その際、母子保健推進員や食生活改善推進員に対して案内。 ▲予定なし ●未定
10	東金市	<ul style="list-style-type: none"> ▲実施していない ▲必要に応じ実施する ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆山武健康福祉センター開催の研修会に参加 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定
11	旭市	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲研修会の開催状況により参加する ●26年度と同様 ●27年度と同様
12	習志野市	<ul style="list-style-type: none"> ◆生徒指導主任会議及び長久対策主任会議において、講演会を開催。 ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆うつ専門カウンセラーによる講演会を開催した。 ▲予定なし ●未定
13	勝浦市	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲必要に応じ実施する ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆市職員に対し、管理職と一般職員に分けて、メンタルヘルス研修会を実施。 ▲未定 ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定
14	市原市	<ul style="list-style-type: none"> ◆【学校教育課】主に県内公立学校新任管理職を対象に、メンタルヘルスについての正しい知識及び対応の仕方や予防・早期発見等についての研修を各地区年1回実施している。平成26年度、市原市からは18名が参加した。 ▲26年度と同様。市原市からは222名の新任管理職が参加予定。 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆【保健福祉課】実施していない ▲予定なし ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆民生委員・児童委員協議会定例会において、市原健康福祉センター職員による研修の中で実施を予定。
15	流山市	<ul style="list-style-type: none"> ◆【市学校教育部】指導課が教職員を対象にした、生命の尊重、道徳教育の充実についての大切にする教育研修会を実施。②教育コンサルテーション(医師の診断的立場からの相談)において、精神科医による保護者、教職員へのアビバースを実施。 ▲26年度と同様 ●継続予定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆内閣府作成の「こころのサインにきこうたら〜ゲートキーパー養成研修用DVD〜」を配布した。 ▲市独自によるスタンプ研修は予定していない。国や県で実施される研修等に参加する。 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆内閣府作成の「こころのサインにきこうたら〜ゲートキーパー養成研修用DVD〜」を配布した。 ▲未定 ▲民生委員・児童委員は地域のゲートキーパー的役割を担っていただけの資源と考え、研修の機会があった場合、積極的に「アプアプ」する。
16	八千代市	<ul style="list-style-type: none"> ◆千葉県地域自殺対策緊急強化基金事業(人材養成事業)として、講演会を開催した。 ▲地域自殺対策強化事業として、講演会を開催する予定。 ●27年度を踏まえて検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◆千葉県地域自殺対策緊急強化基金事業(人材養成事業)として、講演会を開催した。 ▲地域自殺対策強化事業として、講演会を開催する予定。 ●27年度を踏まえて検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◆千葉県地域自殺対策緊急強化基金事業(人材養成事業)として、講演会を開催した。 ▲地域自殺対策強化事業として、講演会を開催する予定。 ●27年度を踏まえて検討
17	我孫子市	<ul style="list-style-type: none"> ◆生徒指導主任を対象に、いじめ防止研修会を開催し、子どもに対するメンタルヘルスを教育活動内で随時行うよう指導した。開催日：26年6月3日(火) テーマ：いじめへの早期対応。学校いじめ防止基本方針策定において記載すべき内容 受講者19人 ▲11月と2月に生徒指導主任対象に、生徒主任研修会を開催する予定。インターネットやメール、SNSの間の部分に光を当て、いじめの事前防止や早期発見方法と対応について、教職員のスキルアップを図り、いじめを許さない学校体制作りを支援する。 ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆内閣府作成の「こころのサインにきこうたら〜ゲートキーパー養成研修用DVD〜」を配布した。 ▲市役所窓口担当職員対象に、自殺対策研修を実施した。開催日：26年10月16日 テーマ：認知療法、認知行動療法 初級編 受講者：29人 ▲10月に障害、健康、生活保護等相談担当職員と教育委員会等の職員対象に対するゲートキーパー研修を実施する予定 ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆傾聴ボランティア対象ゲートキーパー研修を実施した。開催日：26年9月30日 テーマ：ゲートキーパー研修・受講者：30人 ▲27年6月4日に人権擁護委員会向けのゲートキーパー研修を実施した。 ●未定
18	鴨川市	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ▲検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ▲検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ▲検討する
19	鎌ヶ谷市	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自殺予防人材育成講習会及び自殺予防講演会への参加を呼びかけた。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
20	君津市	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆民生委員・児童委員の定例会で自殺予防についての健康教育を実施した。 ●未定

市町村の進捗状況 2 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	3(2)教職員等に対する普及啓発等の実施 (各地区での研修会で理解を促し教育支援)	3(3)地域保健スタッフや産業保健スタッフの資 質の向上(保健所、市町村、医療機関等の 相談支援に当たるスタッフを対象に研修)	3(4)民生委員・児童委員等への研修の 実施(民生委員・児童委員等への研修の 実施)
21	富津市	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定
22	浦安市	◆校長会議や生徒指導主任会議等でもいじめ問題や自殺等に関する学校の対応策や学校以外の相談機関の周知を図った。 ▲予定なし ●未定	◆職員を対象としてゲートキーパー養成講座 ②いものちどころの研修会 ③DV対策推進のための職員研修会 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆いものちどころの研修会への積極的参加を促す。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
23	四街道市	◆市役所職員、教育委員会及び関係機関職員の情報共有と連携強化の目的で「四街道市自殺対策連絡会議」を年3回実施 ②自殺対策連絡会議のメンバー及び福祉相談員、教職員等を対象に資質向上や燃え尽き防止の研修(年2回)。第1回「睡眠とメンタルヘルス」(講師:国立精神・神経医療研究センター病院 医師) 第2回「思春期の危機と自殺対策」(講師:千葉大学教育学部 医師) ③子育て支援関係機関職員を対象に実施する「おやこの支援勉強会」を呼び掛けた。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆市役所職員、教育委員会及び関係機関職員の情報共有と連携強化の目的で「四街道市自殺対策連絡会議」を年3回実施 ②自殺対策連絡会議のメンバー及び福祉相談員、教職員等を対象に資質向上や燃え尽き防止の研修(年2回)。第1回「睡眠とメンタルヘルス」(講師:国立精神・神経医療研究センター病院 医師) 第2回「思春期の危機と自殺対策」(講師:千葉大学教育学部 医師) ③子育て支援関係機関職員を対象に「おやこの支援勉強会」を実施(年4回) ▲① ②26年度と同様 ③26年と同様(年3回) ④26年度同様(年1回) ●27年度と同様	◆実施していない ▲11月28日(土)に予定している市民向けゲートキーパー研修で、民生委員にも周知し参加を呼びかける。 ●保健推進員の研修で自殺予防についての健康教育を実施予定。
24	袖ヶ浦市	◆①問題別行動調査の過去4年間の結果を、生徒指導推進会議で報告した。県の自他の命を大切にし、自信と夢を育むベンチャーとして「いのちを大切に」するキャンペーンを各小中学校で実施している。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定
25	八街市	◆市教育委員会において、全職員参加による研修会の実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆①学校教育相談員等を対象に教育相談に関する研修の実施。②保健推進員に甲種地区・職域・連携推進協議会で作成したパンフレットを使用しミニ講座を実施 ▲①26年度と同様②未定 ●①27年度と同様②未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定
26	印西市	◆実施していない。 ▲予定なし ●未定	◆心の健康市民講座へ市役所職員21名が参加。 ▲予定なし ●未定	◆各講座の周知のみで実施はしていない。 ▲予定なし ●予定なし
27	白井市	◆市指導主事会議で資料を用いた研修を行った。②児童生徒に「悩み相談カード」を配布、「命を大切に」するキャンペーンを通じ、児童生徒への啓発を行った。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆県、健康福祉センター開催の研修を受講した。(市単独での研修実施予定は無し) ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定
28	富里市	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定
29	南房総市	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆県主催の研修会や会議に参加 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲民生児童委員協議会でゲートキーパー研修を実施 ●27年度と同様
30	匝瑳市	◆市内小中学校教職員を対象にうつ病の方への対応とゲートキーパーの役割や具体的な関わり方などについて研修会を実施。37名参加。 ▲予定なし ●未定	◆介護支援専門員対象「自殺対策研修会」講師:水澤都加佐氏、48名参加。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆民生児童委員定期総会にこのサイジンに気づいたら」70名。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
31	香取市	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定
32	山武市	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆県や保健所で実施する自殺対策関連の研修会に参加。市役所職員に対するゲートキーパー研修会を実施。 ▲市役所新規採用職員を対象にゲートキーパー研修会を実施。 ●27年度と同様	◆地域の民生委員定期会議で自殺予防について話をする。 ▲各地域の民生委員会議で、保健師の講話に自殺予防の大切さについて話す。 ●27年度と同様
33	いすみ市	◆養護教諭など、学校関係者に啓発する。 ▲予定なし ●予定なし	◆県で開催した、自殺対策研修会に参加。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲実施していない ●27年度の状況により検討する
34	大網白里市	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆研修等に参加 ▲県主催の研修会 ●27年度と同様	◆実施していない ▲実施していない ●27年度の状況により検討する

市町村の進捗状況 2 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	3(2)教職員等に対する普及啓蒙等の実施 (各地区での研修会で理解を促し教育支援)	3(3)地域保健スタッフや産業保健スタッフの資 質の向上(保健所、市町村、医療機関等の 相談支援に当たるスタッフを対象に研修)	3(4)民生委員・児童委員等への研修の 実施(民生委員・児童委員等への研修の 実施)
35	酒々井町	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし
36	栄町	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆県主催の研修会や会議に参加した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆健康、福祉、教育の分野に加えて町内 企業も交えた栄町心の健康づくり連絡会 の構成員に民生児童委員が含まれてい る。(再掲)。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
37	神崎町	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし
38	多古町	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし
39	東庄町	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆研修会に参加 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし
40	九十九里町	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし
41	芝山町	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆研修会、講習会に参加 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆パンフレットの配布、説明。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
42	横芝光町	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆研修会、講習会に参加 ▲行政機関等相談担当者・ボランティア等 に対し、ゲートキーパー研修会を実施予定 ●27年度と同様	◆パンフレット、リーフレットの配布、説 明。①26年度と同様 ②ゲートキーパー兼 成研修を予定。 ●27年度と同様
43	一宮町	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定
44	睦沢町	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆ゲートキーパー講習会を保健栄養推 進員に2回実施。延55名参加。 ●未定
45	長生村	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆民生委員、包括支援センターサポ一 ター等を対象に「ゲートキーパー養成講 習会」を実施。9月18日32人、2月10日26 人。 ◆保健衛生推進員、一般住民を対象に 「ゲートキーパー養成講習会・傾聴講座」 を実施予定。 ●未定
46	白子町	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●未定
47	長柄町	◆県からの文書について周知実施 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆参加している ▲業務の調整可能な範囲で研修参加予定 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定
48	長南町	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定
49	大多喜町	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定
50	御宿町	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定
51	絹南町	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲実施予定 ●実施予定	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし

市町村の進捗状況 3 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	3(5)消費・生活・労働・法律等の相談員の資質の向上(相談窓口担当者会議等の開催、研修会等の開催)	4(2)地域における心の健康づくり推進体制の整備(母親のメンタルヘルスの相談)	5(2)精神保健福祉相談・診療の実施(家庭訪問等を通じて、受診勧奨、定期通院の確認、専門会による無料相談会)
1	綾子市	<p>◆【消費生活センター】複雑化・多様化する相談に対応するため、研修会の参加を支援し、消費生活相談員の資質の向上を図った。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆【健康づくり課】産婦、新生児訪問時にエジンバラ産後うつ病質問票、育児支援アンケート、赤ちゃんへの気持ちや質問票を実施、必要に応じてこのころの健康相談に対処。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆【障害福祉課】窓口・電話相談の中から医療機関受診の必要性のあるケースについて家庭訪問や医療機関受診に同行している。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>
2	市川市	<p>◆【総合市民相談課・市民相談担当】市民相談員の資質の向上を図るため、弁護士を講師に、年4回、法律研修会を実施。【総合市民相談課・消費生活センター】①消費生活相談員の研修として、年7回弁護士による相談事例研修会を実施。②岡、県消費生活センター連絡協議会、国民生活センター他開催の消費生活相談員対象の研修会等に計12回参加。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆【健康支援課】新生児訪問時にエジンバラ産後うつ病質問票、育児支援アンケート、赤ちゃんへの気持ちや質問票を実施、必要に応じて母子とのメンタル相談を実施(年8回)</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆【健康支援課】健康管理を目的とした母子・成人訪問事業の一環として保健師が家庭訪問を実施。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>
3	館山市	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>▲未定</p>	<p>◆【健康課】通産業務として育児などに悩みを持つ母親の相談を実施。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆市の精神保健福祉担当者による訪問、電話相談等において、通院・服薬の確認、受診勧奨などを実施。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>
4	木更津市	<p>◆健康ささらつ21計画推進にあたり、このころ健康づくり部会として年2回会議を開催。部会員として商工観光課(消費者センター)関係市民活動支援課等担当課を含む相談窓口担当者の研修会を実施し、対応等をロールプレーで実施。</p> <p>▲26年度と同様に会議を開催。窓口対応マニュアル検討、研修会、各施設等にスタッフ等を掲示し相談等の周知、予防策を講じる。</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆【健康推進課】産婦居出時、乳幼児健診及び子育て相談、家庭訪問、電話相談において適時相談を実施。また、子育て支援員において家庭相談員、母子自立支援員により電話、面接相談の実施。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆【障害福祉課】職員による受診に関する電話、面接相談等の実施。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>
5	松戸市	<p>◆「ゲートキーパー」養成研修を行政関連職種に1回実施。46人参加。</p> <p>▲予定なし</p> <p>▲未定</p>	<p>◆保健師・助産師による、乳児家庭全戸訪問(3821件)にて産婦にエジンバラ質問票を活用し、必要時受診勧奨等継続支援。ほか相談時及び必要時随時対応。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆【障害福祉課】必要により随時対応</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>
6	野田市	<p>◆【市民生活課】研修会の参加により、消費生活相談員の資質の向上に努めた。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆【保健センター】妊娠届出時、乳幼児健診にて母の精神面に関する質問を問診票に加え、問診等で確認し、継続支援が必要な母に対しては、地区担当保健師が個別対応(家庭訪問、電話相談)を実施。新生児妊産婦訪問の際、産婦に対して「エジンバラ産後うつ病質問票」を使用し、産後うつ病発症等の視点を持って対応する。また、乳幼児健診等や電話相談等で相談に対応している。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆【保健センター】主にケースワーカーとして、家庭訪問、面接、電話等にて受診勧奨、通院の確認等を実施。健康相談等にて対応。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>
7	茂原市	<p>◆【生活課】県などが実施する研修会に積極的に参加する。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆【健康管理課】各種(健)診や教室、窓口健康相談及び家庭訪問等で個別対応、課内で情報共有をし、担当不在時でも個別対応を円滑に推進できるような体制づくりをする。</p> <p>◆【新生児妊産婦訪問の際、産婦に対して「エジンバラ産後うつ病質問票」を使用し、産後うつ病発症等の視点を持って対応する。また、乳幼児健診等や電話相談等で相談に対応している。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆【障害福祉課】家庭訪問にて受診勧奨や定期通院の確認を行う。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>
8	成田市	<p>◆消費生活行政活性化基金(国庫補助)を活用し、弁護士を招いて研修会を年6回開催。内容：消費生活センターにおいて受けた案件について、法律専門家としての知見から見た解決方法。</p> <p>▲26年度同様。内容：①前年度同様の内容②相談員が準備したテーマに関する講義。その他国、県、国民生活センターが開催する研修会への参加。</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲保健師活動の中で対応</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲実施していない</p> <p>▲予定なし</p>
9	佐倉市	<p>◆市民相談員及び心配ごと相談員合同研修会(年2回開催)。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲継続実施</p>	<p>◆新生児訪問、乳児相談、幼児健診等母子等業共通で母の子育てに関する不安や悩みを確信する項目を問診票に加え、ママタイムクラブなどでは問診票で子どもを迎える気持ちを確認。問診で詳細を確認し、継続支援が必要な場合は地区担当保健師が対応している。精神的支援が必要な場合は、精神科医やカウンセラーによる「このころの健康相談」につなげている。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲全戸訪問にて「エジンバラ産後うつ病質問票」導入検討。</p>	<p>◆精神障害者相談事業 精神保健福祉士による相談。年83日実施(予定100日)、利用者83件。</p> <p>◆精神障害者相談事業 精神保健福祉士による相談。毎月約8日間(各回4件)予約制</p> <p>▲27年度と同様</p>
10	東金市	<p>◆消費生活相談員が自主主催の研修会に参加</p> <p>▲27年度市町村消費者行政担当職員及び消費生活相談員研修会・多量債務相談窓口担当職員研修会に参加</p> <p>▲未定</p>	<p>◆保健師活動の中で対応</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆保健師活動の中で対応</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>

市町村の進捗状況 3 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	3(5)消費・生活・労働・法律等の相談員の資質の向上(相談窓口担当者会議等の開催、研修会等の開催)	4(2)地域における心の健康づくり推進体制の整備(母親のメンタルヘルスの相談)	5(2)精神保健福祉相談・診療の実施(受療訪問等を通じて、受診勧奨、定期通院の確認、専門医による無料相談等)
11	旭市	<p>◆実施していない</p> <p>▲研修会の開催状況により参加する</p> <p>●26年度と同様</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●予定なし</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●予定なし</p>
12	習志野市	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●予定なし</p>	<p>◆他課と連携し、窓口、訪問、電話など随時対応。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●予定なし</p>
13	勝浦市	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●未定</p>	<p>◆新生児訪問で母親全員にエジソンバテ質問票を配布し得点の高い者へは、母親と個別面談し相談を行なった。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆訪問により必要に応じ受診勧奨を行なった。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>
14	市原市	<p>◆【商工業振興課・消費生活センター】消費生活相談員及び職員の見直しのために、研修会等に参加したほか、専門家による多重債務研修会を開催した。</p> <p>▲26年度と同様(開催時期未定)</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆【保健センター】新生児妊産婦訪問の際、産婦に対して「エジソンバテ」産後うつ病質問票を使用し、産後うつ病の早期発見等の視点を持って対応した。また、乳幼児健康診察や電話相談等で相談に応じた。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●予定なし</p>
15	流山市	<p>◆市コミュニティ課及び消費生活センターが中心となり、関係各課の職員による「多重債務内連絡会」を開催した。</p> <p>▲未定</p> <p>●未定</p>	<p>◆市保健センターでの「母子保健相談」市障者支援課・地域活動サポートセンターによる「家庭内重相談」等により各関係機関が連携し対応する。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆【市障害者支援課、保健センター】市委託相談支援事業所地域活動支援センター(すみれ)、沼南育成園サポートセンターによる訪問相談をセンターの状況を見ながら適時実施。②【障害者支援課】精神科医による無料の心の相談を月2～3回実施した。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>
16	八千代市	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●未定</p>	<p>◆子育てに関する関係機関等と早期の相談、対応につながるよう情報を共有し、連携を図った。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆菜所及び電話相談、メンタルヘルスマッチング相談(月1回)、訪問等により状況把握を行い、必要に応じ受診勧奨、その他健康福祉センターの精神保健福祉相談等を案内した。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>
17	狛孫子市	<p>◆消費生活相談(多重債務等)庁内連絡会議を26年10月23日に開催した。</p> <p>▲消費生活相談(多重債務等)研修会を開催予定</p> <p>●未定</p>	<p>◆①妊娠期の両親学級において、マタニティブルーや産後の精神面及び相談先について健康教育を実施した。参加回数:妊婦128人、未100人、家族1人。②妊婦訪問、産婦訪問時、4か月児相談、育児相談、子育て相談、1歳6か月児健康診察及び3歳児健康診察時に、母親による相談を随時受付。(妊婦)延べ訪問者数47人(産婦)延べ訪問者数62人(4か月児相談)相談者数686人(育児相談)相談者数331人(1歳6か月児健康診察)相談者数903人(3歳児健康診察)相談者数897人。</p> <p>▲①、②継続実施。③産後ケア事業を開始(1)家族から十分な支援が得られず、心身の不調や育児に不安がある産後2か月未満の母子に対し、母体のケアや育児ケア、育児相談など心身のケアや育児ケア、通所する産後ケアセンター、ヘルパーを家庭に派遣し、家事や育児支援等を行うマタヘルプサービスの3種類。(3)サポートステイ、テイクケアは、医療機関等の助産師、看護師等専門職が対応する。</p> <p>●継続予定</p>	<p>◆心の相談(精神科医師による無料相談)を開催した。延べ相談件数284件。</p> <p>▲精神障害のある方やその家族、また地域の方々に精神障害に関する理解を深めてもらうため、各種相談事業や啓発活動等を行う。</p> <p>●継続予定</p>
18	鴨川市	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●検討する</p>	<p>◆母子保健事業(妊婦健康相談、乳幼児健康相談等)において保健師等による相談や指導を実施した。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●検討する</p>
19	鎌ヶ谷市	<p>◆【消費生活センター】相談員の消費生活問題に関する知識及び消費生活相談や消費者啓発に必要な技法を習得するため、相談員に対し研修会(講座)への参加を促し、相談員のスキルアップの研修会に22日間参加した。</p> <p>▲26年度と同様に、相談員にスキルアップの研修会への参加を促す。10月末までに11日間の参加を予定。</p> <p>●27年度までと同様</p>	<p>◆妊婦面談時や健康菜所時、また訪問や電話相談などの応対時に、メンタルヘルスの相談に応じている。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆必要時に相談者への家庭訪問を実施し、医療機関や健康福祉センターで実施している。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>
20	君津市	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●未定</p>	<p>◆事業として特に実施していないが、窓口にて相談があれは、随時職員が相談に応じている。(障害福祉課、健康管理課、市民相談室、子育て支援相談室)。</p> <p>▲26年度と同様、(健康管理課一健康づくり課、子育て支援相談室)こども家庭相談室へ</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●未定</p>
21	富津市	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●未定</p>	<p>◆窓口、乳幼児教室、訪問、電話など随時対応</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆随時対応</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>

市町村の進捗状況 3 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	3(5)消費・生活・労働・法律等の相談員の資質の向上(相談窓口担当者会議等の開催、研修会等の開催)	4(2)地域における心の健康づくり推進体制の整備(母親のメンタルヘルスの相談)	5(2)精神保健福祉相談・診療の実施(家族訪問等を通して、受診勧奨、定期通院の確保、専門医による無料相談等)
22	浦安市	<p>◆労働・社会保険相談を実施した。②多重債務問題について、戸内関係課や団体等の連携の下、多重債務者に対する対策を推進するため多重債務者問題管理連絡会・担当者研修会をそれぞれ年1回開催した。</p> <p>▲予定なし</p> <p>●未定</p>	<p>◆個別相談、講座等を通じ、母親のメンタルヘルスの相談・支援を行った。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆精神科医による心の健康相談年2回5人。◆精神保健福祉士による街かど心の健康相談年6回15人。</p> <p>▲26年度に加え、必要時に地区担当保健師の家庭訪問による本人、家族の相談支援。</p> <p>●26年度と同様</p>
23	四街道市	<p>◆消費生活センター相談員、商工会職員が「四街道市自殺対策連絡会議」の構成員として参加。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●26年度と同様</p>	<p>◆1児幼児健診や新生児訪問、各種事業において相談を実施(新生児訪問ではエンパワ、赤ちゃんへの気持ち等言葉を利用。乳幼児健診、妊娠届け出書で母親のメンタルヘルスの聞き取り)ごみには赤ちゃん訪問事業682件、3～4ヶ月児相談890人。②おやこかりけいぐ事業の実施:育児負担感の高い親、子どもが発達の問題、親子関係の悩みなどに小児精神科医、臨床心理士がかりけいぐを予約制で行う。(年49回実施、費71/延74組) ③育児グループ支援事業:育児負担感の高い親、育て辛い子を持つ親の支援(保健師をかりけいぐとするがグループセッションあり)。幼児対象のグループ(年24回実施、延548人)・0歳児対象のグループ(年12回実施、費70/延208人)・多胎児グループ(年12回実施、延96人) ④子育て電話相談:月～金8:30～17:00相談(延361人、相談内容件数374件) ⑤虐待ケースや育児困難ケースへの地区担当保健師による定期又は随時の訪問、面接、電話相談の実施。(訪問:実108人/延146人、面接:実84人延132人、電話:実393件/延593件) ⑥かかり症児をもつ親の会「さくらそうの会」(年5回親子症67人)。</p> <p>▲26年度に加え、乳幼児健診で精神面で気になる相談項目に該当がある人に対しリーフレットを配布。</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆保健福祉センター実施の「こころの健康相談」を、市役所内で1日実施し、2例の相談があった。②病状確認・受診勧奨で訪問対応。</p> <p>▲1児健康福祉センター実施の「こころの健康相談」を、市役所内で1日実施。②相談があった際には随時対応する。</p> <p>●27年度と同様</p>
24	袖ヶ浦市	<p>◆消費生活相談員が研修会に参加。</p> <p>▲26年度と同様に、相談員に研修会への参加を促す。</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆産婦訪問時に随時対応</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆窓口・電話相談の他、必要に応じて自宅・通所施設等への訪問による受療勧奨、相談対応を行った。②隔月1回専門医による無料相談を実施した。</p> <p>▲26年度と同様に、訪問に関しては隔月1回の日を定め、若者訪問相談として実施。</p> <p>●27年度と同様</p>
25	八街市	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●予定なし</p>	<p>◆家庭教育指導員による家庭教育相談を開催した。③市のカウンセリングを、学校相談員が家庭訪問を必要に応じて実施した。④乳幼児健診や親子相談などの相談中に対応している。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●予定なし</p>
26	印西市	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●予定なし</p>	<p>◆窓口、接診時、乳幼児教室、訪問、電話など随時対応。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆1児健康福祉センター実施の「こころの健康相談」を、市役所内で1日実施し、2例の相談があった。②病状確認・受診勧奨で訪問対応。</p> <p>▲1児健康福祉センター実施の「こころの健康相談」を、市役所内で1日実施。②相談があった際には随時対応する。</p> <p>●27年度と同様</p>
27	白井市	<p>◆①月に1回相談員及び行政担当職員との連絡調整会議を開催し情報交換を行った。②国や県が行った多重債務等の研修会に出席し、知識・相談対応のスキル向上に努めた。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆①精神疾患を持つ妊婦や産婦に対し、電話、来所、訪問での相談を行い、継続支援を実施した。②新生児訪問時にPPDS(エンパワ)産後うつ病自己診断)9点以上の産婦には再訪問を行うなど、継続支援を実施した。③生後1か月児と母親対象のおためどう訪問(新生児訪問実施者以外)では、子育てに悩んだ際の相談先を知らせている。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆①家庭訪問(市41人・事業所140人)電話相談(市117人・事業所581人)窓口相談(市98人・事業所266人)無料専門医相談(年6回5人)子育て実施(年14回延47人)。</p> <p>▲H26年度と同様</p> <p>●H27年度と同様</p>
28	富里市	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●未定</p>	<p>◆子育て支援センター(育児相談190人・育児講座213人・センター室開放6,867人・移動支援センター980人・サークル支援307人) 家庭児童相談室(延2,101人) 保健センター育児相談(年20回延151人) 新生児訪問(延376人) ハリスラック妊婦訪問(延27人)</p> <p>▲H26年度と同様</p> <p>●H27年度と同様</p>	<p>◆家庭訪問(市41人・事業所140人)電話相談(市117人・事業所581人)窓口相談(市98人・事業所266人)無料専門医相談(年6回5人)子育て実施(年14回延47人)。</p> <p>▲H26年度と同様</p> <p>●H27年度と同様</p>
29	南房総市	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●相談窓口間の連携について検討</p>	<p>◆保健師等が個別に相談し、また、低体温児、未熟児の新生児訪問の際、エンパワ票を利用し、産後うつの子エックスを実施</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆保健師等が個別に対応し、安房健康福祉センターでの精神保健相談等、専門窓口へつないでいる</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>
30	匝瑳市	<p>◆実施していない</p> <p>▲未定</p> <p>●未定</p>	<p>◆①低体温児訪問時にエンパワ票を利用し相談 ②出生連絡票交付時の面接にて産後うつ等の確認 376名</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆面接・実131延560(内親自受開連79)、訪問:実71延222(内親自受開連19)、電話延664(内親自受開連180)※福祉課保健師対応分</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>

市町村の進捗状況 3 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	3(5)消費・生活・労働・法律等の相談員の資質の向上(相談窓口担当者会議等の開催、研修会等の開催)	4(2)地域における心の健康づくり推進体制の整備(母親のメンタルヘルズの相談)	5(2)精神保健福祉相談・診療の実施(家庭訪問等を通じて、受診勧奨、定期通院の確保、専門医による無料相談会)
31	香取市	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆保健師が随時対応 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆保健師が随時対応 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
32	山武市	<ul style="list-style-type: none"> ◆国や県の研修に相談員が参加。 ▲26年度と同様。 ●27年度と同様。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆赤ちゃん訪問の際に質問票①育児支援アンケート ②エジソンバテ産後うつ病質問票(EPPDS) ③赤ちゃんへの気持ち質問票(ボシペンペン)を実施 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆健康支援課保健師・社会福祉課精神保健福祉士にて随時相談・訪問で対応。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
33	いすみ市	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆マタニティ教室や乳幼児健診・相談などの各月齢で実施する教室等で、継続的な支援体制を整え、精神面の支援を行った。新生児訪問では産後うつ病アンケートをとり支援した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ケースの状況に合わせて、福祉課や保健所と連携をとり支援する。 ▲関係機関で集まりケース会議を実施。継続支援ケースは役割分担し連携をとり支援。 ●27年度と同様
34	大網白里市	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆赤ちゃん訪問の際に①育児支援アンケート ②エジソンバテ産後うつ病質問票(EPPDS) ③赤ちゃんへの気持ち質問票(ボシペンペン)の3種の質問票を使用。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地区担当保健師が対応。県と情報共有し対応しているケースもあり。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
35	酒々井町	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆新生児訪問・乳児相談・健診に保健師が対応、その他随時対応。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆健康福祉課・保健センター職員が必要に応じ訪問・相談に対応。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
36	柴町	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆母子保健事業等において、保健師等による相談や指導を実施した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆保健・福祉の両部門において、精神保健福祉相談に対応した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
37	神崎町	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆妊娠届出時アンケート実施。生後4ヶ月以内に保健師が全数訪問を実施。訪問時にEPPDSの実施。 ▲H26年度と同様 ▲H27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆必要時に町の保健師が対応 ▲H26年度と同様 ▲H27年度と同様
38	多古町	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆新生児訪問時の相談 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし
39	東庄町	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆妊娠届出時アンケートの実施。2か月児全数訪問時にEPPDSの実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆必要者には、家庭訪問等の実施 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
40	九十九里町	<ul style="list-style-type: none"> ◆県主催の研修会に参加 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆町の保健師が対応 ▲赤ちゃん訪問の際に、①育児支援アンケート ②エジソンバテ産後うつ病質問票(EPPDS) ③赤ちゃんへの気持ち質問票(ボシペンペン)の3種の質問票を使用。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆町の保健師が対応 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
41	芝山町	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆保健師による新生児訪問・子育て相談の実施 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆福祉保健課担当職員による電話・窓口相談の結果、必要であれば家庭訪問を行い病院や健康福祉センターとの調整を実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
42	横芝光町	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆①新生児訪問・乳児健診時「エジソンバテ産後うつ病質問票」、「育児支援アンケート」、「ボシペンペン」を実施し、高得点者等へのフォローの実施。②定期健康相談(月1回)、こころの健康相談(月1回)、母子手帳発行時保健師面接等随時相談。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域生活支援センター、福祉課担当者、保健師等の訪問等により実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
43	一宮町	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆必要時対応している ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆必要時対応している ▲随時対応 ●27年度と同様
44	陸沢町	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆新生児訪問・乳幼児健診時随時対応 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ケース状況により、保健師と介護・福祉部門とが連携し、家庭訪問を実施。精神科の受診状況の確認や受診支援を行う。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
45	長生村	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆新生児の全戸訪問時に相談を受けたり、「産後うつ病」の予防のリーフレットを配付。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆福祉課障害者支援係保健師と連携して、家庭訪問等を実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
46	白子町	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆随時、保健師が対応 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆随時対応 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
47	長柄町	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆相談時に随時対応 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆電話・窓口・訪問・面接等を通じて必要時受診勧奨を実施。必要時には他職種や保健所につなげ、ケース会議等を開催。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様

市町村の進捗状況 3 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	3(5)消費・生活・労働・法律等の相談員の資質の向上(相談窓口担当者会議等の開催、研修会等の開催)	4(2)地域における心の健康づくり推進体制の整備(母親のメンタルヘルスの相談)	5(2)精神保健福祉相談・診療の実施(家族訪問等を通じて、受診勧奨・定期通院の確認、専門医による無料相談会)
48	長南町	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆妊娠届出時・乳児家庭全戸訪問・健診等で相談対応を行った。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆電話・窓口相談、訪問を実施し、専門医への受診勧奨や受診の確認、保健所の家族相談同行等個別対応を行った。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
49	大多喜町	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆母子保健事業にて対応 ▲26年度と同様 ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆電話、窓口、訪問、面接等を通し必要時には受診勧奨を実施し、関係機関や医療機関につなげ、場合によってはケース会議等を開催。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
50	御宿町	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆産後うつの評価として新生児・産婦家庭訪問でエシジバラを使用し、スクリーニングを実施。必要時には新聞や乳児相談、子育て相談などで個別に対応。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆家庭訪問や家族面談を通して、状況を確認し、必要時には主治医へ相談するよう促した。また、健康福祉センター実施の精神福祉相談について案内を実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
51	鋸南町	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆母子保健事業で対応 ▲新生児訪問、乳児訪問でエシジバラ質問票を実施 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆訪問、情報収集、関係機関の情報共有 ▲26年度と同様 ●27年度と同様

市町村の進捗状況 4 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	16(1)地域における相談体制の充実 (自殺や心の悩みへの相談)	6(1)地域における相談体制の充実 (住民に対する啓発・情報提供、地域における自殺対策の推進)	6(2)多量債務者への相談窓口の充実 (消費者金融等に関する助言等や金融の警察への情報提供)
1	鉾田市	<p>◆【障害福祉課】窓口や電話等にて相談を随時受けつけている。必要により医療機関と連携をとり主治医を交え検討会を実施している。【健康づくり課】精神科医師・臨床心理士・思春期保健相談士による「こころの健康相談」を月2回実施。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆【健康づくり課】健康まつりで、のほり旗・懸垂旗の掲揚。また、自殺対策コーナーを設置し、市の自殺の現状や相談窓口、講演会等の周知・啓発をした。うつ病・心療内科の活用。また、健康まつりで、のほり旗・懸垂旗の掲揚。また、自殺対策コーナーでDVDの活用による啓発。常設掲示板の利用しホスター・バネールを利用して、うつ病心理テストの活用。</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆【税務課】納税相談の際、経済的に破綻していると思われる場合には、弁護士等への相談を促した。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>
2	市川市	<p>◆【健康支援課】うつ心の心配相談実施(本人・家族等を対象にした予約制の面談相談) 実57件、延60件。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆【健康支援課】①ホームページによる情報提供(連年) ②懸垂旗設置による啓発活動(9月・3月) ③こころの健康に関する図書の展示(9月) ④こころの健康市民講座の開催(再掲) ⑤相談窓口利用のためのパンフレット設置・配布(再掲)。⑥こころの体温計 ⑦快適睡眠講座(再掲) ⑧その他既存の成人健康教育(高血圧等)、地域等から依頼のあった健康教育、各種イベント等の中で、こころの健康についてPR(再掲)。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆【総合市民相談課・消費生活センター】消費生活相談事業の中で対応。「弁護士による多量債務者専門法律相談」などの専門相談実績215件。警察への情報提供はない。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>
3	館山市	<p>◆相談や問合せに列し、適切な相談窓口などへ繋ぐため、民生(児童)委員、などにパンフレットを配布し、周知を図った。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆地区公民館等にパンフレットなどを設置し、啓発・情報提供を行うとともに、民生(児童)委員、などに啓発用冊子、パンフレットを配布し、地域における活動の中で、適切な相談機関に繋げてもらうよう協力を依頼した。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲未定</p>	<p>◆【商工観光課】「消費生活相談」を実施。多量債務者消費生活に関する電話、面談相談に対応している。</p> <p>▲【市民活動支援課】「消費生活相談」を実施。</p> <p>▲27年度と同様</p>
4	木更津市	<p>◆相談内容に応じて、他課と連携し心の健康に関する電話、面談相談を実施。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆【健康推進課】スマホと上手につきあうための講座の開催</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆【消費生活課】消費生活センターにて随時対応し、必要に応じて弁護士会の無料相談を案内している。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲未定</p>
5	松戸市	<p>◆各保健福祉センター等で必要時対応</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆【オートキーパー】養成研修を計2回実施。計151人参加。②こころの健康づくり講演会を1回実施し、319人参加。③メンタルチェックシステム「こころの体温計」開始(10月～)</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲未定</p>	<p>◆【市民生活課】市消費生活センターにおいて消費生活相談事業の中で対応。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>
6	野田市	<p>◆【介護保険課】必要に応じて、面談により対応。【保健センター】健康相談(保健センター他4施設)にて実施。電話相談等で必要時対応。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆【健康推進課】スマホと上手につきあうための講座の開催</p> <p>▲未定</p>	<p>◆【生活課】消費者金融等に関する相談は専門家を案内、やみ金劇については、警察への相談を助言。</p> <p>▲相談があれば助言・情報提供等適宜対応する。</p> <p>▲27年度と同様</p>
7	茨原市	<p>◆【健康管理課】①「健康相談」等から支援の必要な方には、保健所の「こころの健康相談」にて受け付け、専門機関を紹介した。電話相談延268件、面談相談延304件、訪問延・35件実施【障害福祉課】②電話相談 延166件、面談相談 延89件(うち心の健康づくり相談14件)実施。【地域包括支援センター】③4ヶ所の地域包括支援センターの総合相談で、高齢者本人の心の悩みや、介護者からの介護疲れ等の訴えに対応し、改善策の相談に対応している。</p> <p>▲①あらゆる保健事業の中から、支援が必要と判断した事例について、課内で情報を共有し、担当不在時でも個別対応を円滑に継続できるような体制づくりをする。また必要な窓口(保健所の「こころの健康相談」等)、専門機関を案内する。②26年度と同様。③相談窓口を4か所で開催。</p> <p>▲①、②27年度と同様。③4ヶ所の地域包括支援センターで対応する。</p>	<p>◆【市】のホームページや広報誌を利用して、自殺予防に対する啓発や相談窓口の情報提供をする。オートキーパーについての出前講座のメニューを追加した。②26年度と同様。</p> <p>▲27年度と同様。</p>	<p>◆【生活課】消費生活センターで相談対応。▲件数の把握はできないが、適宜警察や多量債務相談機関等への取り次ぎを行っている。</p> <p>▲27年度と同様</p>
8	成田市	<p>◆こころの健康相談の実施 スタッフ:精神科医、心理カウンセラー、保健師 回数:精神科医10回、カウンセラー14回 人数:30人。</p> <p>▲こころの健康相談の実施 スタッフ:精神科医(10回)、心理カウンセラー(14回)、保健師。</p> <p>▲27年度と同様</p>	<p>◆【精神保健福祉推進協議会(福祉)・精神保健福祉セミナー】「なりたい自分になるす」機関誌の発行。(ヘルス)②美医プロテクトによる美医の美しい回数16回 人数:571人 ③自殺予防週間、及び月間時スローカーソンの掲示(のほり旗・懸垂旗)。</p> <p>▲①26年度と同様(ヘルス)②美医プロテクトによる美医の美しい回数16回 人数:571人 ③自殺予防週間、及び月間時スローカーソンの掲示(のほり旗・懸垂旗)。</p> <p>▲26年度と同様</p>	<p>◆【生活課】消費生活センターで相談対応。▲件数の把握はできないが、適宜警察や多量債務相談機関等への取り次ぎを行っている。</p> <p>▲27年度と同様</p>

市町村の進捗状況 4 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	6(1)地域における相談体制の充実 (自殺や心の悩み相談)	6(1)地域における相談体制の充実 (住民に別する啓発・情報提供、地域における自殺対策の推進)	6(2)多重債務者への相談窓口の充実 (消費者金融等)に関する取組等やミニ金融の啓蒙への情報提供)
9	佐倉市	<ul style="list-style-type: none"> ①精神科医によるこころの健康相談1年6回、計16名。②「カウンセラー」によるこころの健康相談1年6回、計16名。25年度から継続支援を実施。悩みが解決に向かうまで保健師が支援している。相談者を受診につなげやすくするため、相談内容連絡票を導入している。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ①ゲートキーパー養成研修にて、啓発コーナーを設置。②自殺予防週間に併し9月の1か月間と自殺対策強化月間の3月に、保健センター、図書館にてのほり旗、啓発コーナー設置、図書館は関連図書も展示。③ホームヘルプ、ポスター、カード型チラシによる啓発。 ④研修や予防週間に併し9月の1か月間、3月に啓発コーナー設置。⑤ポスター、ポスター、カード型チラシによる啓発。 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 「法律・人権」行政相談「司法書士相談」「行政書士相談」を実施。消費生活センターによる「消費生活相談」の実施。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 ●継続実施
10	東金市	<ul style="list-style-type: none"> 保健師活動や健康相談で対応。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 3月自殺対策強化月間に懸垂幕を掲示。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談業務の中で対応。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様
11	旭市	<ul style="list-style-type: none"> 実施していない ▲予定なし ▲予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> 実施していない ▲予定なし ▲予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> 実施していない ▲予定なし ▲予定なし
12	習志野市	<ul style="list-style-type: none"> 実施していない ▲予定なし ▲予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> 実施していない ▲予定なし ▲予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> 実施していない ▲予定なし ▲予定なし
13	勝浦市	<ul style="list-style-type: none"> 【保健センター】各ライブドアメニューにおける生活習慣病予防等の健康相談や電話相談を行う中で対応、必要に応じて他機関と連携を図った支援を実施。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 【保健センター】自殺予防のリーフレット・ポスターを市内公共施設へ設置。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 【商工業振興課】消費生活センター①消費生活相談員による相談業務を実施した。②果物・野菜本部による無料相談会に協力した。③多重債務に関するリーフレットを作成した。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様
14	市原市	<ul style="list-style-type: none"> ①障害者支援課PSWが来所、電話相談により対応した。②保健センター・市委託相談支援事業所地域活動支援センター「すみれ」沼南育成園サポーターセンターにおいて相談を受け付けている。③障害者支援課にて精神科医による無料の心の相談を月2～3回実施した。 ▲継続実施 ▲継続予定 	<ul style="list-style-type: none"> ①障害者支援課で精神障害者を対象に作成した冊子「こころの健康のしおり」を配布することで、相談機関や精神科医療機関、福祉センター、保健センター等の案内と情報提供を行った。②自殺対策として、いのちの電話や県及び市内の相談機関、福祉施設等の連絡先を掲載した「いのちのつながり」を配布した。③市が月2～3回市民を対象に実施している精神科医による「こころの相談」をより周知するためパンフレットを作成し配布した。④統合失調症うつ病等の精神科疾患によるひきこもりも含め、ひきこもり対策として厚生労働省発行「ひきこもりかな?」を配布した。 ▲26年度と同様、相談窓口を周知する「べんネット」や冊子を配布する。 ●継続予定 	<ul style="list-style-type: none"> 市消費生活センターにおいて通時必要に応じて連携。 ▲継続実施 ▲継続予定
15	流山市	<ul style="list-style-type: none"> 来所及び電話相談、予約制のメンタルヘルスほっと相談等にて対応した。また、必要に応じて、適切な医療・相談機関へつなげた。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> リーフレット「悩んだ時の相談窓口(八千代市版)」や「べんネット」あなただけのためのメンタルヘルスを、相談時や各種事業・研修等にて活用した。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ①相談窓口を掲載したリーフレットを関連部署へ配布し、周知に努めた。②相談時、消費生活センターや法律相談を案内した。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様
16	八千代市	<ul style="list-style-type: none"> ①精神に障害のある方及びその家族を支援するために、各種相談事業を実施した。アルコール依存症者の自助グループ「リアルコール」教室川について、広報への掲載を行い広く参加者を呼びつけた。(延べ参加者数 ティンクル教室:103人、心の健康クラブ:55人、アルコール教室:93人、精神障害者就労前相談:12人) ②4(2)再掲。妊娠期の面談学級において、マタニティヘルプや産後の精神面及び相談先について健康教育を実施した。(参加延数:妊婦128人、夫100人、家族1人)、妊婦訪問、産婦訪問時、4か月児相談、育児相談、子育て相談、1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査時に、母親の精神面の確認及び支援を実施。また、電話による相談を随時受け付けている。(妊婦)延べ訪問者数:47人(産婦)延べ訪問者数:62人(4か月児相談)相談者数:686人(育児相談)相談者数:331人(1歳6か月児健康診査)相談者数:903人(3歳児健康診査)相談者数:897人。 ▲精神障害のある方やその家族、また地域の方々に精神障害に関する理解を深めてもらうため、各種相談事業や啓発活動等を行う。 ●継続予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 2(1)再掲 2月26-27日「こころの健康講座」で「ひきこもりについて」精神疾患について」と題する講演会を開催した。 ▲心の健康をテーマとした講演会を企画し、市民の精神障害に対する啓発に努めた。 ●継続予定 	<ul style="list-style-type: none"> 3(5)再掲 消費生活相談(多重債務等)庁内連絡会議を26年10月23日に開催した。 ▲消費生活相談(多重債務等)研修会を開催予定。 ●未定
17	我孫子市	<ul style="list-style-type: none"> ①自殺対策に特化してはいないが、児童・障害者、高齢者等対象者を問わない包括的なワンストップ相談支援を行う総合相談窓口を箇所設置し、支援が必要な者への個別支援及び地域との連携を必要とする実施。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 国、県等が作成した自殺対策用パンフレット等と公民館総機に配架するとともに、3月の自殺対策強化月間に合わせて広報誌に自殺予防に関する記事を掲載し、周知啓発を図った。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 市民相談員による消費生活相談等のほか、司法書士による無料相談を実施した。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様
18	鴨川市	<ul style="list-style-type: none"> ①自殺対策に特化してはいないが、児童・障害者、高齢者等対象者を問わない包括的なワンストップ相談支援を行う総合相談窓口を箇所設置し、支援が必要な者への個別支援及び地域との連携を必要とする実施。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 国、県等が作成した自殺対策用パンフレット等と公民館総機に配架するとともに、3月の自殺対策強化月間に合わせて広報誌に自殺予防に関する記事を掲載し、周知啓発を図った。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 市民相談員による消費生活相談等のほか、司法書士による無料相談を実施した。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様

市町村の進捗状況 4 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	6(1)地域における相談体制の充実 (自殺や心の悩みへの相談)	6(1)地域における相談体制の充実 (住民に対する啓発・情報提供、地域における自殺対策の推進)	6(2)多重債務者への相談窓口の充実 (消費者金融等に関する助言等や金融機関の啓発)
19	鎌ヶ谷市	<p>◆「マッセー」ジャケットを制作し、公共施設の窓口及び「イ」等に設置し、一人で悩まずに相談できる場所を周知した。(26年度自殺関連電話番号相談3件)</p> <p>●26年度と同様</p> <p>●今後も「マッセー」ジャケットを公共施設に設置して周知を図る。</p>	<p>◆3月の自殺予防強化月間に、消防署に自殺予防に関する懸垂幕を懸垂し、市庁舎にのぼり旗を立てた。(2)「フオーキョウガール」の協力を得て、活動時に自殺予防の啓蒙を付け、旗を持って「フオーキョウ」を行った。</p> <p>●26年度と同様</p> <p>●今後も懸垂幕、のぼり旗、腕章、旗を利用し周知を図る。</p> <p>◆自殺予防のリーフレット配布とポスター掲示、自殺予防週間に合わせてホームページを掲載し周知啓蒙を図った。</p> <p>●26年度と同様</p> <p>●未定</p>	<p>◆市消費生活センターに寄せられた多重債務関係の相談は23件あり、適宜、相談者に対して適切な助言等を行い「pio-net」により情報を共有化した。</p> <p>●26年度と同様。(多重債務関係の相談件数は、7月末現在で8件)。</p> <p>●今後も消費生活センターでの相談及び助言を行うとともに、関係機関と連携を図る。</p> <p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●未定</p>
20	君津市	<p>◆事業として特化してはいないが、窓口にて相談があれば、随時職員が相談に応じている。(障害福祉課、健康管理課、市民相談室、子育て支援相談室)</p> <p>●26年度と同様(健康管理課一健康づくり課、子育て支援相談室へも家庭相談室へ名称変更)</p> <p>●27年度と同様</p> <p>◆「障がひ福祉なんでも相談」を月2回実施。そのほか必要時、随時対応。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆自殺予防週間に、自殺予防週間の懸垂幕を市役所庁舎へ掲出した。②市役所ホームページ内で、「この健康」を題して、うつ病の内容と相談窓口一覽表を掲載した。③自殺予防の参考書籍128冊を購入し、市役所関連施設へ備え市民が閲覧可能。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●未定</p>
21	富津市	<p>◆精神保健福祉士、保健師等が電話、窓口相談にて対応した。②市立全小・中学校へスクールカウンセラーを配置しており、児童生徒及び保護者の相談に対応することで、校内相談体制の充実を図った。③市の適応指導教室では、教育相談及び訪問相談を実施し、学校、社会への適応を図るために子どもや保護者の相談や支援を行った。④市のホームページ、広報うらやす、教育情報誌「うらやすスタイル」などを通じて、いじめに関する相談機関の周知を図るとともに、いじめ110番のポスターを制作、配付し、各小中学校の児童生徒や保護者への啓蒙・広報活動を行った。⑤生活困難者自立支援制度、自立相談支援業務を開始した。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆啓蒙イベント、啓蒙キャンペーンや広報、地域活動等において、情報提供・啓蒙を行った。</p> <p>●26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆消費者金融やローン・クレジット債務等の相談に対し、解決に向けての助言を行う。多重債務、ヤミ金融等の啓蒙イベント等で配布した。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>
22	浦安市	<p>◆1)市長を対象にした24時間相談電話委託事業「健康安心ダイヤル24」実施。2,141件/年、うち「メンタルヘルス」に関する相談306件 ②市内健康相談で随時保健師・看護士による心身の健康相談を実施。電話で実施。月～金(8:30～17:00) 面談72人、電話59人 ③市民対象に精神科医による「心の健康相談」を年2回実施し5人利用。精神保健福祉士による「街かど」の健康相談1年6回実施し15人利用 ④「人事課」職員向けに市から委託した相談支援事業所「メンタルヘルス研修を実施。職員に対し、「なんでも電話相談サービス」(24時間年中無休)を実施。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆自殺予防「この健康」に関するリーフレット等を保健センターの窓口や関係機関の窓口のほか健康教育でも配布。②ホームページに「自殺予防」の啓発と記事掲載。(年1回更新) ③ホームページに「この健康」をテーマにして年4回掲載。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆多重債務等の相談について消費生活センターの相談員が相談に応じている。ケースの必要性に応じ、警察への情報提供・連携をしている。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>
23	四街道市	<p>●27年度と同様</p> <p>◆地域活動支援センター、相談支援事業所の2箇所でも、電話相談、来所相談、訪問等で相談を受けている。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆検診会場、保健センター、窓口等に啓発冊子や、リーフレットを置き啓蒙した。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆【商工観光課】消費生活相談を実施</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>
24	袖ヶ浦市	<p>◆市のカウンセラー(週3日勤務)が児童・生徒及びその保護者にカウンセリングを行った。(4月～3月相談件数延べ676件)。学校相談員が家庭訪問を行った。(4月～3月訪問回数延べ1121件)。②市職員が気軽に相談できる場として、臨床心理士による心理相談を実施し、延べ7名が相談を受けた。(年1回実施)。③本人や家族のこころの悩みや不安についての相談窓口を月1回開催、相談件数131件。</p> <p>▲1)電話相談専用ダイヤルを開設し、相談活動を行う。学校相談員が家庭訪問を行う。②、③26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●未定</p>	<p>◆八街市消費生活センターによる「消費生活相談」の実施。</p> <p>▲継続実施</p> <p>●継続実施予定</p>
25	八街市	<p>◆窓口、電話及び個別相談(保健師、精神保健福祉士、社会福祉士)の他、市内各支所での出張相談(月4回)を行った。また医師によるこころの相談を隔月1回実施した。その他、「心配ごと相談」「女性の悩み相談」「子ども相談室」を実施した。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆「メンタルヘルス」を市役所、各支所に配置し、普及啓蒙・情報提供を行った。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆消費生活相談、法律相談(月2回)を実施。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>
26	印西市	<p>◆26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>

市町村の進捗状況 4 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	6(1)地域における相談体制の充実 (自殺や心の悩みへの相談)	6(1)地域における相談体制の充実 (住民に対する啓発・情報提供、地域における自殺対策の推進)	6(2)多重債務者への相談窓口の充実 (消費者金融等に関する助言等や金融の啓蒙への情報提供)
27	白井市	<ul style="list-style-type: none"> ①女性生き生き相談」女性を対象に、生活の様々な悩みやこころの相談を受け、自分で解決できるように導く自立支援のカウンセリングを月2回実施している。 ②こころの相談」専門医によるこころの相談を月に1回、精神保健福祉士によるうつ病やその原因のある市民、自殺のハイリスクと考えられる市民が含まれている。 ③「保健福祉相談」保健師や社会福祉士が、あらゆる年代の市民の暮らしと健康に関する相談を広く受けている。相談者の中にはうつ病やその疑いのある市民、自殺のハイリスクと考えられる市民が含まれている。(面接・訪問・電話・メール相談) ④「精神保健福祉相談」精神保健福祉士が障害者や、市民一般の相談を受け、⑤「人材相談」法務大臣から委嘱を受けた人材擁護委員が差別、いじめ等の人権に関する相談を月1回(8月除く)を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 他、個別に情報提供(印刷物)を行った。市が地域を歩き込んでの活動は実施がない。健康福祉センター主催の自殺対策地区連絡協議会に出席し、広域の情報把握を行った。 ▲市民に広報紙等による情報提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談において、該当する相談があった場合は速やかに警察等関係機関へ連絡する体制をとる。消費生活相談開設日以外には、市職員が対応する。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様
28	富里市	<ul style="list-style-type: none"> 市、地域生活支援センター「ゆらり」(社会福祉協議会)にて窓口相談を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口のリーフレットを作成しイベント及び講演会などで配布し周知した。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 産業経済課内に消費者相談センターを設置し相談対応を行っている。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様
29	南房総市	<ul style="list-style-type: none"> 各課に配属されている保健師等が個別に対応する相談体制をとり、必要に応じて他機関との連携を図った。また、適切な相談窓口につなぐため、民生児童委員、保健推進員などにイベントを配布して周知を図った ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> うつ病、自殺予防に関連する記事を、広報誌に掲載した。また、国、県等が作成した自殺対策用リーフレット等を公共施設に設置し、相談窓口等の周知をした。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者相談窓口での相談受付及び司法書士による無料相談の実施(館山市との共催、生活保護の相談の中で法テラス等の専門相談窓口の情報提供。 ▲26年度と同様、相談窓口の開設を予定 ▲27年度と同様
30	匝瑳市	<ul style="list-style-type: none"> 面接:奥131延360(内訳自殺関連19)、訪問:奥1延222(内訳自殺関連19)、電話延664(内訳自殺関連180)※福祉課保健師対応分。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ①各種イベント等でリーフレット、冊子の配布、心の健康についてのクイズの実施。 ②各種イベントや福祉相談窓口等でのポスターやパンフレットの掲示。 ③福祉相談の周知をしている。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 匝瑳市消費生活相談にて多重債務者への相談、業界からの紹介などもある。 ▲匝瑳市消費生活センターとなり窓口の充実を図る。随時助言、情報提供等を行っていく。 ▲27年度と同様
31	香取市	<ul style="list-style-type: none"> 年中無休24時間体制の健康相談ダイヤルを開始(健康・医療・育児・介護に関する相談を医師、保健師、看護師等が対応)。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 実施していない ▲予定なし ▲未定 	<ul style="list-style-type: none"> 実施していない ▲予定なし ▲未定
32	山武市	<ul style="list-style-type: none"> 健康支援課保健師による相談は随時対応。 社会福祉課精神保健福祉士による「心と身体の相談室・子イサー」にて教室「WaiWai」を開催。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 広報・ホームページに自殺予防週間・自殺対策強化月間の掲載、ポスター掲示。各種相談窓口一覧「あなただけのこころ元気ですか」配布、健康増進講演会、健康福祉まつりなどで啓発グッズを配布しながらPR。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> わがまち活性化課において、消費生活相談を実施(平日毎日)。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様
33	いすみ市	<ul style="list-style-type: none"> 窓口相談・電話相談を実施。他機関との連携を通し支援。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> リーフレットの全戸配布や、広報紙で自殺対策PR。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 実施していない ▲予定なし ▲予定なし
34	大網白里市	<ul style="list-style-type: none"> 電話・面接相談を随時受付。必要に応じて、社会資源を紹介するなど対応。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 自殺予防週間等の啓発ポスターを貼付。冊子やリーフレットの配布・設置。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談窓口を設置。地域づくり課にて相談窓口を設置。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様
35	酒々井町	<ul style="list-style-type: none"> 保健センター、健康福祉課他の窓口、電話等随時受付、保健師の対応、又は関係機関との連携。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設へポスターの掲示、パンフレットやチラシの配布。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談、毎月2回 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様
36	栄町	<ul style="list-style-type: none"> ①ほっとスペース:心に悩みを抱えた方が気軽に相談できる場所を庁舎外に設置(39回開催、延べ316名利用)。 ②子イサークラブ:グループワークを通じて生活リズムや対人関係の改善などを社会に適應するための日系的な訓練の場を開催(40回開催、延べ305名参加)。 ③小学校心の相談:子どもたちへの相談体制として小学校で心の相談を実施(72回開催、延べ752名利用)。 ④成田市で開催されている「同じ悩みをもつ10代の人たち」といじへ後援として職員を派遣。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 普及啓発用の冊子やパンフレットを配布し、ポスター掲示を行った。(再掲) ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談、法律相談、心配ごと相談で対応した。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様
37	神崎町	<ul style="list-style-type: none"> 24時間電話相談実施(委託事業)町の保健師による健康相談事業(月1回) ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 保健福祉課窓口のリーフレットを設置 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 実施していない ▲予定なし ▲予定なし
38	多古町	<ul style="list-style-type: none"> 精神保健福祉相談(10月と11月を除き月1回、年10回開催)。また、保健師、社会福祉士等による相談を随時実施。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等へ、ポスターの掲示、窓口等にパンフレットやチラシを配置。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> 【産業振興課】消費者相談を毎月1回実施。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様

市町村の進捗状況 4 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	①(1)地域における相談体制の充実 (自殺や心の悩み相談)	①(1)地域における相談体制の充実 (住民に対する啓発・情報提供、地域における自殺対策の推進)	①(2)多重債務者への相談窓口の充実 (消費者金融等に関する助言等や金融の審査への情報提供)
39	東庄町	<ul style="list-style-type: none"> ▶面接相談及び電話相談にて随時相談受付。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶パソコン等で情報提供。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶心配ごと相談及び消費生活相談の活用。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
40	九十九里町	<ul style="list-style-type: none"> ▶町で実施する相談事業(なんでも相談・心配ごと相談・健康相談)の他、担当窓口(健康指導係、社会福祉係)で対応。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶公共施設へポスターの掲示、パソコンやチラシの配置。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶町(社会福祉協議会)法律相談を活用。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
41	芝山町	<ul style="list-style-type: none"> ▶定期的健康相談を開催。その他、随時保健師や精神保健福祉士等が相談を受けた。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶健康まつり・広報・地区健康教育等でパソコン等による啓発・情報提供。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶【産業課】消費生活相談を実施 ▲26年度と同様、その他各団体に相談員の講話を実施 ●27年度と同様
42	横芝光町	<ul style="list-style-type: none"> ▶定期健康相談(月1回)・随時相談受付。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ポスター・パソコン配布、町広報誌記事による情報提供 ▲26年度同様 ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ▶実施していない ▲予定なし ●未定
43	一宮町	<ul style="list-style-type: none"> ▶必要時対応している。 ▲随時対応 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶この町の健康に関する啓発用冊子裏面に町実施の、心の電話相談の電話番号と相談日を印刷し全戸配布。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶実施していない ▲予定なし ●未定
44	陸沢町	<ul style="list-style-type: none"> ▶千葉いのちの電話相談員による、週1回程度の「こころの電話相談」を実施(相談日:51日)。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶相談窓口を周知するため、講演会開催時に電話番号を印刷した自殺予防啓発グッズを配布。 ▲中学生に対して、自殺予防啓発物資を配布予定。 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶実施していない ▲予定なし ●未定
45	長生村	<ul style="list-style-type: none"> ▶「こころの健康相談」を週1回実施、広報や防災無線で周知している。相談日数43日。 ▲「こころの健康相談」を随時実施。 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶全世界に相談機関に関するリーフレット及び啓発物品を配付。 ▲各保健事業等を利用して、相談機関等に関するリーフレットを配付予定。 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶この町の健康相談機関の情報提供に併せて、法テラス等の相談先を全世界にリーフレットで配付。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
46	白子町	<ul style="list-style-type: none"> ▶随時対応 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ポスター、パソコン等で情報提供。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶実施していない ▲予定なし ●予定なし
47	長柄町	<ul style="list-style-type: none"> ▶電話・窓口・面接・訪問等で必要時に実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶広報等で継続的に周知啓発を行う ▲26年度と同様 ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ▶実施していない ▲予定なし ●予定なし
48	長南町	<ul style="list-style-type: none"> ▶電話や窓口、訪問などで随時実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶公共施設へ県からの文書、ポスターを得示、窓口等にパソコンやチラシを配置。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶実施していない ▲予定なし ●未定
49	大多喜町	<ul style="list-style-type: none"> ▶必要時に対応。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶パソコン等で情報提供 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶実施していない ▲予定なし ●未定
50	御宿町	<ul style="list-style-type: none"> ▶年3回公民館で健康相談を実施。このほか随時、窓口相談で受付したり、電話相談等必要時に対応。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶県の事業を伝達。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶実施していない ▲予定なし ●未定
51	銀南町	<ul style="list-style-type: none"> ▶保健福祉課で対応。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶保健福祉課で伝達。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ▶保健福祉課で対応。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様

市町村の進捗状況 5 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	6(2)多重債務者への相談窓口の充実(保 多重債務問題対策本部による周知・啓発相 関係機関の連携、相談体制の強化、無料相 談会)	6(1)相談窓口の連携強化(相談窓口の充実 等と自殺対策連絡会議等の開催により情報共 有や連携体制の強化)	7(2)家族等の身近な人の見守りに対する支援 (警察、消防、保健師、医療機関、市町村等が 連携し、家族や職場とともに自殺未遂者を支援)
1	鎌子市	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆【健康づくり課】地域連絡会議を1回開催。 ▲地域連絡会議を1回開催。 ●27年度と同様	◆【障害福祉課】自殺未遂者が地域生活をして いくために、医療機関、サービスマネジメント、訪問 看護等関係機関で情報を共有し役割分担をシナ ジー_againに、必要時対応。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
2	市川市	◆【総合市民相談課】実施していない ▲予定なし ●未定	◆【健康支援課】①市川市自殺対策関係機関運 絡会 2回開催 ②市川市自殺対策庁内推進委 員会 1回開催 ③市川市自殺対策庁内推進担 当者連絡会 2回開催 ※①と③の第2回の会議は 合同開催 ▲26年度と同様(回数は未定) ●27年度と同様(回数は未定)	◆【健康支援課】①事例検討で協力。②消防、 警察、派出所に相談窓口紹介のパンフレットを ◆事例検討で協力 ▲27年度と同様
3	館山市	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲自殺予防対策庁内連絡会議を開催し、庁内 ▲同居虐待、高齢者虐待、DV及び学校教育の 各担当者との情報共有を図る。 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定
4	木更津市	◆相談窓口機関一瞥リーフレットを更新。そ の中にご相談窓口を明記した。 ▲未定 ●未定	◆【健康さくらづき21 こころの健康づくり部会 を中心と、相談対応マニュアルを作成。②相談 窓口担当職員を対象とした研修会を実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆他機関、他課との連携のもと必要に応じて支 援を実施する。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
5	松戸市	◆【消費生活課】東葛飾地区6市と千葉県土 全松戸支部による「東葛飾地区多重債務 対策フォーラム」の周知、「多重債務問題対策 内連絡会」開催。 ▲26年度と同様 ●未定	◆実施していない ▲未定 ●未定	◆【障害福祉課】相談があれば随時対応してい る。 ▲未定 ●未定
6	野田市	◆【市民生活課】東葛飾地区6市と千葉県丹 波市会松戸支部による「東葛飾地区多重債務 対策フォーラム」において、年2回相談室を美 施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆【健康支援課】連絡会議等は未実施、必要に 応じて関係機関と情報の共有をした。 ▲26年度と同様、必要に応じてビケースを通して関 係機関との情報共有の場を設ける。 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定(今後に向け具体的な取組内容の検討 をした。)
7	茂原市	◆県の無料相談室を本市にて実施。 ▲26年度と同様。 ●未定	◆実施していない ▲福祉部門(障害者福祉課)はつとすまいるセ ンター(等)や関連機関の窓口との連携をより強化す る。 ●27年度と同様	◆【障害福祉課】随時対応する。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
8	成田市	◆本庁各2階消費生活センターで相談対 応。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲法倉市自殺対策庁内連絡会議を開催予 定。 ●27年度と同様	◆医療機関や家族等から相談があれば随時対 応している。(警察や消防との連携は十分では ない)。相談時は、他機関との連携を図りながら 支援する。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
9	佐倉市	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定
10	東金市	◆消費生活相談として実施 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定
11	旭市	◆消費生活相談として実施 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆自殺対策庁内連絡会を設置し、各所属窓口で 実施している相談事業の確認、自殺の現状の確 認を行っている。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定
12	習志野市	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆自殺対策庁内連絡会を開催はしたが、個別事業に対し 庁内で連携を図っている。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定
13	勝浦市	◆実施していない ▲必要に応じ実施する ●未定	◆【保健センター】市原市自殺対策庁内連絡会 議を26年7月と27年2月に開催し、関係13課が 出席し、自殺対策のホームページの更新につい て内容の検討を行った。また、庁内関係課の職 務について情報交換を行なった。 ▲【市原市自殺対策庁内連絡会議】を実施し(2 ～3回予定)、自殺対策のための庁内アンケート やその後の啓発等について検討する。 ▲【市原市自殺対策庁内連絡会議】の充実を図 り、関係機関相互の連携を密接にしていく。	◆実施していない ▲必要に応じ実施する ●未定
14	市原市	◆県多重債務問題対策本部による周知・啓 発、連携等に関する代表として協力した。(商 工業振興課、消費生活センター) ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆【保健センター】市原市自殺対策庁内連絡会 議を26年7月と27年2月に開催し、関係13課が 出席し、自殺対策のホームページの更新につい て内容の検討を行った。また、庁内関係課の職 務について情報交換を行なった。 ▲【市原市自殺対策庁内連絡会議】を実施し(2 ～3回予定)、自殺対策のための庁内アンケート やその後の啓発等について検討する。 ▲【市原市自殺対策庁内連絡会議】の充実を図 り、関係機関相互の連携を密接にしていく。	◆市原健康福祉センターが主催する連絡会議 へ出席。(保健福祉課、障がい者支援課、保健セ ンター、予防救急課) ▲26年度と同様 ●27年度と同様

市町村の進捗状況 5 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	6(2) 多重債務者への相談窓口の充実(県多重債務問題対策本部による周知・啓発相談会)の連携、相談体制の強化、無料相談会)	7(2) 家族等の身近な人の見守りに対する支援(警察、消防、保健所、医療機関、市町村等が)連携し、家族や職場とともに自殺未遂者を支援)
15	流山市	<p>◆市コミュニティ課及び消費生活センターが中心となり、関係各課の職員による「多重債務内連絡窓口を開催した。</p> <p>●未定</p>	<p>◆必要時に市保健センターと連携して対応した。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>
16	八千代市	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●予定なし</p>	<p>◆関係機関等と協力連携のもと対応した。</p> <p>▲関係機関等と協力連携し、必要な支援を実施。</p> <p>●27年度と同様</p>
17	我孫子市	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●予定なし</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●検討する</p>
18	鴨川市	<p>◆県多重債務問題対策本部による周知・啓発に協力。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●検討する</p>
19	鎌ヶ谷市	<p>◆筑波6市及び千葉県弁護士会で構成される「東葛地区消費者行政事務連絡会」において弁護士による多重債務相談を年2回開催。市内では5/12、11/19に実施し、1件の相談があった。</p> <p>▲26年度と同様。(7月末現在、市内では5/21に実施し、多重債務に関する相談1件)。</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆救急搬送される市内の医療機関の協力を得て、病院の受付窓口にメッセージカードを設置し、一人ですみず相談できるよう相談場所の周知を図った。</p> <p>▲継続実施</p> <p>●継続予定</p>
20	君津市	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●未定</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●未定</p>
21	富津市	<p>◆県多重債務問題対策本部による周知・啓発に協力。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●未定</p>
22	浦安市	<p>◆消費香金融やローン・クレジット債務等の相談に対し、解決に向けての助言を行う。多重債務、ヤミ金融等の啓発・パンフレットをイベント等で配布した。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆いのちどこの支援対策協議会(自殺対策連絡会議)を開催して情報を共有し、連携体制の強化を図った。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>
23	四街道市	<p>◆市消費生活センターで、県多重債務対策本部による無料相談会等の情報をPRしている。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●未定</p>
24	袖ヶ浦市	<p>◆「商工観光課」消費生活相談を実施</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●未定</p>
25	八街市	<p>◆毎月最終日曜日の日曜開庁日に実施。計12回延べ31人の相談を受ける。</p> <p>▲26年度と同様。定員は1回6名</p> <p>●27年度と同様</p>	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●未定</p>
26	印西市	<p>◆実施していない</p> <p>▲予定なし</p> <p>●予定なし</p>	<p>◆ケースに応じて警察、消防、保健所、医療機関と連携して対応した。</p> <p>▲26年度と同様</p> <p>●27年度と同様</p>

市町村の進捗状況 5 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	6(2) 多重債務者への相談窓口の充実(多重債務問題対策本部による周知・啓発相談係)の運轉、相談体制の強化、無料相談	6(11) 相談窓口の運轉強化(相談窓口の充実等と自殺対策連絡協議会等の開催により情報共有や運轉体制の強化)	7(2) 家族等の身近な人の見守りに対する支援(警察、消防、保健所、医療機関、市町村等が連携し、家族や職場とともに自殺未遂者を支援)
27	白井市	◆実施していない、(市社会福祉協議会の「心配ごと相談」弁護士相談で対応している。 ▲予定なし ●予定なし	◆市役所内相談窓口の運轉は継続し、(個別支援の上での運轉は図られている。 ▲個別支援の際、市役所内の運轉を図る。 ●27年度と同様	◆市単独、広域でのボランティアは構築されていないが、個別支援で連携して対応している、健康福祉センター主催の空欄に出席し、関係機関の情報把握に努めている。 ▲個別支援の折、連携して対応する。健康福祉センター主催の空欄に出席し、関係機関の情報把握に努める。 ●27年度と同様
28	富里市	◆消費者相談センターで消費者相談を実施(年36回 171件) ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆必要に応じて対応 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
29	南房総市	◆相談窓口の周知、多重債務者支援団体と無料相談の実施 ▲相談窓口の周知 ●27年度と同様	◆H26年7月16日、県主催の自殺対策担当者会議に出席し、県内における自殺者の現状について学ぶ。 ▲未定 ●未定	◆必要時、関係機関と連携して支援対策を図る体制をとっているが、実績はなし ▲26年度と同様 ●27年度と同様
30	匝瑳市	◆市消費生活相談にて多重債務者への相談、警察からの紹介などもある。充実を図る。市消費生活センターの窓口の充実を図る。随時助言、情報提供等を行っている。 ●27年度と同様	◆①健康福祉センター自殺対策連絡協議会への出席 ②市内関係機関での自殺対策に関する会議の実施(定例1回、随時)。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆随時対応 ▲26年度と同様 ●未定
31	香取市	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定
32	山武市	◆わがまち活性化において、消費生活相談を実施(平日毎日)。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆自殺対策連絡協議会、担当者会議を実施。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆クーポンを通じて個別対応。自殺対策連絡協議会の活用。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
33	いすみ市	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆健康づくり推進員会議で市内の自殺者が増加している問題について検討。 ▲問題のあるクーポンスについて担当部署間で情報を共有し対応。 ●27年度と同様	◆自殺予防のため各部門で連携し、クーポン会議などを通し情報を共有した。 ●27年度と同様
34	大網白里市	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆社会福祉課と連携し、クーポン対応。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆県と連携して実施 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
35	酒々井町	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆必要に応じて福祉担当と連携し、クーポン対応。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆必要に応じて民生委員等に協力依頼 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
36	柴町	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆今後の運轉強化のあり方を検討した。 ▲市内の相談窓口の運轉会議を企画する。 ●未定	◆クーポンを通じて個別対応した。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
37	神崎町	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし
38	多古町	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆障害者虐待防止センターの設置による相談窓口の強化。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし
39	東庄町	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆必要に応じて民生委員等との連携推進。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆必要に応じて随時対応 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
40	九十九里町	◆産業振興課及び町相談事業で対応。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲未定 ●未定
41	芝山町	◆実施していない ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆市内関係係との情報共有を行い随時対応。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆必要に応じて対応 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
42	横芝光町	◆産業振興課及び町相談事業で対応。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆福祉課担当との情報交換・連携、健康福祉センターとの連携。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆必要に応じて随時対応 ▲26年度と同様 ●27年度と同様
43	一宮町	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆必要時対応している ▲随時対応 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定
44	陸沢町	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆警察、民生委員、商工会、保健所、教育委員会等の関係者による協議会を開催し情報を共有した。 ▲必要に応じてクーポンスを通して関係機関との情報共有の場を設ける。 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定
45	長生村	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆福祉課保健師と連携し、クーポンスに対応。 ▲26年度と同様 ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定

市町村の進捗状況 5 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	6(2)多量債務者への相談窓口の充実(県 多重債務問題対策本部による周知・啓発、 関係機関の連携、相談体制の強化、無料相 談会)	6(1)相談窓口の連携強化(相談窓口の充実 等と自殺対策連絡会議等の開催により情報共 有や連携体制の強化)	7(2)家庭等の身近な人の見守りに対する支援 (警察、消防、保健所、医療機関、市町村等が 連携し、家族や職場とともに自殺未遂者を支援)
46	白子町	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定
47	長柄町	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆連絡会議等の開催には至らなかったが、保健 所、他職種との情報共有等は随時行い、連携を 実施。 ▲クアーズが発生した場合は、連絡会議等を開催 し、情報共有、連携の確認を実施。クアーズが発生 しなくても、保健所、他職種との情報共有を随時 行う。 ●27年度と同様	◆実施していない ▲必要時に支援 ●27年度と同様
48	長南町	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆随時健康福祉センターや他関連機関と情報の 共有を図る。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定
49	大多喜町	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定
50	御宿町	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定
51	鯉沼町	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆保健福祉課で対応 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆保健福祉課で対応 ▲26年度と同様 ●27年度と同様

市町村の進捗状況 6 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	7(3)地域での訪問事業の実施(保健師等の訪問)	8(4)自死遺族支援(自死遺族の心の相談、支援講座等を実施)	9(2)地域における連携体制の確立(連絡会議を開催するなど地域ネットワークの整備、民間団体と連携)
1	銚子市	<ul style="list-style-type: none"> ◆【障害福祉課】家庭訪問を実施し、必要に応じて主治医、訪問看護、サードス事業所等の関係機関と連絡をとっている。【健康づくり課】発生したケースに対し、必要時は障害福祉課等と連携しながら対応。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆【健康支援課】市川市自殺対策関係連絡会を2回開催(再掲) ▲26年度と同様(回数未定) ▲27年度と同様(回数未定) ◆実施していない ▲予定なし ●未定
2	市川市	<ul style="list-style-type: none"> ◆【健康支援課、相談窓口を有する課】自殺対策に特化しておらず、必要時に対応。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆【健康支援課】自死遺族相談の実施 実5件 延6件。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆【健康支援課】市川市自殺対策関係連絡会を2回開催(再掲) ▲26年度と同様(回数未定) ▲27年度と同様(回数未定) ◆実施していない ▲予定なし ●未定
3	館山市	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定
4	木更津市	<ul style="list-style-type: none"> ◆他課との連携のもと必要に応じ実施。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定
5	松戸市	<ul style="list-style-type: none"> ◆必要時随時実施 ▲未定 ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲未定 ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲未定 ●未定
6	野田市	<ul style="list-style-type: none"> ◆【介護保険課】必要に応じ関係機関と連携を取り訪問。【保健センター】ケースワーカーとして随時実施。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆【保健センター】千葉いのちの電話主催「自死遺族支援公開講演」、公開講演」を後援。 ▲未定 ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲未定 ●未定
7	茂原市	<ul style="list-style-type: none"> ◆【健康管理課】①「なんでも健康相談」やその他の事業の中で必要に応じて関係機関を介しての健康相談を実施。【地域包括支援センター】②高齢者の総合相談で必要に応じ家庭訪問を行い、介護保険その他の事業につなげる。 ▲①あらゆる保健事業の中から支援が必要な方について関係機関の相談員、精神保健福祉士等と同行訪問をする。②、③26年度と同様。 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆【健康管理課】実施していない ▲予定なし ▲自死遺族支援に関する集会等に積極的に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆【障害福祉課】ケース会議を実施し、病院、関係機関等との連携を図った。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様
8	成田市	<ul style="list-style-type: none"> ◆必要時に実施 ▲必要時に実施 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲実施していない ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆精神保健福祉推進協議会(福祉) ▲精神保健福祉推進協議会(福祉) ▲27年度と同様
9	佐倉市	<ul style="list-style-type: none"> ◆精神疾患等で支援が必要な者に対し、他機関と連携し訪問支援を行った。自殺念慮がある者には、家族支援も同時に行っている。 ▲26年度と同様 ●継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない。(印簿健康福祉センターのわかちあいの会ひたまり)については広報掲載、チラシ設置等で情報提供を行っている)。 ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆①印簿健康福祉センター主催「管内自殺対策担当委員会」、「自殺対策地区連絡会担当者会議」③佐倉市障害者自立支援協議会精神部会」④「生活困窮者自立促進支援モデル事業」⑤「いのちささえる真心あふれる社会づくり市町村連絡協議会総会」▲「生活困窮者自立支援調整会議」としてモデル事業から本事業化。その他は26年度と同様。 ▲27年度と同様
10	東金市	<ul style="list-style-type: none"> ◆保健師活動の中で対応 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆山武健康福祉センター主催の自殺対策地区連絡協議会に参加。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様
11	旭市	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし
12	習志野市	<ul style="list-style-type: none"> ◆他課と連携し、必要に応じて実施 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定
13	勝浦市	<ul style="list-style-type: none"> ◆訪問により相談のほか、必要に応じて受診勧奨した。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定
14	市原市	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●予定なし 	<ul style="list-style-type: none"> ◆【保健福祉課、障がい者支援課、保健センター、警防救急課】市原健康福祉センターが主催する連絡会議へ出席。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様

市町村の進捗状況 6 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	7(3)地域での訪問事業の実施(保健師等の訪問)	8(4)自死遺族支援(自死遺族の心の相談、支援講演会等を実施)	9(2)地域における連携体制の確立(連絡会議を開催するなど地域ネットワークの整備、民間団体と連携)
15	流山市	<ul style="list-style-type: none"> ◆必要に応じ市障害者支援課精神保健福祉士と市保健センター保健師がそれぞれ連携して対応した。 ▲関係機関との情報を共有できるよう継続して取り組む。 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆市において精神科医師による心の相談や市精神保健福祉士等による相談窓口で対応するが、自死遺族からの相談はなし。 ▲支援講演会開催等は行っていない。 ▲支援講演会開催の予定はないが、自死遺族に対する相談は、その都度受ける。 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆近隣の各相談支援事業所や当事者団体、医師会代表、民生委員、児童委員の代表、施設等民間相談事業所等が参加する流山市地域自立支援協議会やその専門部会である相談支援部会において定期的な協議やクエーア検討等の中でネットワークの充実を図った。 ◆継続して実施。また、流山市医師会及び精神科医で実施しているGNPネットワークと連携を模索する。 ●継続予定
16	八千代市	<ul style="list-style-type: none"> ◆適宜訪問を行い、状況把握に努めた。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆相談時必要に応じてわかちあいの会「ひだまり」の案内や、必要な情報提供を行った。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●今後検討する
17	我孫子市	<ul style="list-style-type: none"> ◆障害のある方の自立した生活への支援、社会参加の促進や家族の負担軽減を図るため、各種サービスを適切に利用できるように情報提供や相談を行った。また、増え続ける相談ニーズに対応するため、合計5カ所の民間相談支援事業所に市の相談業務の一部を委託している。 ◆基幹相談支援センターの実績 <ul style="list-style-type: none"> ・来所相談数:5,622件 ・電話等相談数:5,835件 ・訪問数:711件 ・関係機関会議等:1,551件 ・その他:461件 合計:14,180件 ◆委託相談支援事業所の実績 <ul style="list-style-type: none"> ・来所相談数:588件 ・電話等相談数:5,417件 ・訪問相談数:1,526件 ・関係機関会議等:4,999件 ・その他:1,249件 合計:13,779件 ▲継続予定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自死遺族の方には、習志野健康福祉センターで実施している自死遺族の会を紹介している。また、千葉いのちの電話主催の「自死遺族支援公開講演会」の後援を行った。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●継続する
18	鴨川市	<ul style="list-style-type: none"> ◆保健師等による訪問指導は実施しているが、自殺対策に主眼を置いた訪問は実施していない。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲26年度と同様 ●27年度と同様
19	鎌ヶ谷市	<ul style="list-style-type: none"> ◆本人又は家族等からの相談や情報提供があった場合、地区担当保健師が必要に応じて家庭訪問を実施し、心の相談や医療動向等を行う。(自殺未遂者等からの相談は1件)。 ▲継続実施 ●継続予定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定
20	君津市	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定
21	富津市	<ul style="list-style-type: none"> ◆必要に応じ訪問 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定
22	浦安市	<ul style="list-style-type: none"> ◆自宅等への訪問による受療援助、相談対応を行った。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆千葉いのちの電話わかちあいの会による相談会を実施した。 ▲相談機関の紹介、相談の随時対応を行う。 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定
23	四街道市	<ul style="list-style-type: none"> ◆地区担当保健師の家庭訪問による本人、家族の相談支援を必要に応じ実施予定だったが、実施なし。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆わかちあいの会ひだまりのリーフレットを保健センターや市役所に設置 ▲26年度事業に加え、自死遺族への電話や面接、訪問等によるクエアを必要に応じて実施 ●27年度と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ◆市役所職員、教育委員会及び関係機関職員の情報共有と連携強化の目的で「四街道市自殺対策連絡協議会」を年4回実施。回実施予定。(第1回は7/30実施)。 ●27年度と同様
24	袖ヶ浦市	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施していない ▲予定なし ●未定

市町村の進捗状況 6 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	7(3)地域での訪問事業の実施(保健師等の訪問)	8(4)自死遺族支援(自死遺族の心の相談、支援講演会等を実施)	9(2)地域における連携体制の確立(連絡会議を開催するなど地域ネットワークの整備、民間団体と連携)
25	八街市	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆市単独では実施しない ◆実施していない ▲予定なし ●未定
26	印西市	◆相談内容に応じて精神保健福祉士、社会福祉士、保健師による訪問を行った。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆市単独では実施しない ◆実施していない ▲予定なし ●未定
27	白井市	◆精神保健福祉士、福祉担当保健師による訪問の実績がある。(自殺未遂者に限定しない相談)。 ◆必要に応じて家庭訪問を実施する。 ▲27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆市単独では実施しない ◆実施していない ▲予定なし ●未定
28	富里市	◆必要に応じて保健師等が訪問しているが自殺対策に特化したものではない。 ▲H26年度と同様 ▲H27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆市単独では実施しない ◆実施していない ▲予定なし ●未定
29	南房総市	◆必要時、保健師が訪問する体制はあるが、実施なし ▲26年度と同様 ▲27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆安房健康福祉センター主催の自殺対策連絡会議が平成25年度に終了してから、実施していない ▲予定なし ●未定
30	匝瑳市	◆面接:実131延360(内訳自殺関連79)、訪問:実71延222(内訳自殺関連19)、電話延664(内訳自殺関連180)※福祉課保健師対応分。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆民間団体や医療機関等と個別ケースを通し連携。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様
31	香取市	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定
32	山武市	◆必要時保健師、精神保健福祉士による訪問実施。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様	◆心の相談として保健師が随時対応。 リーフレットを窓口に設置。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様	◆自殺対策連絡協議会、担当者会議を実施。 ▲26年度と同様。必要時個別支援会議も実施。 ▲27年度と同様
33	いすみ市	◆各所属機関で連携し、ケース会議などを通し情報共有した上で、訪問支援。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定
34	大網白里市	◆必要に応じて随時対応している。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様	◆リーフレットを保健センターに設置 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様	◆このころのケアチーム11ほつらいとサポート地身組と連携。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様
35	酒々井町	◆必要時保健師が訪問 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様	◆心の相談を保健師が随時対応。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定
36	栄町	◆保健・福祉の両部門により必要に応じて訪問を実施した。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆健康、福祉、教育の分野に町内企業も交えた栄町心の健康つくり連絡会の合同研修会を開催し、73名が受講した。 ◆今後の連絡会のあり方を検討する。 ●未定
37	神崎町	◆町の保健師が必要に応じて実施 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定
38	多古町	◆精神保健福祉士、保健師等の訪問 ▲28年度と同様 ▲27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定
39	夷庄町	◆必要時家庭訪問の実施 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆見守りネットワークの運用 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様
40	九十九里町	◆実施していない ▲町の保健師で対応 ▲27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定
41	芝山町	◆自殺対策に限定せず、随時精神保健福祉士等が訪問を実施 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定
42	横芝光町	◆必要時に家庭訪問を実施 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様	◆心の健康相談等、必要時に相談を実施。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様	◆健康福祉センター主催の連絡会議・作業部会等に参加。 ▲26年度と同様 ▲27年度と同様
43	一宮町	◆必要時対応している ▲随時対応 ▲27年度と同様	◆相談機関の紹介、相談は随時対応している。 ▲随時対応 ▲27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定

市町村の進捗状況 6 (政令市及び中核市を除く)

番号	市町村	7(3)地域での訪問事業の実施(保健師等の訪問)	8(4)自死遺族支援(自死遺族の心の相談、支援講演会等を実施)	9(2)地域における連携体制の確立(連絡会議を開催するなど地域ネットワークの整備、民間団体と連携)
44	睦沢町	◆地区担当保健師による新規独居高齢者、高齢者世帯訪問。 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲地区担当保健師による世帯訪問を予定 ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定
45	長生村	◆福祉課保健師と連携し随時対応 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●未定	◆実施していない ▲予定なし ●未定
46	白子町	◆随時対応 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし
47	長柄町	◆実施していない ▲必要時に支援 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし
48	長南町	◆相談があったケースは訪問対応した。 ▲必要ケースには訪問を行う。 ●継続予定	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし
49	大多喜町	◆必要時に支援を行う ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●未定
50	御宿町	◆必要時に実施 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし
51	鏡南町	◆保健福祉課で対応 ▲26年度と同様 ●27年度と同様	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし	◆実施していない ▲予定なし ●予定なし